

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

2

2018
FEBRUARY
VOL.66 NO.2



特集 平和と紛争予防／紛争解決月間
平和に寄せる思い

視点
ガバナーのロータリー・モメント

Rotary



FULL HEIGHT DOOR®



その先の開放感を誇りたい。
フルハイトドアは
空間を演出する名脇役です。

フルハイトドアの最大の特長は、
天井まで届くドアの大きさと上
枠がない独特の納まりが生み出
す天井のつながりです。

ドアを開けるとたくさんの光が
差し込み、フルハイトドア以外
では絶対に味わえない開放感を
感じることが出来ます。

商品のお問合せは神谷コーポレーション「Shonan Office」まで

TEL 0463-94-6203 フルハイトドア 検索

神谷コーポレーション株式会社 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川50 URL www.kamiya-yokohama.co.jp/



フルハイトドアの
神谷コーポレーション

ロータリーの原点を思い出す

親愛なるロータリアンの皆さま、113 年前の今月、4 人の会員から成る最初のロータリークラブの最初の例会が開かれました。議事録は作成されませんでした。奉仕について話し合われたとはとうてい思えません。クラブが地域社会のニーズに力を入れるようになったのは、創立から数年たってからのことでした。

その例会が開かれたのはホテルでもレストランでもなく、会員の事務所でした。分かっている限りでは、議題も、告知も、委員会報告書も、卓話も、名札もありませんでした。今日行われている実り多い例会から見れば、この会合は例会といえないかもしれません。しかし、この会合はロータリー史上最も建設的な例会となりました。

今日でも、1905 年当時と同様に、会員の多くがポール・ハリスの求めた親睦、人脈、くつろげる場を求めてロータリーに参加しています。しかし、今日のロータリーは、初期の会員が受け取ったものとは比較にならないほど多くのものを、私たちに与えてくれます。今や 120 万人以上の会員を擁するロータリーは、仲間のいる小さなグループの中でだけでなく、さまざまな形態のクラブや、地域社会の至る所、そして世界中のどこでも居場所を与えてくれます。はるか昔の、2 月のあの晩にポール・ハリスが決して夢に描くことはできなかったような形で、ロータリーは今日、私たちを結び付けています。ロータリークラブのある世界なら、どこへ行っても自分のクラブのように迎え入れてくれ、手を差し伸べることができ、そして変化をもたらすことができるのです。

最初の例会が開かれてから 113 年の間に、ロータリーは創立した頃の会員が想像できなかったほど大きく、多様性に富んだ組織になりました。白人男性だけが入会できた団体から、ありとあらゆる背景を持つ女性や男性を迎え入れる組織へと変わりました。「超我の奉仕」という標語に示されるように、奉仕を目的とする組織となったのです。今では世界を変える力を持つ組織となり、ポリオ撲滅活動を通じ、その力を発揮しています。

ロータリーの未来に何が待ち受けているのか、誰も知りません。私たち一人一人に残されているのは、変化をもたらすロータリーを通して奉仕と親睦の結び付きを築き、強くすることで、ポール・ハリスとその友人たちが築き上げた強固な土台をもとに、さらなる発展を遂げさせていくことです。



イアン H. S. ライズリー
R I 会長の最新情報はこちら
<https://my.rotary.org/ja/news-media/office-president>

Ian H. S. Riseley
2017-18年度 国際ロータリー (R I) 会長



ロータリー:
変化をもたらす



ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

原文 (英語) はこちらから

RI 会長メッセージ 3
RI ロータリーの原点を思い出す
RI 会長 イアン H. S. ライズリー

特集

平和と紛争予防／紛争解決月間
平和に寄せる思い 7

原爆から生き残る

東京米山友愛 RC 川妻二郎 THE ROTARIAN 1月号から

平和の尊さを知り、伝える

鹿屋西 RC 久木田弘／岡山西南 RC 松原龍之／

豊川宝飯 RC／2720 Japan O. K. ロータリー E クラブ 安部道弘
／広島東南 RC

私の考える平和とは

千葉北 RC 石井七郎／横浜西 RC 吉川知恵子／

函館 RC 小原幸男

戦争に立ち向かう

ロータリアンが主人公の映画

佐世保中央 RC 牛島義亮

日本ロータリー学友会第7回総会 in 神戸
継続的な活動を目指すために 17
日本ロータリー学友会 高木直之

視点 ガバナーのロータリー・モメント 18

第2500地区 成瀬則之／第2510地区 国立金助／
第2520地区 藤崎三郎助／第2530地区 鈴木邦典／
第2540地区 柳谷悦磨／第2550地区 太城敏之／
第2560地区 新保清久／第2570地区 細井保雄

World Roundup 22

世界のロータリーニュース THE ROTARIAN 2月号から

よねやまだより 24

米山記念奨学事業 50年のあゆみ ④

—— 1980年代 ——

地区大会略報 III 26

第2710地区／第2640地区／第2590地区／第2660地区／
第2540地区／第2770地区／第2800地区／第2620地区

NEW GENERATION 28

元インターアクター 黒木 彩／米山奨学生 朱 興辰

CLUB INNOVATION 29

山口県 岩国 RC

トロント国際大会

日本人親善朝食会のご案内 31

- 6 ● ロータリーとは
- 30 ● パズル de ロータリー／11月号の答え
- 32 ● エバンストン便り
- 33 ● 財団管理委員長の思い **RI**
- 34 ● お知らせ 新IAC／新RAC／『友』英語版のご案内／
『友』電子版のご案内／2018－19年度版ロータリー手帳のご案内／
地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』3月号主要記事予定
- 36 ● 投稿規定（『友』に投稿しませんか）
- 37 ● 日本ロータリー分布図／奥付

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



●本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。
●縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

2月 は 平和と紛争予防／紛争解決月間です
2月23日はロータリー創立記念日です



1905年2月23日は、ロータリークラブの初めての会合が開かれた日です。その日集まったのは、たった4人の男たち、(写真左から) 鉦山技師 ガスターパス・ローア、石炭商シルベスター・シール、洋服商ハイラム・ショーレー、弁護士ポール・ハリスでした。© Rotary International
※ロータリーの誕生とその成長については、本誌毎号掲載横組み P6 参照

ロータリーの友 委員会

委員長 清水 良夫 (横浜)
副委員長 片山 主水 (名古屋東南)
RI理事 斎藤 直美 (豊田)
RI理事 石黒 慶一 (福岡西)

特別顧問 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)

顧問 田中 政春 (長岡西)
岡部 一輝 (南砺)
庄司 尚史 (境港)
松坂 順一 (東京葛飾東)
服部 陽子 (東京広尾)

地区 代表委員

2500 松井 丈 (網走)
2510 藤井 方雄 (函館)
2520 世氣光壽郎 (仙台)
2530 渡邊 宗徹 (白河)
2540 村越 正道 (能代)
2550 加藤 勝朗 (宇都宮東)
2560 木村 廉平 (新潟万代)
2570 大澤 衛 (新潟キャロット)
2770 星野 時夫 (大宮中央)
2790 根本 健一 (柏)
2800 若月 仁 (寒河江)
2820 神生 恭利 (石岡)

2830 折居 祐二 (十和田)
2840 小野 幸広 (沼田中央)
2580 石川彌八郎 (東京福生)
2590 山本 邦近 (横浜西)
2600 林 武雄 (長野)
2610 大和 謙市 (加賀)
2620 多々良 匡 (焼津)
2630 戸上 宗賢 (上野東)
2750 井村 廣巳 (東京日野)
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)
2780 伊与田あさ子 (横須賀北)
2640 井手 良明 (和歌山城南)

2650 室 公博 (京都東)
2660 藤田 弘道 (大阪東)
2670 三浦 聖人 (観音寺)
2680 村野 利昭 (神戸西)
2690 横田 直樹 (倉敷南)
2700 高山 卓也 (宗像)
2710 宮本 民子 (岩国中央)
2720 山田 哲大 (熊本)
2730 菅沼 龍夫 (宮崎北)
2740 北島 恭一 (佐賀南)

編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,727、会員総数1,220,185人（2017年8月31日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,262、会員数89,871人（2017年11月末現在）となっています。

2017 - 18 年度 R I テーマ



ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 平和と紛争予防／紛争解決月間

平和に寄せる思い

昨年11月、スイスの国際連合で行われたロータリーデーで、87カ国の代表者を前にイアン H. S. ライズリー R I 会長は「私たちは、ロータリーの活動が、平和構築につながる可能性を認識し、そのことを念頭に置いて活動に取り組んできました」と述べました。この2月から、6カ国で会長主催平和会議も行われます。

世界各地でテロや紛争のニュースを耳にしない日はありません。戦時体験、平和への思い、平和を後世に伝える取り組み——ロータリアンとしての「平和」を、さまざまな角度から紹介します。





原爆から生き残る

THE ROTARIAN 1 月号から
東京米山友愛 R C 川妻 二郎

姉を見つけたが、そこに残っていたのは、遺骨のみだった。

爆撃で死亡したと聞いていたので、身元を確かめに行ったのだ。姉と同僚が避難した防空壕にたどり着いた時、目に入ったのは、見分けることができない黒焦げになった2つの死体だった。ただ、片方には金歯がはまっていたので、ない方が姉だと分かった。友人の方はご家族のためにそのままにし、姉の遺骨だけを拾った。

大半の人は、親族に1時間でも長生きしてもらいたいと思うだろう。ただし、原子爆弾の爆心地にあった場合は、即死の方がよいと思った。そうであったことに感謝する。姉に対する最高の望みだったからだ。

1945年8月6日の朝、B-29に運ばれてきたのは、「リトルボーイ」と呼ばれた原子爆弾だった。それが投下されたとき、母も、父も、姉も広島にいた。私は広島大学の1年生、18歳

だった。学徒動員で広島から70km離れた三原で、軍需工場で働いている高校生の監督役をしていた。そこでは戦闘機の燃料を作っていた。

この年の2月に徴兵検査の年齢が若くなり、18歳の私も繰り上げ検査を受けなければならなかった。私は初めて検査を受け甲種合格。ただし理科系は当分入営延期。ところが新たにできた学徒勤労令で、大学から帝人三原工場へ行き、航空燃料の新しい製法を実施することになった。普通、オキシフルを家庭などで消毒に使う場合は3%以下の水溶液にするが、これを加熱濃縮し98～99%までにすると発火する。この勢いを利用して航空機の燃料としたものである。これを7月からやるように決められていた。

女性の声で「巨大な爆弾が午前8時過ぎに広島に落とされ、市内全域に火災が広がり、大きな被害は避けられ

ない」という情報が流れてきた時、私は工場で働いていた。落とされたのが原子爆弾であったとはまだ知らなかった。3日間の休みを上司からもらって、実家に帰ろうと駅に走った。汽車がいつ運行を再開するのか、誰も知らない。三原の駅で待ち続け、広島に到着したのは、夜の8時過ぎだった。遅れた汽車のおかげで、私は高線量の放射線を浴びなかった。

実家に向かう途中、馬の死骸をかなり見たが、人間の死体は見なかった。72年後のつい最近、私はテレビ番組で、私がこの時歩いた道は、最初に清掃された道路だったと知らされた。もっと恐ろしい光景を見ずに済んだのだ。

実家は全壊していたので、近くの大学の構内にある避難所に行った。両親はそこにいた。母の頭から血が流れていたほかには、目に見える外傷はなく、声も出た。父は頑丈なコンクリート建物の会社に出勤していたので、けがは



なかった。その夜、私も一緒にそこに寝た。翌日、姉の遺体を引き取りに行った。

女子高校の教師であった姉は、結婚していたが、夫が軍人で国外にいたため、義理の母と郊外に小さな家を借りていた。夜間は空襲があるため、郊外に宿を借り、毎日広島まで仕事に通うことは、珍しいことではなかった。しかし、原爆が落とされる前日、姉は会議があったので、その夜は、義母と同僚の先生と市内の自宅に泊まることにした。空襲警報が鳴り、義理の母、姉、そして同じく居残った姉の同僚は、1階の下にある防空壕に入ろうとしたが、空間があまりに狭く、義理の母は、10km離れた郊外の家に向かって走って逃げた。

姉の遺骨を見つけた後、私は、休みの3日目に姉の義理の母を捜しに行った。そこで目にした光景は、一生忘れることができないものだった。義理の母はおおむけに寝ていた。ゴルフボー

ル大の血の塊を口にぐわえたまま亡くなっていた。ひどいやけどで顔と胸は血だらけだった。放射線を浴び、苦しみながらこの家にたどり着いたに違いない。いまだに、彼女がどれほど苦しんだかと思うと、耐えられない。その後、もっと多くの悲惨な話を聞いた。被爆した女子学生たちの話だが、声が出せたので、自ら「お母さん、私桂子よ」と呼び掛け、それで母親はわが子だと気付いたというのだ。

90歳になった今も、あの日のことをはっきり覚えている。このような爆弾はあるべきではない。人類は核兵器を持つべきではない。だから、私はこれからの人生を平和活動にささげる。

広島は75年間、草木も育たないと、言われていた。全てが破壊された。しかし、6カ月後、一部の樹木に芽がついた。希望が与えられた。より良い、より平和な世界への希望。

最近、私は広島から東京に移り、新たな人生で残された歳月をロータリー

と平和構築に専念することにし、グローバル補助金で、原爆から生き延びた樹木の苗木を植樹する活動をしている。このような「平和の樹木」を世界各地に植えることが私の目標だ。2017年のアトランタ国際大会の際には、カーターセンターにイチョウの木を植樹する手伝いをした。

核兵器が全くなくなることはないかもしれないが、人々が私たちのような思いを経験しないよう、平和のメッセージを少しでも多くの世界に伝えることができれば幸いと思っている。

(2002 - 03年度 第2710地区ガバナー)

聞き手：Vanessa Glavinskas

イラスト：Richard Mia

平和はロータリーの6つの重点分野の一つです。
rotary.org/our-causes で平和のためのさまざまな活動の方法を学びましょう。

平和の尊さを知り、伝える

ロータリークラブの平和に関する奉仕活動を紹介します。

特攻隊員に思いをはせ —— 「平和の花束 2017」 開催

鹿屋西RC公共イメージ委員長 久木田 弘

太平洋戦争中、3つの飛行場から多くの特攻隊員が出撃した歴史を持つ鹿児島県鹿屋市。鹿屋西ロータリークラブ(RC)は2017年8月18日、かのや未来創造プログラム「平和の花束 2017」を開催しました。講演「平和へのメッセージ」として、元国際ロータリー(RI)

理事の千玄室氏(京都RC)に、特攻隊員として配属された鹿屋基地での思い出話を交え、平和への熱い思いを語っていただきました。

また、事前に九州在住の小・中・高校生に平和へのメッセージを募集。応募数2,474点の中から選ばれた最

平和について考えるきっかけに

鹿屋市立鹿屋小学校6年 松坂 琴

戦争はたくさんの人の命と喜びをうばう、二度とあってはならないものだ。戦争中、食料はほとんど手に入らなかった。学校では、アメリカ軍が攻めてくるのに備えて戦うための訓練が行われていた。また、中学生や高校生、女性も働かされていた。多くの男性が兵隊にとられて、工場が人手不足になったからだ。第二次世界大戦でのぎせい者は世界で五千万人以上になるといわれている。日本では約三百十万人になるそうだ。ぎせい者のあまりの多さに戦争のおそろしさを改めて感じさせられる。しかし、普段の私は戦争のことを考えて生活してはいない。そんな私が、先日、興味深いニュースを知り、戦争についてこれまでとちがう観点から考えることになった。

そのニュースとは、海軍鹿屋航空基地が置かれた鹿屋市の菓子店「富久屋」が、太平洋戦争中、出撃前の特攻隊員向けに作っていたお菓子を再現したという内容だ。富久屋は以前は「海軍御用達 若松菓子店」のかん板をかがげ、隊員が機内で食べるためのお菓子を作っていたそうだ。当時、店に遊びに来る隊員も多くいて、幼かった店の女将のことを妹のようにかわいがってくれていたそうだ。

女将は、「隊員たちが最後に口にした菓子を遺族にも味わってほしい。」と考えた。しかし、レシピや資料が残っていなかったため、店で働いていた人から味や形などを聞いたり、当時、店で用意できた材料を確かめたりして、レシピを推測して再現したそうだ。再現したお菓子は、鹿屋市主さいのいれい祭に合わせて行われている追とう行事で、参加した遺族に配られた。「最後のしゅん間にひもじい思いをしていなかったようで安心した。」と話す遺族の方もいらったそうだ。



一九四五年に行われた海軍鹿屋航空基地での特攻作戦では、九百八人もの特攻隊員が出撃し、亡くなった。この方たちが亡くなる直前にこのお菓子を食べるとき、いったいどんなことを考えていたのだろうか。甘くておいしいはずのお菓子はどんな味に感じられたのだろうか。普段、甘いお菓子を食べるとき、私は幸せな気持ちになるが、特攻隊員たちは、複雑な気持ちだったのではないかと思う。これから命を落とすと分かっている、その悲しさをはかり知ることはとうていできない。

富久屋は、初めこのお菓子を販売する予定ではなかったそうだが、「戦争について多くの人に考えてもらうきっかけになってほしい。」という思いから販売を始めたらしい。今の私たちに必要なことは、戦争のおそろしさや戦争によって失われた尊い命のことを知り、平和の大切さについて考えることだ。戦争七十年以上たち、戦争を経験したことのある人は年をとって少なくなっていく。だからこそ、私は富久屋のお菓子のことを多くの人に知ってもらい、戦争と平和について考えてほしいと願わずにいられない。

優秀賞受賞者3人を表彰、作品の朗読・講評を行いました。その中で、千氏から特別賞「日本国際連合協会会長賞」として、鹿屋小学校6年生・松坂琴さんが表彰されました(左ページ)。

翌日は小塚公園内にある旧鹿屋航空基地特別攻撃隊戦没者慰霊塔前において、千氏による平和祈念献茶式を執り行いました。先の大戦でこの地より飛び立った908柱の御霊に、慰霊塔前に設けられた点前座で2碗を謹点。1碗目は世界の恒久平和を祈念して、2碗目は千氏の戦友のご遺族とともに、特攻隊員をはじめとする第二次世界大戦の彼我戦没者の御霊にささげられました。

(第2730地区 鹿児島県)



元陸軍通訳者の記録映画上映イベントで、若者と平和を考える

岡山西南RC 松原 龍之

2017年9月3日、映画「クワイ河に虹をかけた男」(2016年公開)の上映会と監督トークショーをクラブ主催で行った。戦争体験者から直接話を聞く機会の少なくなった昨今、高校生や大学生に見てほしいという願いから、地区補助金を活用し、国際奉仕・社会奉仕・青少年奉仕委員会協同事業として企画。総勢349人が来場し、岡山県内のインターアクトクラブ8校へ声を掛けたところ、約50人の高校生の参加も得た。

映画の主人公は、岡山出身で元陸軍通訳の永瀬隆さん(1918～2011)。93年の生涯で135回もタイに渡り、「個人的な戦後処理」を行ってきた。太平洋戦争中、旧日本軍はタイ・ビルマ(現ミャンマー)間をつなぐ泰緬鉄道^{たいめん}を建設した。旧連合軍の捕虜約6万人、現地アジア人労務者約25万人に過酷な労働を強制し、拷問や疫病のまん延から多くの死者を出した。本作は、永瀬さんの「和解と贖罪^{しよくざい}」の巡礼の旅を約20年追いつけたドキ



ユメンタリーである。

トークショーでは、監督の満田康弘さんが、映画では描き切れなかった裏話や、永瀬さんが設立した奨学金事業「クワイ河平和基金」のその後、若い人に伝えたいことなどを語った。

クラブでは感想などを記入できる特製ガイドブックを参加者に配布し、映画を通してより深く感じ考えることができるように努めた。太平洋戦争についての補足知識や、ある大学生の感想、監督の思い、また当クラブ会員の戦争体験も記載した。岡山出身の永瀬さんの生きざまを通して、「戦争をしてはいけない」という言葉だけでは終わらない、若い世代と平和について深く考える時間を共有することができた。

(第2690地区 岡山県)



豊川海軍工廠跡地に平和を願い、桜を植樹

豊川宝飯ロータリークラブ

2017年11月22日、豊川海軍工廠跡地（愛知県豊川市）に、2018年6月完成予定の「豊川市平和公園（仮称）」の敷地内に、平和を願って公園のシンボルツリーとなるソメイヨシノを植樹しました。その他イロハモミジ、キンモクセイ、夏ツバキ、低木も含む約500本も併せて植樹し、一年中いろいろな花が楽しめるように寄贈しました。

豊川海軍工廠は、海軍兵器の生産を目的として、1938(昭和13)年に建設が決定され、翌年12月に開庁しました。機銃および弾丸や艦船で使用する距離儀、双眼鏡、射撃装置などを生産し、機銃の生産に関しては日本



最大規模で、当時は「東洋一の兵器工場」ともいわれました。工場は人口の増加や各町村の結びつきを強め、豊川市の誕生・発展に大きな影響を与えましたが、1945(昭和20)年8月7日のアメリカ軍B29爆撃機124機と、P51戦闘機45機による空襲で壊滅的な被害を受け、学徒動員も含めて工廠で働いていた一般市民2,500人以上が犠牲となりました。

豊川海軍工廠跡地には、第一火薬庫(=左写真)などが今も残っています。その跡地に、戦争遺跡を保存し、豊川海軍工廠の歴史から平和の尊さを学ぶ場として活用されることが期待されています。

(第2760地区 愛知県)



大分・熊本から国際平和を考える

2720 Japan O.K. ロータリーEクラブ 安部 道弘

2017年6月に創立した当クラブの創立記念イベントとして10月22日、「大分・熊本から国際平和を考える」を開催。内容は3部構成で、まず九州で唯一の国連機関で、都市化と居住の問題に取り組む国連人間居住計画(HABITAT)福岡本部の澤優本部長が、国連やHABITATの事業、東南アジアで行われている国際支援活動などについて講演。続いてロータリーの国際奉仕活動や国連UNHCR協会で活躍中の財団学友・中村恵氏の動画による紹介、大分県内の留学生による民族舞踊と民族衣装のファッションショーを行いました。

高校生、大学生を多数含む約300人が来場。このイベントが若い世代の人たちにとって世界平和や国際貢献などに興味を持ってもらう一助になれば、と思いました。(第2720地区 熊本県・大分県)



南スーダン研修生のホームステイによる市民交流に協力

広島東南ロータリークラブ

広島東南RCは、研修専門の国連機関・国連訓練調査研究所(UNITAR)が実施する「国連ユニタール南スーダン奨学プログラム」への協力として、広島での市民交流のためのホームステイと交流イベントのお手伝いをしました。

南スーダン共和国は2011年に誕生。世界で一番新しい国で、いまだ多くの課題を抱えながら、必死に国づくりの道を歩む若い国です。「国連ユニタール南スーダン奨学プログラム」は、国連ユニタールと日本の外務省、南スーダンの協力事業として2015年から行われており、南スーダンの将来を担う人材を招聘して広島と東京で、視察・ワークショップなど6カ月にわたって研修、参加者のリーダーとしての能力を強化します。

今回で第3回になるプログラムでは、国連ユニタール広島事務所が担当する広島でのプログラムの中で、初の試みとして、日本の一般家庭でのホームステイと、観光などによる市民との交流を取り入れることとなり、当クラブが国際奉仕事業の一環としてこれに協力しました。

今年度このプログラムに参加した研修生は、男性14人、女性11人。いずれも行政庁やNPOなどで活動し、国の未来を担う人たちです。クラブは10月6日に平和記念資料館視察終了後の研修生を迎えた歓迎レセプションと、7日の宮島観光、精進料理の昼食、もみじまんじゅう工場見学、お別れパーティーなどを通して、南スーダンの研修生たちと交流しました。

広島でのロータリアンとの交流を通じて、原子爆弾の

惨禍から懸命に復興し、平和都市と呼ばれるに至った「復興のこころ」を彼らと共有できた、有意義な活動でした。

(第2710地区 広島県)



私の考える平和とは

3人のロータリアンに、「私の考える平和とは」をテーマに寄稿いただきました。

不戦の誓い 平和への願い

千葉北RC 石井 七郎
1938年生まれ



長年築き上げてきた会社を後継者に譲り、今までの仕事が全てこの手から離れると気が楽になったのと同時に、いろいろと生活のリズムが変わり、体に変調をきたす。多分何もしないからだと思う。

早く自分なりの時間割を確立しなければならない。車もできるだけ乗らず、バスや電車を使うことにしている。バスの乗り方(前乗り・後乗りなど)、Suica(スイカカード)の使い方など、妻に手ほどきを受けて出歩くことが多くなった。

久しぶりにバスに乗った。どこか寂しそうな顔をしている老人に出会った。私より2つ3つ上かもしれない。どこに行くのだろうか、小刻みに揺れるバスの中で、しっかりと手すりを握り、時々車窓の景色を見ている姿が気になる。私と同じ戦中派の一人ではないだろうか？あの忌まわしい戦争の経験者に違いない。

終戦当時、私は7歳、小学1年生だった。ピカピカの1年生とはほど遠い、戸惑う1年生といってもよいだろう。思い出す。あの3月10日。どこからともなく聞こえてくる「東京が大変だ」という噂。東京大空襲の夜、千葉のわが家の前にある小高い丘の上から兄と見た東京の空は真っ赤に染まって恐ろしかった。あの日はやけに空襲警報が鳴り止まず、家の全ての明かりを消して狭い防空壕に入り、ご飯を食べたことを思い出す。

今のように通信機器が発達していなかったために、ラジオが唯一の情報源となり、家族でかじりつくように聞



1949年4月、RIに復帰した東京RCの認証状伝達式。ジョージ・ミンズから小林雅一会長に認証状が手渡された

いていた。昼間は畑の中の数少ない野菜を採ったり、廊下の窓ガラスが割れないように十文字の紙を張ったりしている家族を遠くで見ている。もう思い出したくもないあの悲惨な戦争。

天皇陛下は毎年、全国戦没者追悼式で過去への深い反省、そして平和を祈る気持ちを述べられている。

日本のロータリークラブは、1940(昭和15)年に軍の圧力を受けて解散に追い込まれ、米山梅吉氏は東京RCの壇上で解散を宣言した。その後、1949(昭和24)年、日本ロータリーのRI復帰が時のRI会長、アンガス S. ミッチェル氏によって認められた。戦争は全てを失うものである。人が人の命を奪うことは絶対に許されるものではない。

皆さん、思い出しませんか？ バラク・オバマ前アメリカ大統領が広島を訪問した際、最後に言った言葉を。「広島と長崎は核戦争の夜明けではなく、私たちの同義的な目覚めの始まりであるべきです」

(第2790地区 千葉県 厨房設備士)

戦没画学生の 遺作に思う

横浜西RC 吉川知恵子
1962年生まれ



長野県上田市の塩田平という小高い丘の上に「無言館」という美術館がある。画家を志して美術学校に入り、これからという時に戦地に送り込まれ、若い命を落とした戦没画学生の遺作が展示されている。

重い木の扉を開けると目に飛び込んでくるのは、家族

団欒の光景であったり、子を宿した妻の裸婦像であったり、深いシワの刻まれた老婆の笑顔だったりする。どの作品からも描き手の思いがあふれるように伝わってくる。

「帰ったらこの絵の続きを描くから」という家族との約束は果たされることはなかったし、おなかの中にいた子どもの顔さえ見ることもできなかった。

絵の前に立つと、今ここに自分が生かされていることの重み、生きている者としての責任を感じずにはられない。

空気と同じように、平穏な日常も所与のものとして甘受している自分がいる。地球のさまざまなところで戦火

から逃げ惑い、明日の命さえ知れない思いをしている人たちがたくさんいることを単なる「知識」にしてしまっはいけない。

大事な人と一緒にいられる幸せ、おいしい物を味わえる幸せ、好きなことに打ち込める幸せ。そんな当たり前の幸せが当たり前でないことを忘れずに、まだそのような「当たり前」の日常」を手でできない人たちのために手を差し伸べる。一人一人のささやかな努力が、平和への最も確実で最も力強い礎になると私は信じている。(第2590地区 神奈川県 弁護士)



写真提供：一般財団法人戦没画学生慰霊美術館無言館

東山魁夷の「道」のこと

函館RC 小原 幸男
1929年生まれ



昭和の日本画家の巨匠・東山^{かいい}魁夷(1908～99)に、「道」という戦後を代表する名画がある。魁夷は本名を新吉といい、父・浩介は親の遺産で暮らし、楽道家でほとんど感情だけで生活する人間であった。母のくには、そのような夫の傍若無人ぶりに耐え、悲しみを理性で抑えて子育てに明け暮れていた。

「この極端に異質の二人の間には、相当深刻な問題があって、まだ小学校に入ったばかりの頃から、私は人間の間に愛憎と、またその業ともいべき姿を見てきたのです」(東山魁夷『わが遍歴の山河』)。こうした中で、彼の絵に対する才能が世に認められ、画家を目指し、巨匠の道へと進んだ。

第二次世界大戦の中、1945(昭和20)年に召集令状が来た。画伯37歳の時である。軍隊での任務は、迫撃

隊という爆弾を抱えて敵の戦車に体当たりするというものであった。それはもう、二度と筆を執ることはないだろうという絶望そのものであった。私どもと同じ年代の多くの若者たちが、特攻隊として爆弾を抱え、敵艦に体当たりしていた最中^{さなか}のことである。

戦争はその年に終わり、死は免れたものの、帰還した画伯には、母と弟の病死と、事業に失敗した亡父の借財がのし掛かってきた。

「道」は、そのような境遇^{たねさし}の中で描かれた。1950(昭和25)年、青森県八戸の種差海岸にある牧場で、まっすぐに伸びた道を描いたものである。凄然^{せいぜん}たる家庭と悲惨な戦争の体験の中に、このひとすじの道を歩こうという意思が育ち、この作品になったと、魁夷画伯が言われている。そこには、牧場の先にあった灯台も、牛も馬も木も一切が排除され、空と草の中に1本の道だけが描かれている、絵画としてはおおよそ異色の構図である。

平和については古来、聖賢をはじめ多くの先人哲人たちの言葉があり、吾人が今さら^{なにいし}加える何ものもない。

ただ、東山画伯の「道」と対峙して、家庭と国家の平和を祈るのみである。(第2510地区 北海道 清涼飲料製造)

戦争に立ち向かうロータリアンが主人公の映画

多くのユダヤ人の子供をナチス・ドイツの迫害から守ったニコラス・ウィントン(1909～2015)。ロータリアンでもあった彼の生涯を追ったドキュメンタリー映画を、映画を職業とするロータリアンに見ていただきました。

映画「ニコラス・ウィントンと669人の子どもたち」を観賞して

佐世保中央RC 牛島 義亮

私は長崎県佐世保市で映画館「シネマボックス太陽」を経営しています。その私に『ロータリーの友』編集部からドキュメンタリー映画「ニコラス・ウィントン

と669人の子どもたち」の感想執筆の依頼が来ました。日本では2016年に上映されたそうですが、私は題名も登場人物がどういう方かも知りませんでした。わざわざ



© TRIGON PRODUCTION s.r.o. W.I.P.s.r.o. J&T Finance Group a.s. CZECH TELEVISION SLOVAK TELEVISION 2011

依頼が来る映画はどういう内容かなど、興味をもって見てみました。

アメリカ・イリノイ州で「ロータリアン平和の殿堂」入りを果たし、イギリスのナイト(卿)の称号を受けた元メイデンヘッドRC会長でもある、ニコラス・ウィントン氏の業績を取り上げた映画でした。

仕事でチェコスロバキア(当時)に滞在していた彼は第二次大戦開戦前夜の1938年、ナチスにより迫害されようとしていたチェコのユダヤ人の子どもを自分の母国・イギリスに列車で避難させる活動(別名「チェコ・キンダートランスポート」)を組織し、計669人を救出しました。近年では「英国のシンドラー」とも言われている偉業を成し遂げた人物です。

日本では、ホロコーストを題材にした映画といえば「シンドラーのリスト」(1993年)、「戦場のピアニスト」(2002年)、そして約6,000人のユダヤ人を救った杉原

千畝^{ちうな}を扱った作品などは知られていますが、私自身、この映画を見て同じロータリアンで命を懸けて669人の子どもたちの命を救った人物がいたということを知り、改めて物語に引き込まれました。

何とかナチスの手から子どもたち

ちだけでも救おうと必死に活動し、669人を救出した後、さらに250人を輸送するはずの計画が中止になり、ほぼ全員がホロコーストの犠牲になりました。そのことに心を痛めたニコラスは口を閉ざし、この活動が本人の口から語られることはありませんでした。

その人道的な業績の数々は記録として1冊のスクラップブックにまとめられ、妻が屋根裏部屋で発見するまで、50年が過ぎていました。その後、イギリスのテレビ局(BBC)の生放送で、彼は生き残った50年後の子どもたちとサプライズで対面。ニコラスに救われた子どもたちの感動的な物語は世界中を駆け巡りました。

現在、生き残り、再会を果たすことができた子どもたちは、その家族を入れると6,000人以上になります。その子どもたちが、「ニコラスへの恩返し」ということで、世界中で人助けが広まっているという事実、深く感銘を受けました。

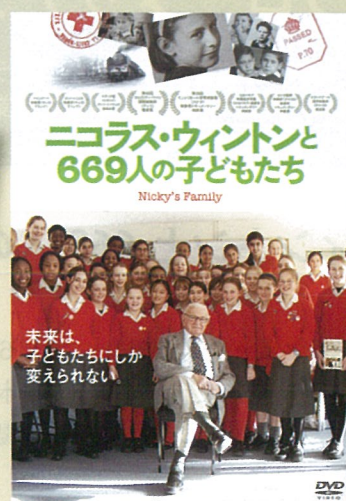
その輪が日本でも広まるよう、ぜひ全国のロータリアンにこの映画を鑑賞されることを勧めると同時に、ニコラスの残した「一見不可能なようでも必ず道はある、もし人がそれに全身全霊で注ぐと決心したら」という言葉をお伝えして、私の感想とさせていただきます。

(第2740地区 長崎県 映画館)



『The Rotarian』でも彼の功績が特集されました(2008年12月号)

ニコラス・ウィントンと669人の子どもたち



2011年チェコ+スロヴァキア合作 / 101分 / 制作・監督・脚本: マテイ・ミナーチュ

公式ウェブサイト

www.nicholaswinton.jp

DVD発売中

4,104円(税込)

販売元: ポニーキャニオン

上映会のお問い合わせ

エデン(提供・配給)

TEL: 03(5355)5792

日本ロータリー学友会第7回総会 in 神戸 継続的な活動を目指すために

日本ロータリー学友会代表幹事 高木 直之（かながわ湘南RC）

2017年11月11～12日、国内のロータリー財団学友会が連合し、結成された日本ロータリー学友会の第7回総会が、神戸で開催されました。福岡県博多に続き2度目となる、東京都以外での開催です。国際ロータリー（RI）理事エレクトの三木明氏、ロータリー財団地域コーディネーター第3ゾーン担当の村上有司氏、第2680地区ガバナーの瀧川好庸氏をはじめ、今回も多くのロータリアンにご出席をいただき、全国20地区から集まった学友が課題や将来について語り合いました。

今回のゲストスピーカーは2人。RI職員のビル・リンツ氏は、「最近の学友事情」をテーマに、世界の学友の状況を堪能な日本語で発表。世界で活躍する学友の姿を見ることができ勇気づけられました。もう一人は第2680地区のグローバル補助金による奨学生としてロンドン大学リーズ大学院に留学した大類隼人氏で、自らが設立した認定NPO法人Future Code(<http://www.future-code.org/>)での活動を紹介しました。ハイチ、ブルキナファソ、バングラデシュで、経済的自立を支援しながら医療を提供する活動と、それを支えてきた大類氏の行動力に、一同心を打たれました。彼のような奨学生を世界に送り出したことは、ロータリアンの誇りだと思います。

ディスカッションではいずれの学友会も学友名簿の維持・管理が最大の懸案事項であることが分かりました。多くの学友を送り出してきたにもかかわらず、名簿が不完全なために活動が停滞している学友会もあります。学友はロータリーが送り出した人材の宝庫です。学友との縁を絶やさないためにも、名簿の整理ができればと感じました。

「学友をロータリーに」というロータリアンの願いはもっともですが、あまりにも強引な入会勧誘や、学友クラブ創立の要求が、かえって学友のロータリー離れを招



いてしまった例もいくつか報告されています。若い学友の場合、まずは自分の生活を確立できてこそ、超我の奉仕を実践することができます。個人的な話になりますが、私はアメリカのカウンセラーの姿を見て、「自分もいずれはこのように生きたい」と思い、日本初の学友クラブであるかながわ湘南ロータリークラブ（RC）の創立会長を引き受けましたが、当時は42歳でした。せめて40歳を超えるまでは、ロータリーとの縁を絶やさず、見守ってほしいと思います。

学友会活動の継続には、参加してよかったと思ってもらえるプログラムが肝要です。今回の総会ではゾーン単位で近隣の学友会が集まり、将来の協力関係についても議論しました。第2590地区・2780地区のように、かつて同一の地区であった縁から、共同の新奨学生壮行会や学友同士の懇親会などを開催しているところもあります。地区を超える活動も実施されていくことでしょう。

今年度から日本ロータリー学友会のかじ取りは、東京のロータリー財団学友会組織であるロータリーフェローズ東京の田中栄次郎氏（東京RC）から、兵庫学友会の松下衛会長（神戸東RC）に引き継がれました。

松下会長あいさつの際にスクリーンに映し出されたのは、1970年の留学時から今まで親交が続いているカウンセラー夫人です。会長が一昨年、カナダの自宅を訪れた際の写真でした。これは、ロータリー財団奨学金制度の本質を見るための演出。彼は現状把握するために各地区の学友会の総会には可能な限り出席したいとのこと。茨城（第2820地区）、埼玉（第2770地区）、大阪（第2660地区）などにも足を運んでいるそうです。各地区のロータリー財団学友関係の方々、学友会総会開催の時などにはどうぞ声をかけてください。

（第2780地区 神奈川県）



ロータリーの心を求める旅

第 2500 地区 北海道東部

成瀬 則之ガバナー（網走RC）

「ガバナー年度の一年は、肉体的にも精神的にも大変な一年ではあるけれど、その一年は何物にも代え難い貴重な一年となりますよ」「ガバナーにとってガバナー公式訪問とは、大げさに言うなら一世一代のことです。クラブと真摯に向き合う心を忘れてはいけません」

2017 年 7 月 19 日、66 歳で逝去された、私が尊敬してやまない奥周盛バストガバナーの言葉です。

わが第 2500 地区は日本一広大な地区であり、おの独自の個性を持って活動している 67 のクラブが点在しています。クラブ所在地の人口は、1,000 人未満～30 万人、会員数も 4～100 人。私がガバナーとして痛感させられたのは、会員数の大小は全く関係がないという事実です。

地域に根差した奉仕活動、地域の財産である青少年の育成、持続可能性……言葉にすると平坦なことも、いと

も簡単に普段着のまま実践している、そして各クラブが地域と共に歩んでいることの力強さを強烈に感じました。何よりも、ロータリーと真正面から向き合い、ロータリーライフを享受しているロータリアンのなんと多いことか！

「小なりと謂えど弱小に非ず」

「大なりと謂えど過大に非ず」

67 クラブ 2,319 人のロータリアン全てが素敵な人たちでした。ガバナー公式訪問は、ロータリーの心を求める旅。緊張と感動の連続。

こんなことはもう二度と味わえないでしょう。

（定置漁業）



例会の始めにハイタッチの習慣がある富良野RCの公式訪問。気持ちが穏やかになりました（2017 年 7 月 右から 2 番目）

ガバナー公式訪問 1 万 1,000km の旅

第 2510 地区 北海道西部

国立 金助ガバナー（函館RC）

ガバナー公式訪問を始めるにあたり、地区幹事の心配を押し切り、夫婦 2 人で自家用車を自ら運転して行くことに決めました。女房の条件は温泉とビール、そして残念でしたが自分はクラブ例会には出ないことです。



地区大会では台湾の姚啟甲RI会長代理（右）から「国立金助」の名を基にした漢詩の掛け軸をいただきました（2017 年 10 月）

10 月の地区大会を境に、大会前は宿泊を伴うクラブ、大会後は日帰りできるクラブに分けて訪問しました。7 月 11 日の深川RC、妹背牛RCからスタートして 10 月 4 日の恵庭RC、由仁RCまで、車では 69 クラブ中 57 クラブを訪問。走行距離は 1 万 1,000km。ホテルに 53 泊しました。どのクラブに行っても心温まる大歓迎を受け、「ガバナー」の任の偉大さを知りました。

それにもまして素晴らしかったことは、夫婦 2 人だけの車の旅でした。密室の車の中では、四十数年前の出会いから今日までの思い出話、子どもや孫の話と、2 人の時間はたっぷりありますので、いろいろな話をしながらの運転となり、ロータリーは年月とともに夫婦 2 人で一人前であると実感しつつ、素晴らしい夫婦の時間を過ごすことができました。ぜひ、ロータリアンの皆さんにも「夫婦 2 人の旅」をスイセンいたします。

そして函館市での地区大会。どの顔も知っている人ばかり。当地区で一番遠いクラブは車で高速道路を利用して 8 時間かかります。何人かに「来たよ」と声をかけられましたが、遠い所から飛行機、電車、車で来ていただいたと思うとジーンと胸が熱くなり、今までにない感動をもらいました。今になって、ガバナーをさせていただいたことに感謝しています。

（不動産売買）

「繫」を感じた ガバナー公式訪問

第 2520 地区 岩手・宮城

藤崎三郎助ガバナー（仙台 R C）

「繫」。2017 年の世相ではなく、この 1 年の私を表す一文字の漢字です。その繫がりを強く感じたのがガバナー公式訪問でした。

「36 年前、お父様をガバナーとしてお迎えしました」。ガバナー公式訪問の際、あるクラブのロータリアンから掛けられた言葉です。父であり先代の藤崎三郎助も地区ガバナーを務めたロータリアンでした。私の家業は百貨店で 1819（文政 2）年に初代が創業して以来、一貫して地域発展と顧客第一を信条にのれんを守ってきました。間もなく 200 年を迎えますが、初代三郎助や先人たちがその教えを後世に繋ぎ、幾多の困難な時を経て、代々商売を行ってまいりました。

ロータリーもまた「繫」で表せるのではないのでしょうか。112 年もの間、その活動が共感を呼び、今では 120 万人を擁する団体へと発展を遂げました。ポリオ撲滅に

向けた世界的なプログラムや各地域に根差した奉仕活動、次世代を担うリーダーの育成まで、その過程には各地域に奉仕の志を持ったロータリアン同士の友情と、一種の強固な繫がりがあったからこそではないでしょうか。

今年度ガバナーを拝命し、ガバナー公式訪問や地区大会で今まで以上に多くのロータリアンとお会いする機会が増えました。それは地域貢献の一助になる各クラブの奉仕活動やクラブ運営の実情を知り、多くの気づきや学びを得る貴重な経験です。今、改めて思うことは、出会った多くのロータリアンと共に今後も「超我の奉仕」を実践し、次の世代へ繫いでいくことです。（百貨店）



仙台青葉 R C 公式訪問会場のホテルで（2017 年 11 月）

地区顕彰でロータリーの 認知度向上に寄与

第 2530 地区 福島

鈴木 邦典ガバナー（白河 R C）



10 月の地区大会で一般市民を表彰（右端）

「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」の視点から、ロータリアン以外の一般市民の中からロータリーの奉仕の精神で、地域社会において貢献されている方々を地区 8 分区のガバナー補佐から 9 人を推薦いただき、地区大会の席上、金一封と記念品（新白河駅頭の松尾芭

蕉像レリーフ）を贈り地区顕彰を行った。

「ロータリーは良いことをしている」が、その認知度は低い。今年度は各分区の I M などで外部に向かって発信することにより、「ロータリー：変化をもたらす」で認知度を上げ、会員増強やポリオ撲滅につながることに信じている。この地区顕彰は初めてのことで、推薦が挙がるか、またどんな方々が推薦されるのか多少不安であった。しかし推薦された皆さまの活動内容は素晴らしく、年齢は 50 代から 90 歳と幅広く、それも男性、女性とうまく分かれ、地区大会の席上で初めてお目にかかり、水野功 R I 会長代理も同席された中での顕彰であった。

しかし、その方々とゆっくりお話をする機会もなく、連日ガバナー公式訪問に追われていたが、地区大会が終わった翌日の消印で、いわき分区からの受賞者のお一人は「ロータリーが在県留学生へ奨学金を給付していること」、さらに会津分区、県南分区の受賞者から「若い世代の国境を超えた交流親善のことなど、今まであまり知らなかったことをロータリーが取り組んでいる意義がよく分かり、とてもうれしく存じます」との内容のお手紙をいただき、私も感激して胸がジーンと熱くなった。この顕彰で、ロータリーが何をしている団体かを知っていただいたことが何より一番であった。（ワインアドバイザー）

得難い仲間から 多くのプレゼント

第 2540 地区 秋田

柳谷 悦磨ガバナー (能代RC)

ガバナーとして7カ月、ガバナー公式訪問と地区大会を終え、ちょっとひと息というところです。ガバナーエレクトとして2回のGETS（ガバナーエレクト研修セミナー）、サンディエゴの国際協議会や東京での各種セミナー、地区ではPETS（会長エレクト研修セミナー）、地区研修・協議会など、ロータリー時間（？）が急激に増えた慌ただしい1年半でした。生来怠け者でロータリー劣等生だった私にとっては、辛い“修行”のような日々でした。それはまだ続いていますが……。

しかし、そんな私のちっぽけなストレスなど問題にならないほどの多くのプレゼントをいただきました。第一に同期ガバナー・パートナーという得難い仲間と知り合えたことです。回を重ねるごとに絆が深まり、「皆がんばっているな、自分も……」と力をもらっています。

またパストガバナーや地区役員・委員の皆さんにもし



両手に花。美喜子夫人(左)と同期ガバナー夫人の間で(2017年10月)

っかり協力をいただいております。時には私の気付かないアドバイスをくれます。ガバナー公式訪問は暑い時期でしたから、ブレザーにネクタイは汗かきの私にとっては冷や汗も合わさり、まさに“修行”そのものでしたが、ガバナー以上のガバナー補佐に助けられ、RIテーマ、地区方針、各クラブの課題について前向きな話し合いができました。そして、何といたってもガバナー事務所を支えてくれる能代RCの全面協力により、地区大会は近隣クラブの応援を得て、無事に終了することができました。

残る半期、富樫龍紀ガバナーエレクト（現ガバナー補佐）と共に次年度につながる地区活動を、と思っています。
(仏教)

ロータリーの本質に 触れた4カ月

第 2550 地区 栃木

太城 敏之ガバナー (宇都宮東RC)

私がロータリークラブの門をたたいたのは今からおおよそ27年前です。入会後はロータリーの哲学ともいえる「四つのテスト」を道しるべに、諸先輩方と共に「親睦」と「奉仕」に努めてきました。その精神は自身の生き方にも大きな影響を与え、自社の経営にも存分に生かして



大田原RCのガバナー公式訪問で(2017年9月)

います。

そうした中で、「心に残るロータリーの体験」は数え切れないほどありますが、特に印象的なのは、ガバナーとして、栃木県内の全51クラブを巡ったガバナー公式訪問でした。会員の高齢化、会員数の伸び悩み、若手会員の増強策などさまざまな問題・課題を抱えつつも、地域に深く根を下ろし、生き生きと活動するロータリアンの姿を目の当たりにしました。

訪問中、1,700余人のロータリアンと間近に接して感じたのは、「ロータリークラブ＝人」であるということです。活動を通して互いに信頼関係を築き合い、そこで培った「人の輪」を地域に広げています。多くの会員の熱意に触れたことで、改めてロータリーの本質、ロータリアンの原点を実感した貴重な4カ月間でした。

今年度の「地区方針と目標」の中で、私は「チャレンジ&イノベーション」を掲げましたが、ガバナー公式訪問を終えてより一層、挑戦と変革で第2550地区の未来を切り開いていこうという意欲に燃えています。ロータリーの原点に立ち返り、さまざまなイノベーションを繰り返すことが、さらなる成長の源となるはずで、いま一度自分たちの足元を見直しながら、人類の奉仕にまい進していく覚悟です。
(会議・式場用品製造販売)

ロータリーの教育的プログラムの成果を確信

第 2560 地区 新潟

新保 清久ガバナー（新潟万代RC）

2016年11月、東京で開催されたロータリー財団 100 周年記念シンポジウムで、国連やNGOに所属してシリア、アフリカといった国際紛争地域で、人道的支援を行う元国際親善奨学生やロータリー平和フェローの日本人女性5人から、大変危険で厳しい状況下での活動の様子を聞きました。

中でも緒方貞子さんの元部下で、現在は国連の軍縮部門のトップ(事務次長・軍縮担当上級代表)の中満泉さんの「私がこのような平和活動の仕事に就いたのは、ロータリーの国際親善奨学生に選ばれて1年間、アメリカに留学できたからです。それから30年たち、今の仕事ができるようになりました。人が育つには、10年、20年という長い時間がかかります。ロータリアンの皆さまに心よりお礼申し上げます」とい

うお話が印象に残りました。

また、昨年10月の地区大会で、ホームカミング制度で来日した米山学友から「米山奨学生になれて本当に幸せでした。奨学金だけでなくカウンセラー、世話クラブのおかげで楽しく勉強、研究ができました。感謝の気持ちとして初任給の一部を上海の学友会に寄付しました。ロータリーの皆さま、本当にありがとうございました」という熱い言葉と、青少年交換を終えて帰国した学生から「外国に出て、日本が世界中で尊敬されていることを初めて知った。今後は、勉強して国際機関で働きたい」という抱負を聞きました。

ロータリーの教育的プログラムは、国際理解と世界の平和に大きく貢献していると確信しています。(米加工業)



地区大会で新世代に囲まれて（2017年10月 左から6番目）

皆で斉唱「ロータリーを他人に告げる歌」

第 2570 地区 埼玉西北

細井 保雄ガバナー（行田さくらRC）

私にとってガバナー公式訪問は感動の体験です。地区内各クラブから温かく歓迎していただきました。また私の所属する行田さくらRCの皆さんがいつも交代で2～3人同行してくれ、感謝しています。ロータリーのFellowship（友愛）がより強いものとなりました。

ガバナー公式訪問では、例会の冒頭で、私が作詞・作曲した「ロータリーを他人に告げる歌」（サブタイトル「ロータリーとは何ですか？」）を会員の皆さんが斉唱してくれました。私がこの歌を作ったのは、私自身もそうですが、会員から「ロータリーを一言で言えない」とよく耳にするからでした。また、イアン H. S. ライズリー R I 会長の話にも「数年前、知り合った人からある質問をされました。『ロータリーとは何ですか？』。シンプルであるはずのこの質問に答えようと口を開きかけたところで、思わず止まってしまいました」とあります。

歌詞は「会員仲良く 自己研鑽^{けんさん} 仕事を磨いて 社会奉仕 若人育成 国際奉仕 人類仲良く 世界平和」です。この歌詞をメロディーに乗せました。

私はロータリークラブに入会してロータリーの目標・目的はクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、究極の目的は国際理解、親善、平和であることを学びました。それをこの曲に反映させました。ガバナー公式訪問で鶴ヶ島RCを訪れた時、鴨下三夫会長のギター演奏により(写真)、皆でこの曲を斉唱しました。自分自身も「ロータリーとは何ですか？」と聞かれた場合、この歌を念頭に置いてロータリーを人に語りたいと思います。(建売販売業)



World Roundup

世界のロータリーニュース



カンボジア

2012年から、ハワイのポイプビーチ・ロータリークラブ（RC）はポーサットRCと協同でN G O 団体、Sustainable Cambodia を援助しています。ポーサット州の農村部での、幼稚園舎の建設や栄養プログラム、また先生の給与の一部などに6,000ドル（約68万円）を提供してきました。6月に学用品と遊具を届けた際、獣医でポイプビーチRCの元会長であるクレイグ・ニシモト氏は40匹の犬に狂犬病の予防接種を施しました。「カンボジアではペットに狂犬病の予防接種を行っていないのです」とニシモト氏。犬に予防接種を行うことによって、人を守ることにもなります。

ナイジェリアの国内避難民
は200万人を超えます。



ナイジェリア

ボコ・ハラム武装集団に住む場所を追われ、避難民が増えている現状にジョスティンシティRCが立ち上がり、奨学金制度を創設しました。この奨学金により、10人の女子学生がリヨムの家庭科研修所に通えることになりました。「この危機的な状況の中、どのような形できちんとした教育を受けられない孤児が増えてきています」とクラブ会員のアーサー・オフィオホンレン氏は言います。同クラブは奨学金に約1,600ドル（約18万円）を提供してきましたが、その大半はここ数年の会員の直接寄付によるものです。



ニュージーランド

ナモツRCの会員たちは、バールや金づちを手に、クラブの慈善信託で管理する高齢者向けアパート、全8戸の改装工事を行いました。2017年の半ばにニュープリマスRCからマオリ語のクラブ名に名称を変更したこのクラブは、各戸に2万5,000ドル（約290万円）以上をかけて2年間のプロジェクトを行っています。「資金は37㎡ある各戸の内装や冷蔵庫や洗濯機の購入といった備品の新調、ペンキ塗り直しなどに充てました」と元会長のウォーリー・ギャレット氏は言います。



カナダ

2015年初め、地元の10代の若者2人が自殺した事件に衝撃を受けたノバスコシア州のヤーマスRCは、リーダー養成キャンプや、中学生のためのメンタルヘルスデー、栄養講座、学校でのやる気を引き出す講演会などを主催して、青少年のための活動に力を入れてきました。10月にはカナダのポップロックバンド、クラッシュ・テスト・ダミーズの元ドラマーのミッチ・ドージ氏をゲストに招きました。10月19日に開催されたリズムの集いでは、2校の1,000人の高校生に向けて、ドージ氏が飲酒運転、薬物使用、いじめなどについて熱心に語りました。翌日には小さな会場で、さらに多くの生徒たちに語り掛けました。

「俺は子どもたちに上から一方的に話すんじゃないくて、話し掛けるんだ」とドージ氏。

この企画は保険会社のThe Co-operatorsが資金を提供し、地元のエージェントでヤーマスRCの元会長であるスコット・ルッツ氏の手配で実現しました。ビートに合わせて手をたたくのは治療の一環だとドージ氏は言います。「このドラムのリズムは皆で作り上げたんだ」。

若者たちと一緒に活動することで「クラブはすっかり活力を取り戻しました。活動の軸ができて、地域社会の人々と実際につながることができました」と40人の会員を擁する同クラブの会長、ケリー・ミウス氏は言います。ドージ氏はクラブの熱心さに心を打たれたと言います。「こんなにも誰もが誠実で信頼できるなんて、信じられなかった。悩みを聞いてくれる人がいるってことを、若者に知ってもらわないとね」。—ブラッド・ウェバー

カンボジア人が犬にかみつかれる事故は年に約60万件。そのうち半数の犬は狂犬病の疑いがあります。



アルゼンチン

学習における視力の重要さを認識した、ルフィノRCは過去3年間で4校の児童を対象とした視力検査を監督してきました。その数は10月に検査をした120人も含め、350人になります。このプロジェクトはロサリオRCが立ち上げたもので、全員がボランティアで参加している点が素晴らしい、とルフィノRCのハビエル・エルナン・エンリケ・バルリエントス氏と言います。バルリエントス氏とクラブの仲間はここ数年で700ドル（約8万円）を視力検査プロジェクトのために費やし、眼鏡20個を寄付し、レンズを提供するエシロール・ヴィジョン財団と協力して、眼鏡技師による視力検査を準備、必要に応じて眼科医を紹介しています。

米山記念奨学事業 50 年のあゆみ ④

—— 1980 年代 ——

ロータリー所在国以外にも門戸を拡大

1980 年代に入っても、事業への理解を深めてもらうための取り組みが続きます。1975 年に 4 月 22 ～ 28 日の 1 週間を「米山週間」と定め、1980 年に 10 月 1 ～ 7 日に変更。1983 年には現在と同様、10 月を「米山月間」として PR を推進。その結果、寄付金は順調に増え、1987 年度には初めて 10 億円の大台を突破。寄付金の増加に応じて奨学生数も増え、1989 年以降、年間奨学生採用数は、500 人を超える規模となりました。

奨学生の増加には、在日留学生数が増えたという社会的背景もありました。1983 年、日本政府が 21 世紀初頭を目標にした「留学生受け入れ 10 万人計画」を発表。それに伴い、私費留学生の数は増え続け、奨学金への需要と期待は大きくなっていきました。同時に、財団発足以来、「ロータリー所在国」に対象を限っていた定款の見直しを求める声が寄せられるようになりました。

日本人 2 人目の国際ロータリー（R I）会長・向笠廣次氏（1982 - 83 年度）は在任中、「非ロータリー国からの学生を除外せぬように定款の改正を考慮中である」と言及。また、1986 年の大阪・第 266 地区の地区大会では、「ロータリーが所在しない国からの留学生にも奨学金を支給できるよう拡大を望む」との特別決議がなされました。こうした声を受け、対象拡大に慎重だ

った米山記念奨学会も、1989 年 4 月採用の募集から、中国、キューバ、ミャンマーなど、かつてロータリーが所在していた国からの留学生に門戸を開くことにしました。

各地で相次いだ米山学友会の発足

そのほか、最も大きな出来事は、元奨学生による同窓会組織、米山学友会が国内外に発足されたことです。

70 年代初め、台湾で学友会結成が図られたものの、当時は結社の自由が制限されており、立ち消えになっていました。しかし 1980 年、米山記念奨学会監事らが訪台し、学友を集めて連絡態勢を整えたことで再び機運が高まり、1983 年 1 月、台湾米山学友会（正式名称・扶輪米山会）が発足。台北で開かれた創立式典には、向笠 R I 会長からも祝電が寄せられました。

1985 年 11 月には、国内初の「米山奨学生学友会（関東）」が誕生。その後、関西、北関東、西日本にも次々と学友会が結成されました。

韓国でも 1989 年のソウル国際大会の際、湯浅恭三理事長（当時）はじめ米山関係者の歓迎会を開くため学友が集結。当日の参加者によって学友会結成の申し合わせがあり、同年、韓国米山学友会が設立されました。

このように各地で相次いだ米山学友会の誕生は、事業創設から 30 年の歳月を経て実を結んだ、米山記念奨学事業の確かな成果と呼べるものでした。



韓国米山学友会会長

ジョン・ピョンテ
全 炳台 さん

出身：韓国
奨学期間：1980 ～ 83 年
学校名：東北大学大学院
世話クラブ：仙台北 R C

写真・韓国学友会が支援する
日本人奨学生と

博士課程の 3 年半、米山奨学生として大変お世話になりました。学位論文の審査が通り、仙台北 R C の皆さんに祝ってもらったことは、忘れられない思い出です。帰国を前に、「私は必ずロータリアンになります」

と皆さんに約束しました。母校の建国大学食品生命科学科で 34 年にわたり教授を務める傍ら、2008 年にセソウル R C に入会し、ついに、その約束を果たすことができました。

2014 年からは韓国米山学友会の会長を務め、帰国学友の歓迎会や定期総会を通じて仲間を増やし、2016 年には学友を中心にしたロータリー衛星クラブを創立しました。また、台湾米山学友会に倣って、在韓日本人留学生への奨学支援を始めました。米山はとても意義ある事業で、お世話になった私たちはそのご恩を一生忘れません。微力ながら、私たちは今後も日本からの留学生を支援していきます。

米山の1980年代は“拡大と発展の時代”。寄付金と奨学生数が増え、ロータリー所在国以外に門戸を拡大、米山学友会が国内外に組織され、奨学期間後も学友とロータリーが連携する体制が整い始めました。その発展の陰には、事業への理解を深めようとする地区・クラブ単位での地道で熱意ある取り組みがありました。今回は、その一例として、当時の常務理事・増田房二氏の講演（抜粋）と、80年代の奨学生で、現在、ジョンヒョンテ韓国米山学友会会長を務める全炳台さんからのメッセージをご紹介します。

2017-18年度は
財団設立50周年



京都山科（現・京都東山）RC会員

1977 — 89 年度
米山記念奨学会常務理事

1989 — 99 年度
米山記念奨学会副理事長

故・増田 房二さん

米山奨学事業は、米山さんがつくられたものでもありませんし、米山さんの物質的な寄付や遺産でできたものでもありません。敢えていえば、米山さんの心を受け継いだロータリアンによってつくられ、そして全国のロータリアンによって支持・運営されているものでございますので、その意味におきまして、米山奨学事業は、米山梅吉さんの精神的遺産であると私は考えております。

将来の日本の生きる道は平和しかない、その平和日本を世界に理解をさせるためには、先ず何よりも、アジア諸国の理解を得なければならない、それには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を膚で感じとってもらわなければならない、そしてそのために、ロータリー財団の奨学事業のように、しつこ確りした国際奨学事業を始めてはどうだろうか、それこそ日本のロータリーに最も相応しい、国際奉仕事業

ではないだろうか、そういう結論に達しました時に、期せずして思い起こされましたことは、米山さんが生前に、如何に強く平和を愛したか、そして若き青年達に、如何に愛情のこもった援助の手を差し伸べておられたか、ということでございます。

米山さんのたぐいまれなる愛と平和の精神が、われわれの米山奨学事業に、永久に、しかも確実に受け継がれまして、これが世界に友情の橋を、いつまでも、これからも、どんどんかけていくことでございましょう。

私は昨年（2016）の10月に、265地区の『ガバナー月信』に、次のような言葉を載せていただきました。

1. あなたは、米山奨学事業を推進することによって、人類の平和に貢献します。米山奨学金は平和の使徒を育てます。
2. あなたは、米山奨学事業を援助することによって、世界中に友情の橋をかけます。米山奨学金は、世界に友情の橋をかける建設費です。
3. あなたは、米山奨学事業に参加することによって、日本独特の国際奉仕を実践できます。米山奨学金は日本に相応しい国際奉仕の広場です。街のなかにも、海辺にも、山の麓にも、この広場があります。米山はあなたを待っています。

※以上、1983年2月24日、北見西・北見・北見東3RC合同例会の講演録『米山奨学事業の精神的原点』から抜粋。

※米山記念奨学事業、および「よねやまだより」に関するお問い合わせ・ご意見は、（公財）ロータリー米山記念奨学会まで
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281 Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

よねやま
ミニだより

社団法人設立20周年の節目を迎えて —— 台湾米山学友会総会 ——



感謝状を手にした歴代の理事長たち

台湾米山学友会の総会が12月2日に桃園市内で開かれ、当会の小沢一彦理事長と役員、日本のロータリアンら41人を含む計150人が出席しました。社団法人設立20周年を迎えての今回の総会では、歴代理事長への感謝状贈呈や新会員の歓迎セレモニー、各種演奏が披露され、学友会が支援する日本人奨学生が流ちょうな中国語で、日頃の感謝を述べました。

学友会は呉憲璋理事長、張逸崑幹事長のもと改革を進めており、今年度はより多くの学友が『会報』の編集に関わったほか、学友会のシンボルマークを一新し、当日はマークをかたどったピンバッジが全員に配られました。



ロータリー：
変化をもたらす

2017 - 18 年度 地区大会略報Ⅲ



第2710 地区

2017 年 10 月 28 ~ 29 日
シンフォニア岩国ほか
ホスト 岩国中央 R C 登録者 1,743 人

藤中秀幸ガバナー 雨の錦帯橋を望む会場で、横山守雄 R I 会長代理の講義の中、地区内 3 クラブが柔軟性を取り入れたクラブ運営を発表し、「日本のロータリーの先進地区」と評価されました。本会議以外でも、岩国航空基地見学や宇野千代生家の訪問や香道の体験など地域性を P R する企画がもりだくさん。本会議が終わる頃には青空がのぞき、錦帯橋の河原では岩国藩鉄砲隊が火縄銃を発射。銃声を合図に、懇親会のスタートです。「ロータリーの元気は地域の元気」と語る藤中ガバナーの思いがたくさん詰まった大会となりました。



第2640 地区

2017 年 11 月 4 ~ 5 日
ダイワロイネットホテル和歌山
ホスト 和歌山城南 R C 登録者 1,131 人

岡本 浩ガバナー 初日は地区研修セミナーとして、大室備 R I 会長代理が講演。2 日目は第 2650 地区 P G で、東大寺長老、東大寺学園理事長の北河原公敬氏が「菩薩の心とロータリー」と題して記念講演を行いました。今大会は「今一度みつめよう、ロータリーの原点」をスローガンに掲げており、これらの講演などを通じて、ロータリーの心、原点、在り方を学ぶ機会としました。また、連続出席会員や永年勤続事務職員の表彰、晩餐会での心配りなど、岡本ガバナーの心の優しさがにじみ出た、印象的な大会でもありました。



第2590 地区

2017 年 11 月 10 ~ 11 日
パシフィコ横浜会議センター
ホスト 横浜西 R C 登録者 2,069 人

湯川孝則ガバナー 佐原元 R I 会長代理を迎え、初日の地区指導者育成セミナーでは、作家・窪島誠一郎氏が「『無言館』のこと〜戦没画学生が伝えるもの」と題して講演。2 日目は(株)虎屋 17 代当主代表取締役社長の黒川光博氏の記念講演「大切なのは今」に耳を傾けたほか、長寿会員表彰の際には、湯川ガバナーが会場に降り一人一人に記念品を手渡し心遣いが見られました。会員懇親会は大変盛り上がり、終宴まで参加者であふれ、地区の方針「ともに語ろうロータリー〜友達になろう」にふさわしい締めくくりとなりました。



第2660 地区

2017 年 11 月 10 ~ 11 日
NHK大阪ホールほか
ホスト 大阪東 R C 登録者 2,937 人(累計)

片山 勉ガバナー 加藤玄静 R I 会長代理を迎え開催。初日の 3 つの分科会は、全てを聞きたかったという声が出るほど好評でした。同日は片山ガバナーの誕生日。R I 会長代理歓迎晩餐会ではケーキが用意され、ろうそくの火を吹き消す片山夫妻の姿に、会場は温かなムードに包まれました。2 日目の特別講演は室山哲也 N H K 解説委員の「未来へ 人類と人工知能」。N H K 大阪が総力を挙げて製作したというこの映像は、目も耳も肥えた大阪のロータリアンをうならせるもの。充実した内容にスマートな進行で、大会は閉幕しました。



第2540 地区

2017 年 11 月 11 ~ 12 日
能代市文化会館ほか
ホスト 能代 R C 登録者 385 人

柳谷悦庵ガバナー 初日の会長・幹事・ガバナー補佐・地区委員長会議で、元 R I 理事の黒田正宏 R I 会長代理は、講話「最近の職業奉仕は日本と R I でずれがあるのか？」の中で、「基本的に、ずれはない」と語りつつ、誤解が生じやすい理由を分かりやすく説明。2 日目は黒田氏からの R I の現況報告、アサヒグループホールディングス（株）代表取締役会長兼 C E O の泉谷直木氏の記念講演「変化をチャンスに」に耳を傾けました。最後は大懇親会で「わ」のまち」を掲げる能代市での開催らしく、ロータリーの「わ」を広げました。



第2770 地区

2017 年 11 月 11 ~ 12 日
さいたま市文化センターほか
ホスト 上尾西 R C 登録者 2,374 人

大貫 等ガバナー タイからビチャイ・ラタクル元 R I 会長を R I 会長代理として迎え、初日は地区指導者育成セミナーとして、ポリオ撲滅ゾーンコーディネーターの松本祐二氏が講演し、ポリオ撲滅活動への認識を新たにしました。2 日目の青少年・学友交流会では米山奨学生やロータリー学友が登場し、各研究分野や現況を報告。その後、ジャーナリストの櫻井よしこ氏は記念講演「日本の進路と誇りある国づくり」の中でアメリカのトランプ大統領のアジア各国歴訪についても言及。非常に内容の濃い、有意義な 2 日間となりました。



第2800 地区

2017 年 11 月 11 ~ 12 日
寒河江市市民文化会館ほか
ホスト 寒河江 R C 登録者 1,803 人

鈴木一作ガバナー アメリカから迎えたディーン L. ジャクソン R I 会長代理と鈴木ガバナーによるロータリー対談が両日とも組まれたほか、2 日目の特別講演は、よねやま親善大使の于咏氏、市民公開の特別記念講演としてエッセイストの高田華聖氏が登壇し、笑いと感動の渦で会場を包みました。同日の本会議に先立ち、朝 8 時からガバナーと R I 会長代理夫妻を含むロータリアンやインターアクター、ローターアクター、青少年交換学生が会場周辺を清掃。言葉で、行動でロータリーらしさを示した、愛にあふれた大会となりました。



第2620 地区

2017 年 11 月 11 ~ 12 日
焼津文化会館ほか
ホスト 焼津 R C 登録者 1,466 人

松村友吉ガバナー 小沢一彦 R I 会長代理を迎え、「未来のロータリーを考える」を大会スローガンに開催。初日の地区役員、クラブ会長・幹事会議では、日本のロータリー 100 周年ビジョン策定委員会からの報告を、当地区の志田洪顕 P G が行いました。2 日目は、(株)ことほぎ代表取締役・白駒妃登美氏の記念講演「歴史が教えてくれる日本人の生き方」。先人たちの「志」を感じることができました。大懇親会は、おいしいお魚の町・焼津ならではの料理を楽しみつつ、ロータリーの未来について、大いに議論する機会となりました。

NEW GENERATION

——— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

生徒のために行動できる 教師を目指して

元インターアクター 黒木 彩

私は現在、通信大学に通いながら、教師を目指しています。高校を卒業し、一般企業に就職しましたが、教師になる夢を諦められず、働きながら学ぶことのできる通信大学へ入学することに決めました。

2017 年秋、母校の宮崎日本大学高等学校へ教育実習に行った際、改めて「授業は生徒のための時間」と深く感じることができました。実習生の授業の場合、不思議と生徒たちはいつもより背筋を伸ばして聞いてくれます。生徒たちの真剣なまなざしを前に緊張してしまい、満足のいく授業ができないときもありました。この教育実習で、授業は生徒の時間をもらっている、という自覚が生まれました。同時に、さらに生徒が楽しみながら学べる授業をしたいと思いました。



近年、いじめ問題は後を絶たず、生徒は何かしらの悩みや不安を抱えています。そういった生徒の心に耳を傾け、生徒の立場に立って考えられる教師になるべく、日々精進していきたいです。

宮崎県出身。日本大学通信教育部文理学部 4 年生。2011 - 12 年度宮崎日大高校 I AC 会長、第 2730 地区韓国インターアクト国際交流参加。趣味はお菓子作り、パン屋巡り。東京都在住。

世界の水問題解決が夢

米山奨学生 朱 興辰

私のふるさと、中国の洛陽は重工業を中心に発展してきた都市です。幼い頃、よく停電や断水があり、経済発展最優先のため、生活環境が後回しにされたという記憶が残っています。現在の中国では、環境保護意識と豊かな生活環境に対する要求も高まっています。日本も戦後の飛躍的な経済成長により、水俣病などの公害病をはじめ、深刻な環境問



題が起きました。そこから循環的、持続可能な発展を追求して、世界トップクラスの環境技術を有する今の日本に到達しました。

私は母国の環境改善に貢献したいと思い、環境技術を学びに日本にきました。大学での勉強で、中国の鉱山や重工業が発達した地区では産業排水が大量に放出され、水処理技術の開発が急務であることが分かりました。また、井戸水が一般的に利用されている南アジアなどでは地下水にヒ素などの有害物質が多く含まれ、水処理施設と上水道の整備が必要であることに気がきました。

そこで、私は水環境の修復や保全技術の開発とともに世界の水問題解決に貢献したいと考え、大学院に進みました。現在、水処理に利用可能な環境低負荷材料および水質浄化工法について研究しています。将来、水環境保護に貢献できるようがんばりたいと思っています。

中国出身。島根大学大学院生物資源科学研究科環境資源科学専攻、修士課程 2 年。世話クラブ：松江 R C。趣味は、音楽とアウトドアスポーツ。島根県松江市在住。

中国出身。島根大学大学院生物資源科学研究科環境資源科学専攻、修士課程 2 年。世話クラブ：松江 R C。趣味は、音楽とアウトドアスポーツ。島根県松江市在住。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある 10 ～ 30 代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。

CLUB INNOVATION

山口県
岩国RC 会員数：66人

新会員 2017-18年度：8人
2016-17年度：7人
2015-16年度：5人



沿革：

1959年創立。地元の岩国高校のキャリアセミナーに、会員を含む講師を毎年十数人、派遣しています。また、岩国市出身の著名な数学者で、当クラブの名誉会員でもある広中平祐先生の中学生向け「創才セミナー」の運営に協力（写真上）。社会奉仕活動としては、東日本大震災の復興支援として、トラクターを寄贈し、植林活動にも協力しました（写真下）。

2016 - 17年度に上田文雄さんがクラブ会長になった時の課題として、会員増強と、高齢化によるクラブの活力の低下がありました。会員は、年度のスタート時61人、平均年齢は過去5年間で3歳上昇し、63歳。最年少は47歳で、過去5年間、若い会員の入会はありませんでした。

以前から若い会員の増強に努めてはいたものの、同年代の人がいないという理由から、元会員の後継者も他クラブに入るような状況でした。

上田会長は、若い人をまず一人でも入会してもらい、それを突破口として会員の後継者が入りやすい仕組みをつくるのが重要だと考えました。このためには一つの企業から2人同時に入会している場合、会費の負担を抑える必要があります。そこで、クラブ細則を変更し、家族会員と企業会員の2つの会員身分を新設することをクラブに提案しました。

家族会員は、家族内の後継者が入会する場合で、食費と国際ロータリーの人頭分担金

など必要経費に相当する正会員の80%の会費で入会できます。企業会員は、出席免除対象の会員とその後継者で、同時に例会に出席することがほぼないと考える場合、あるいは、例えば工場長と副工場長



第2710地区・地区大会事例発表から

会員の後継者を勧誘

イノベーション：

クラブでは、会員の高齢化に伴うクラブの活力の低下が課題でした。若い会員を入れようにも同世代の会員がいないことがネックとなり、結果、増強はうまくいきませんでした。そこで、クラブの細則で会員身分を変更し、会員の後継者が入りやすい家族会員と企業会員を新たに設けました。

が交代で出る場合を想定し、1人分の食費分を除いた2人分の会費が正会員の150%で済むというものです。企業会員が2人同時に例会に出る場合は、1人分のビジターフィーを払ってもらうことになります。

すると、会員から「後継者を入れる負担が軽減されてよい」との賛同を得、2016年12月のクラブ総会で細則を変更。若い人の会員増強に取り組みました。

上田会長が、ある若い経営者に「四つのテスト」や、職業奉仕について分かりやすく説明、ロータリーに入会し経営者として成長しよう、と声を掛けました。会員の後継者で家族会員として入会を予定していた若い会員がいたため、そのことも付け加えると、「その人なら知っている」とすぐにその若手経営者は入会を決意。彼は入会后、自分と同世代の友人を誘ってくれました。これを機に、会員の後継者、元会員の後継者などが入会し、2017年9月末までの9カ月間に34～44歳の6人の会員が入会、平均年齢も2歳若返り、活気が出てきました。また、会員数も今年度になって6人純増。今後は家族会員の入会が数人見込まれています。

新しく入会した坂井幸栄さんは、「ロータリークラブは、年配の経営者や病院の先生が集まって、単にボランティア活動をする会だと思っていました。しかし説明を聞くと、それだけではなく、自己を磨き経営者としても成長できると教えてもらいました。入会した時、先輩から優しく声を掛けてもらい、とても居心地が良かったことが印象に残っています。これからロータリアンとして、活動に積極的に携わっていこうと思います」と語ります。

「高齢化に伴う活力の低下や、若い人が少ないことが会員増強の障害になっている、という課題を抱えているクラブは多いと思います。若手経営者はどのように経営したらよいか悩みつづ、経営者として成長することを望んでいます。ロータリーを後継者育成の場として、親子で同時に入会することが一般的になり、企業も、ロータリーも発展できるようになればと思います」と上田さんは語ります。

あなたのクラブはどのような革新的な
取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

パズルを解いて、ロータリーを学ぼう！



今月は数独。ロータリーのことはよく分からない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。

さて、今回の答えは、ロータリーの何の数字になるでしょうか。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。

0（ゼロ）は使いません。

ルール

②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

	6	4	5					
				8	9	2		
3							9	6
	9				4			
		5		2		7		
			3				8	
1	8							5
		2	9	1				
					8	4	3	

二重枠に入った文字をA B Cの順に並べてできる3桁の数字は？

答
A
B
C



毎月10人にロータリーの友名前入り
針なしステープラーをプレゼント！！



※色はお選びいただけません。

◆ 応募方法 ◆ 郵便はがきに、①「2月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。②～③の情報、および④に関する回答は、誌面企画の参考と、「声」欄（縦組みP37参照）に掲載させていただきます。会員以外のご応募も大歓迎です。

◆ 締め切り ◆ 2018年3月9日（金）必着

「パズル de ロータリー」(11月号)の答え

11月号の答え「855」



世界で855番目に国際ロータリーに加盟が承認されたロータリークラブが1920(大正9)年日本で最初にできた東京ロータリークラブ(RC)です。初代会長には米山梅吉が就任。米山は

5	4	2	7	6	3	1	8	9
7	6	3	1	8	9	2	5	4
1	9	8	4	⑤	2	6	3	7
6	8	5	9	7	4	3	1	2
9	1	7	2	3	8	4	6	5
3	2	4	⑤	1	6	9	7	8
2	7	1	3	4	5	8	9	6
⑧	3	9	6	2	7	5	4	1
4	5	6	8	9	1	7	2	3

1918年、財政調査団として渡米した際、テキサス州ダラスでダラスRC会員であった福島喜三次（日本人第1号のロータリアン）と出会ったことでロータリーに触れ、福島と共に尽力し、日本で初めてのロータリークラブ創立に至ったのです。

応募総数 153人 正解者 144人

当選者（敬称略・順不同）／宮尾益佳（新潟南RC）、櫻井裕之（土浦RC）、菊地弘尚（岩谷堂RC）、土居丈治（神戸西RC）、遠藤理史（長崎RC）、小阪知（和歌山アゼリアRC）、藤永貞治（赤平RC）、藤田亘弘（吉川RC）、町田朝夫（東京秋川RC）、延澤儀一（高田東RC）

来月のパズルは、クロスワード。お楽しみに！



2018 年
6 月 24 日 (日)

6 : 30 開 場
7 : 00 ~ 朝食会

※変更が生じる可能性があります

ロータリアンの皆さま

2017 - 18 年度のロータリー国際大会が、カナダ・トロントで開催されます。つきましては、恒例の日本人親善朝食会を開会式当日の朝、開催します。開会式前のご多忙なライズリー R I 会長にもご参加いただけることになりました。

また、全国から多くのロータリアンが集まるので、いろいろな情報交換ができる、年に一度の機会でもあります。

なお、今回のメニューは和食です。トロントに着く前にあちらこちらを観光してきた人も、日本から来たばかりの人も、和食の朝ごはんを食べて、元気に開会式に向かいましょう。会場は、開会式会場まで徒歩で約 20 分。国際大会にご参加の人は、ぜひ出席ください。

トロントで皆さまにお目にかかれるのを楽しみにしています！

国際ロータリー理事 斎藤 直美
石黒 慶一

イアン H.S. ライズリー
国際ロータリー会長に会える！

会 費 10,000 円 (ポリオと米山奨学金への
ドネーションを含む)



会場 Hyatt Regency Toronto
(ハイアット・リージェンシー・トロント)
370 King Street West, Toronto,
Ontario, CANADA, M5V 1J9
TEL 1-416-343-1234



※締め切りは 3 月末ですが、先着 500 人ですので、お申し込みは、ガバナー事務所を通してお早めに。

ポリオサバイバーの映画 「Breathe」

映画「Breathe」は、1958年、28歳でポリオを発症したジョナサン・カバンディッシュの父、ロビン・カバンディッシュ（1930～1994）の物語です。首から下がまひし、人工呼吸器なしでは生きられず、余命3カ月と宣告され、それ以上生きられても、一生病院で寝たきりだとも言われました。しかし、妻・ダイアナの助けによって、自宅で暮らすために家を改築して、36年以上もの人生を生きました。家族で旅行にも行っています。

映画は、トロント国際映画祭で上映され、第5回世界ポリオデーでも紹介されました。

「父にとって大切なことは、生活の質でした」と、ジョナサン・カバンディッシュ。「病院にいてもできましたが、父はそれを良しとしませんでした。死と隣り合わせでも充実した人生を送りたかったのです」

「ブリジット・ジョーンズの日記」や「エリザベス：ゴールデン・エイジ」など20本以上もの映画を製作したイギリスの映画プロデューサーであるジョナサン・カバンディッシュは、両親の物語は良い映画になると思いました。そこで、「グラディエーター」の脚本家である、ウィリアム・ニコルソンに、このプロジェクトに興味がある

か尋ねました。

「彼は素晴らしい作家のため、原稿料は高額でしたが、映画が上映されるまで一銭も支払わないことを条件に、早く脚本を書いてくれました。彼は、私と私の母以外の誰の指図も受けたくなかったのです」とジョナサン・カバンディッシュは振り返ります。

それから7年間、二人はスケジュールが許す限り会っては議論し、ついにジョナサン・カバンディッシュは、彼の友人であり同僚のアンディ・サーキスの元へ脚本を持っていきました。サーキスは「ロード・オブ・ザ・リング」のゴラム役や、「猿の惑星」シリーズのシーザー役などを演じた俳優として知られています。

サーキスがこの映画を監督することに興味を持っており、彼にも障害という問題に個人的なつながりがあることをジョナサン・カバンディッシュは知っていました。彼の母は障害のある子どもたちと働き、彼の姉妹は多発性硬化症でした。

脚本を読んだサーキスは、ジョナサン・カバンディッシュに、物語の大切な要素、つまり、カバンディッシュ家が真に先進的だったことがあまりよく描かれていないことを指摘しました。おそらくそれは、彼自身の人生の物語のため、彼の両親が達成したことへの素晴らしさをはっきりと気付いていなかったからでしょう。「アンディは、『こんなにも重度の障害がありながら病院の外で暮らした人は誰もいない』と言いました」と、ジョナサン・カバンディッシュは振り返ります。

「物語を台無しにしないことが重要だったので、慎重にしたかったです。何も誇張したくありませんでした。障害を扱った物語の多くは少し暗くなっていますが、私の両親の話は違いました。むしろその反対でした。だから映画にし

たかったのです」

ジョナサン・カバンディッシュはこの映画をラブストーリーだと言いますが、この映画は体に障害のある人々からの重要なメッセージが含まれています。

「障害のある人々の多くは他の人々と全く同じ場所で、同じように扱われたいのです」と、彼は言います。「彼らは、援助を必要とします。一緒に行動できる社会を必要とします」。

-HANK SARTIN

国際大会 音楽を楽しみましょう



音楽が盛んな街トロントでは、スタジアムから小さなバーまで、さまざまなシーンでさまざまなジャンルの音楽が楽しめます。2018年6月23～27日開催のロータリー国際大会でこの街を訪れた時には、ぜひライブを聞きに行きましょう。

壮大なマッセイホール（Massey Hall）は、クラシックと現代音楽の両方が楽しめます。このホールはトロント交響楽団とトロント・メンデルスゾーン合唱団の本拠地でしたが、1982年にどちらも新設のロイ・トムソン・ホールへ移転しました。

国際大会終了直後の6月28日には、アレサ・フランクリンがソニーセンター・フォー・ザ・パフォーミングアーツに登場します。ソニーセンターの公演スケジュールをご確認ください。

トロントで最も有名な小会場といえば、ホースシュータバーン（Horseshoe Tavern）です。1947年の創立以来、ローリング・ストーンズやボリス、ウィリー・ネルソンといった多くの有名どころが、若い頃に出演しています。

ジャズファンなら音楽と美食が楽し



COURTESY OF SIX INTERNATIONAL

めるジャズ・ビストロ (Jazz Bistro) も要チェック。また、オープンして 10 年のザ・レックス・ホテルでは、バーとレストランが併設されており、ジャズとブルースが堪能できます。

ラテン音楽が好きな人の中では、ラテン系多国籍料理を食べながらサルサバンドを楽しむことができるルラ・ラウンジ (Lula Lounge) が人気です。金曜と土曜の夜にはサルサダンスのレッスンもあります。 -Randi Druzin

事前登録による割引の締切日は 3 月 31 日です。riconvention.org で参加登録しましょう。

今後の R I 国際大会

2018 年 6 月 23 ~ 27 日
カナダ・オンタリオ州トロント
(以下予定)

2019 年 6 月 1 ~ 5 日
ドイツ・ハンブルク
2020 年 6 月 6 ~ 10 日
アメリカ・ハワイ州ホノルル
2021 年 6 月 12 ~ 16 日
台湾・台北

統計

全世界ロータリアン総数
1,220,185 人

クラブ数 35,727 クラブ
地区数 539 地区
国と地域 200 以上
ローターアクト会員数 242,949 人
クラブ数 10,563 クラブ
国と地域 160 以上
インターアクト会員数 511,796 人
クラブ数 22,252 クラブ
国と地域 150 以上

2017 年 8 月 31 日現在

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリー財団管理委員長の思い

RI 指定記事

ロータリーの創立記念日である 2 月 23 日は「世界理解と平和の日」

2017-18 年度ロータリー財団管理委員長 ポール A. ネットゼル



ロータリーの創立 113 周年記念日である 2 月 23 日は「世界理解と平和の日」です。

ロータリーができたばかりのころ、平和はロータリーの根幹を成すものでした。1921 年、スコットランドのエディンバラで「ロータリーの目的」第 4 項が採択されました。ロンドンでロータリーが開催した会合は、第二次世界大戦後に国際連合 (国連) 教育科学文化機関 (ユネスコ) が設立されたきっかけとなりました。1940 年にキューバ・ハバナのロータリー国際大会で採択された「自由、正義、真理、誓約の厳守、人権の尊重」を求める決議は 1948 年の国連世界人権宣言の枠組みとなりました。

ロータリーは国連の設立にも貢献しています。1945 年に国連憲章採決のため開催されたサンフランシスコ会議に、50 人近いロータリアンが代議員、コンサルタント、アドバイザーとして参加しました。73 年

近い月日がたった今、ロータリーは国連において他のどの NGO よりも高い地位の顧問としての立場を維持しています。国連機関では多くのロータリー平和フェローが活躍しており、毎年 11 月には国連のロータリー代表が国連とロータリーの平和に向けた協力関係を祝して、ロータリーデーを開催しています。

またロータリーは IT 起業家のスティーヴ・キルリー氏がオーストラリアに設立した経済平和研究所 (Institute for Economics and Peace) とのパートナーシップを新たに締結しました。同研究所は積極的平和という概念に重きを置いています。これは、適切に機能する政府、健全な経営環境、資源の公正な分配、他者の権利の容認、隣人との良好な関係、自由な情報の流れ、高度な人的資本、低度の汚職という 8 本の柱から成る枠組みです。

これから 6 月まで、イアン H. S. ライズリー RI 会長による会長主催平和会議が世界 6 都市で開催されます。詳しくは会長主催平和会議 (my.rotary.org/ja/news-media/office-president/presidential-conferences) をご覧ください。同研究所の平和の 8 本

の柱がどのようにロータリーの重点分野と連携するか、模索していきます。

また、Pathways to Peace (平和への道) と銘打ち、平和構築、紛争予防・解決を専門とする研究者、活動家、ロータリー平和フェロー、思想家を招いた講演シリーズをシカゴ大学と共同で開催します。9 月に開催された第 1 回はこちら (bit.ly/2j9cSUh) でご覧いただけます。

パートナー団体と協力して、国際理解、親善、国際平和を推し進めるグローバルな思想家、リーダーとしてのロータリーの地位を確立させていきます。

この旅路を共に歩みましょう。

Paul A. Netzel

Paul A. Netzel
財団管理委員長

どのような平和構築プロジェクトを実践されていますか。皆さまの平和構築プロジェクトについて、ぜひ Paul.Netzel@rotary.org にお知らせください。

ROTARY お知らせ

新インターアクトクラブ

県立西脇北高等学校

(2680・兵庫県・西脇)

結成：2017年10月17日

会員数：28人

事務所：〒677-0014 西脇市郷瀬町
669-32 兵庫県立西脇北高等学校内

会長：神田峻哉

幹事：サリー・ポン・ジェワリン

大分大学附属中学校

(2720・大分県・2720 Japan O. K. ロータリーEクラブ)

結成：2017年11月1日

会員数：22人

事務所：〒870-0819 大分市王子新町1-1 大分大学附属中学校内

会長：メ野舜平

幹事：赤木遥南・植本陽帆

彦根総合高等学校

(2650・滋賀県・彦根南)

結成：2017年12月2日

会員数：37人

事務所：〒522-0003 彦根市芹川町328 彦根総合高等学校内

会長：藤田さら 幹事：大橋アーシア

新ローターアクトクラブ

直江津 (2560・新潟県・直江津)

再結成：2017年11月1日(結成日は元の直江津RACの加盟日を保持した1971年10月12日)

会員数：15人

事務所：〒943-8502 上越市新光町1-10-20 上越商工会議所内

会長：竹田佳祐 幹事：古澤真実

大宮南 (2770・埼玉県・大宮南)

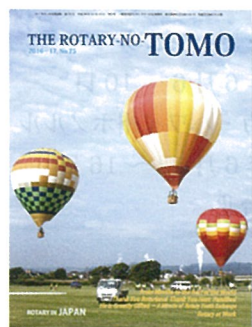
結成：2017年11月1日

会員数：19人

事務所：〒330-0844 さいたま市大宮区下町2-51-8 コーポKEN 406

会長：石井 快 幹事：馬場綾音

ご利用ください 『ロータリーの友』 英語版



『THE ROTARY-NO-TOMO』は、日本のロータリアンの活動を海外の人たちに知ってもらうため、『ロータリーの友』から記事を選び、翻訳して転載し、『友』の英語版として発行しています。2016年版が最新となります。

海外のクラブ訪問時やメークアップの際に、国際大会でのプレゼンに、「日本のロータリー」を紹介するものとして、いかがでしょうか。受け入れ青少年交換学生や、派遣青少年交換学生のホストファミリーに差し上げるなど、あらゆるシーンでご活用できます。

ご注文はロータリーの友事務所まで、お待ちしております。在庫ある限りとなります。お早めに。

定価 500円＋消費税(送料込)

ウェブサイトで 『ロータリーの友』を 読むことができます



移動中、または出先で至急『ロータリーの友』の記事が必要になったことはありませんか。スマートフォンやタブレット端末があれば、『友』ウェブサイト(www.rotary-no-tomo.jp)から『友』電子版を読むことができます。ご覧になる際のIDとパスワードはクラブ宛に郵送していますが、ご不明の場合は、友事務所までお問い合わせください。

毎月1日に最新号がアップされます。

電子版のご利用は
コチラ
今すぐアクセス！



蓮田 (2770・埼玉県・蓮田)

結成：2017年11月11日

会員数：14人

事務所：〒349-0123 蓮田市本町4-11 日信ビル2階

会長：清水雅宣 幹事：小谷田優香

◆お願い ご所属の地区ガバナー事務所や、国際ロータリーのウェブサイト「My ROTARY (www.rotary.org/myrotary/ja)」などへ、クラブ事務所・例会場などの各種変更をご連絡される折には、併せてロータリーの友事務所へも、ご一報お願い申し上げます。

『友』へご投稿の折には

ご投稿は、活動後1カ月以内に。メールで送信の折、所属クラブや電話番号など、連絡先明記をお忘れなきよう、お願いいたします。なお、掲載欄など諸事は、一般社団法人ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。

また、誠に勝手ながら、掲載・非掲載のご連絡は差し上げておりませんが、投稿後6カ月をめどにご判断ください。

2018 - 19 年度版
ロータリー手帳 ご予約受付中



「ロータリー手帳」は、ロータリー活動に役立てていただけるよう、毎年ロータリー年度に合わせ製作しています。2018 - 19 年度版は、2018 年 6 月～2019 年 12 月の予定が記入できます。

各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・Fax 番号・E メールアドレス、地区大会予定や、ロータリー関連事項も掲載しています。

ロータリアンの皆さまからのお声を反映し、付録 3 点のうち、アドレス帳、スケジュール帳を取りやめ、好評の「ロータリー関連資料」は内容を更新して収録。また、手帳本体の充実を図り、これまでの週間予定表に、月間予定表、翌年度以降の年間予定表を加え、より詳細に予定を書き込める仕様にしました。

印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使用。手帳の色はロータリーカラーのロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。

詳細は 2 月 1 日付で、ロータリークラブにお送りしたご案内状をご覧ください。ご確認のほど、よろしく願ひ申し上げます。

定価 600 円＋消費税（送料別）

ご注文はお早めに、クラブ事務局を通し、ロータリーの友事務所宛てにお願い申し上げます。在庫ある限りの受け付けとなります。

ご連絡は、郵便・電話・Fax のいずれでも結構です。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2017 年 11 月末現在)

地区	R C 数	会員数	16 年 11 月末 会員数
第 2500 地区	67	2,318	2,327
第 2510 地区	69	2,637	2,600
第 2520 地区	79	2,314	2,330
第 2530 地区	66	2,414	2,430
第 2540 地区	42	1,138	1,137
第 2550 地区	51	1,782	1,751
第 2560 地区	56	2,144	2,143
第 2570 地区	51	1,661	1,663
第 2770 地区	74	2,622	2,639
第 2790 地区	83	2,858	2,840
第 2800 地区	50	1,623	1,643
第 2820 地区	55	2,002	1,987
第 2830 地区	41	1,205	1,199
第 2840 地区	46	2,134	2,112
第 2580 地区	69	3,085	3,097
第 2590 地区	57	2,078	2,087
第 2600 地区	55	1,985	2,005
第 2610 地区	64	2,687	2,675
第 2620 地区	79	3,073	3,057
第 2630 地区	76	3,205	3,144
第 2750 地区	99	4,846	4,902
第 2760 地区	84	4,922	4,861
第 2780 地区	66	2,384	2,357
第 2640 地区	69	1,925	1,942
第 2650 地区	97	4,703	4,690
第 2660 地区	82	3,691	3,659
第 2670 地区	74	3,056	3,038
第 2680 地区	73	2,835	2,879
第 2690 地区	66	3,094	3,110
第 2700 地区	61	3,235	3,221
第 2710 地区	73	3,339	3,383
第 2720 地区	75	2,488	2,410
第 2730 地区	65	2,398	2,395
第 2740 地区	57	2,272	2,253
34 地区合計	2,271	90,153	89,966

日本のロータリー

会員概数 89,871 人

クラブ数 2,262

(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 282 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。16 年 11 月末 P B グループ 9 R C 会員数 297 人。

地区会員数修正 本誌 2017 年 11 月号横組み P39 (8 月末) 表中、2780 : 2,361 人、34 地区合計会員数 : 89,495 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 89,213 人。本誌 2017 年 12 月号横組み P40 (9 月末) 表中、2780 : 2,371 人、34 地区合計会員数 : 89,762 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 89,480 人。本誌 2018 年 1 月号横組み P40 (10 月末) 表中、2580 : 3,116 人、2750 : 4,833 人、2780 : 2,377 人、2650 : 4,677 人、34 地区合計会員数 : 90,021 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 89,739 人。

ご案内 左記一覧表は、3 つのゾーン順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組み P 37 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。
*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

3 月号主要記事予定

横組み 特集 水と衛生月間

世界ローターアクト週間

縦組み 今からはじめる、長生きのための食生活の秘訣

フードアナリスト・栄養士 笠井奈津子

クラブを訪ねて 網走 R C



ご投稿・お問い合わせは――

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

『友』に投稿しませんか

——『ロータリーの友』投稿規定——



私の一冊 7月号から ★

会員おすすめの本（入手可能な市販書籍）を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文（320字以内）。

声 10月号から ★★

友誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記（2017年7月号から）。発行月翌月の10日が締め切り。掲載は10月号から。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

わがまちの味 ★★

わが町自慢の郷土料理、個人的な思い出の味などを紹介。食べ方、由来など100字以内の説明文に料理そのものの写真をお送りください。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1か月に1人はがき1枚に3句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。

写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。活動後1か月以内にご投稿ください。字数を超える場合は編集させていただきます。

★『友』ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可 ★★『友』ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

原稿について

- ・ Eメールの場合、件名欄に所属クラブ名を、メール本文には原稿についての窓口となる連絡先（電話番号）を必ず明記し、原稿と写真データを個別に添付送信を。
- ・ 郵送の場合、パソコン作成原稿はCD-Rなどに入れてお送りください。手書き原稿は原稿用紙に。

写真について

- ・ 記念撮影（集合写真）は原則、掲載しません。
- ・ Eメールの場合、JPEGデータ1枚200KB以上の容量で、原稿に貼りつけず送信してください。
- ・ 郵送の場合、デジタルカメラで撮影した写真は、プリントしたものと一緒に必ずデータ（原則JPEG／容量200KB以上）をCD-Rなどに入れ、お送りください。
- ・ フィルムカメラで撮影した写真は、プリントを郵送ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を文章中心に紹介。活動後1か月以内にご投稿ください。600字以内。関連写真があれば添付を。

パズル de ロータリー

3種類のパズル（クロスワード、数独、スケルトン）を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

情報もお待ちしております！

NEW GENERATION 7月号から ★

ロータリーのプログラムに参加経験のある10～30代までの若い人（現役・学友）を紹介。推薦対象者（インターアクター、ロータリーアクト、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼。

『クラブ週報』『クラブ会報』

クラブの『週報』『会報』をご送付ください。「卓話の泉」に掲載するほか、クラブの活動の参考として使わせていただきます。メール配信のクラブは、メーリングリストに『友』編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。

- ・ 要返却写真は、その旨を送付時にお書き添えを。
- ・ 掲載・採否は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部に、ご一任ください。

投稿方法、その他規定は『友』ウェブサイトです！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15

黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

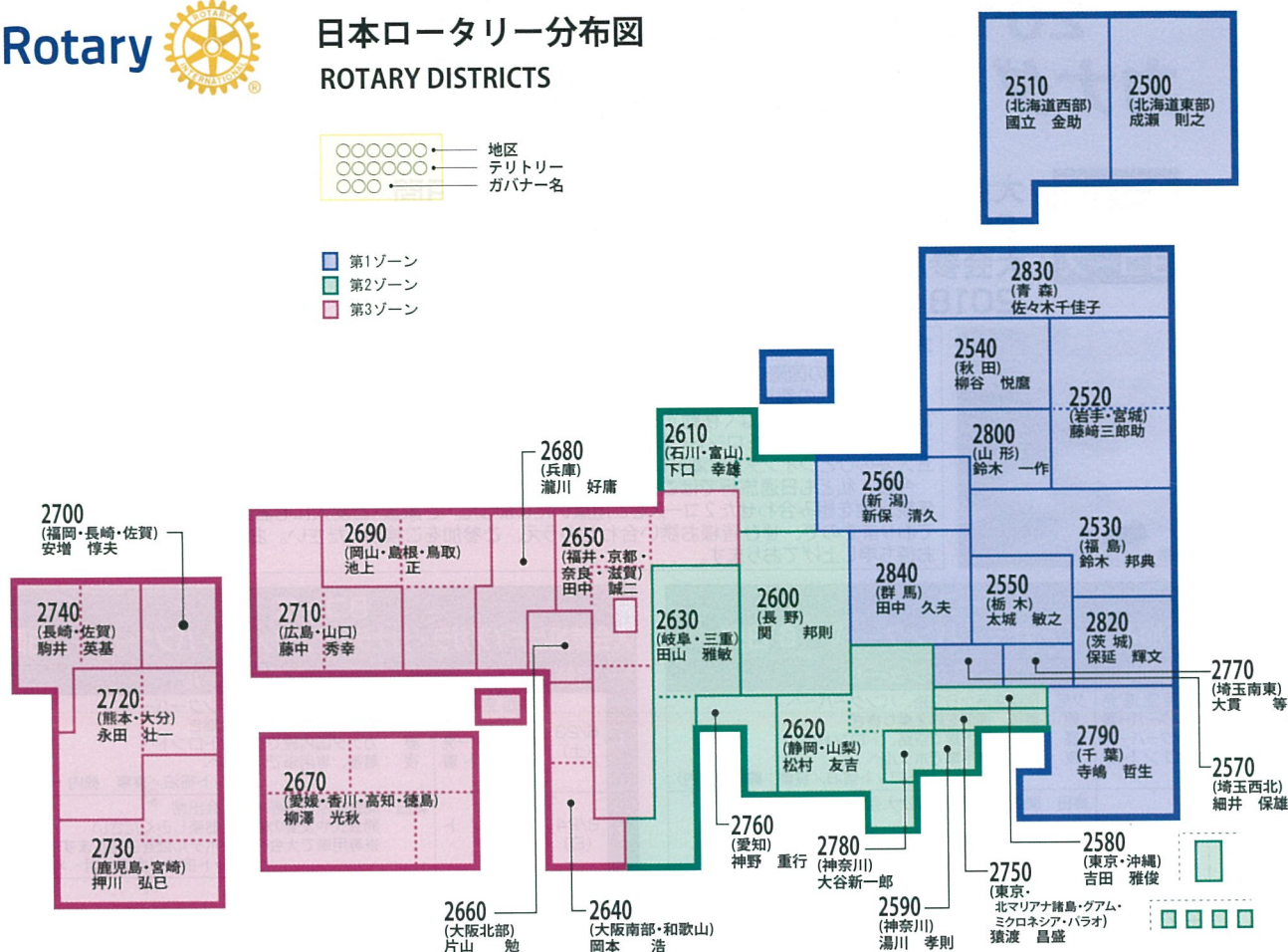
Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

『ロータリーの友』ウェブサイト投稿フォーム

www.rotary-no-tomo.jp/form.php



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『ロータリーの友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第66巻 2月号

2018年1月31日印刷 2018年2月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社 員

斎藤 直美	(豊田)
石黒 慶一	(鶴岡西)
吉田 雅俊	(東京新都心)
猿渡 昌盛	(東京武蔵府中)
湯川 孝則	(横浜西)
片山 勉	(大阪東)

■ 理事会

代表理事	清水 良夫	(横浜)
理 事	片山 主水	(名古屋東南)
	神崎 正陳	(茅ヶ崎湘南)
	上野 孝	(横浜)
	安平 和彦	(姫路)
	片岡 信彦	(土浦南)
	橋本 長平	(京都東)
	田中 政春	(長岡西)
	岡部 一輝	(南砺)
	庄司 尚史	(境港)
	松坂 順一	(東京葛飾東)
	服部 陽子	(東京広尾)
	横山 武志	(東京北)
	中里 公造	(川口モーニング)
	堀口 昇治	(東京西)
	野中 茂	(川崎)
	津村 政男	(東京臨海東)
	渡辺 誠二	(東京みなと)

監 事

船越 豊	(千葉中央)	
小川 湧三	(川崎鷺沼)	
相談役	板橋 敏雄	(足利東)

■ 職 員

所 長	渡辺 誠二	(東京みなと)
編集長	野崎 恭子	
編 集	稲川 やよい	
	黒野 穰二	
	山名 愛	
	飯田亜由香	
	熊谷健太郎	
経 理	富澤 美子	
	半田 弥生	
	福元菜穂子	

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印 刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

2018 年度 国際ロータリー年次大会 カナダ・トロント参加ツアー〈関空発着〉

旅行期間

Aコース：大会参加とナイアガラ・バンクーバー 6日間

2018年6月23日(土)～6月28日(木)

Bコース：大会参加とナイアガラ・カナディアンロッキー・バンクーバー 7日間

2018年6月23日(土)～6月29日(金)



大会参加への誘い

2018年度の国際ロータリー年次大会は6月23日から27日の5日間、カナダ・トロントで開催されます。カナダ最大の都市トロントは、高層ビルが立ち並ぶカナダ経済の中心地。充実した地下鉄網は利便性に富み、観光客も無駄なく移動することができます。世界第3位の高さを誇るCNタワーや、カナダ唯一のメジャーリーグ球団「トロント・ブルージェイズ」の本拠地など、大都市らしい観光スポットも数多くある一方、五大湖のひとつオンタリオ湖畔に位置するため、カナダの雄大で美しい自然を満喫することもできます。今回、私ども日通旅行ではこれまで培ってきた大会参加旅行の取扱実績と経験をもとに、年次大会に人気観光地を組み合わせた2コースをご用意いたしました。ご家族・ご友人にもお楽しみいただける日程となっておりますので、ぜひ皆様お誘い合わせのうえ、ご参加をご検討ください。お問い合わせ、お申し込みをお待ち申し上げます。

Aコース 大会参加とナイアガラ・バンクーバー 6日間			
日時	訪問地	スケジュール	
1 6/23 (土)	関 西 空 港 発 バンクーバー着 バンクーバー発 トロント着	時刻：関西空港から空路、バンクーバーへ 朝：着後、通関を終え乗り継ぎ 昼：カナダ国内線で空路、トロントへ 夜：着後、専用車でホテルへ 〈トロント宿泊/食事：機内・機内〉	
2 6/24 (日)	ト ロ ン ト	終日：開会式及び国際年次大会出席 開会式や友愛の家にてお楽しみください ※専用車で大会会場とホテル間を送迎します 〈トロント宿泊/食事：朝・×・×〉	
3 6/25 (月)	ト ロ ン ト ナイアガラ	終日：専用車でナイアガラへ ナイアガラ観光 「霧の乙女号」でナイアガラ滝を見学、 ナイアガラオンザレイク見学 〈ナイアガラ宿泊/食事：朝・昼・×〉	
4 6/26 (火)	ナイアガラ トロント発 バンクーバー着	午前：専用車でトロントへ 空路、バンクーバーへ 午後：着後、専用車でバンクーバー市内観光/スタンレー公園(下車)、チャイナタウン(車窓)、ギャスタウン(車窓)、グランビルアイランド(自由行動) 〈バンクーバー宿泊/食事：朝・昼・夕〉	
5 6/27 (水)	バンクーバー発	早朝：専用車で空港へ 空路、バンクーバーから帰国の途 〈機内泊/食事：朝・機内・機内〉	
6 6/28 (木)	関 西 空 港 着	午後：関西空港到着後解散となります	

＜Aコース＞
 ■旅行期間：2018年6月23日(土)～6月28日(木) 6日間
 ■旅行代金：458,000円(2名1室ツイン利用/大人1名様)
 ※燃油サーチャージ(目安14,000円)、関西空港施設使用料(3,040円)、現地空港税(約9,850円)が別途必要となります(2017年11月11日現在)。ご出発の1ヵ月ほど前に確定しお知らせしますので、旅行代金と合わせてお支払いください。
 ■お1人様部屋追加代金：78,000円(4泊分)
 ■食事条件：朝4回・昼2回・夕1回(機内食除く)

A・Bコース共通	
■最少催行人員：各コース10名	
■利用予定航空会社：エアカナダ/ルージュ航空(エコノミークラス)	
■添乗員：同行しお世話いたします	
■ETA登録代料：4,000円(税別・ご希望の方のみ)	
■利用予定ホテル：トロント/ヒルトンミシソーガ・ミッドウバレ ナイアガラ(Aコース)/ラディソンホテル(滝側お部屋) バンフ(Bコース)/エルク&アベニューホテル バンクーバー/ハイアットリージェンシーホテル	

A・Bコース共通 トロントご利用予定ホテル
ヒルトンミシソーガ/ミッドウバレ
Hilton Mississauga/Meadowvale

トロントのダウンタウンやトロント・ピアソン国際空港に近く、ロータリー年次大会会場までは車で40分です。屋内・屋外プールがあり、共用エリアではWi-Fi無料です。

Bコース 大会参加とナイアガラ・カナディアンロッキー・バンクーバー 7日間			
日時	訪問地	スケジュール	
1 6/23 (土)	関 西 空 港 発 バンクーバー着 バンクーバー発 トロント着	時刻：関西空港から空路、バンクーバーへ 朝：着後、通関を終え乗り継ぎ 昼：カナダ国内線で空路、トロントへ 夜：着後、専用車でホテルへ 〈トロント宿泊/食事：機内・機内〉	
2 6/24 (日)	ト ロ ン ト	終日：開会式及び国際年次大会出席 開会式や友愛の家にてお楽しみください ※専用車で大会会場とホテル間を送迎します 〈トロント宿泊/食事：朝・×・×〉	
3 6/25 (月)	ト ロ ン ト ナイアガラ	午前：専用車でナイアガラへ ナイアガラ観光 「霧の乙女号」でナイアガラ滝を見学、 ナイアガラオンザレイク見学 その後、トロントへ 午後：空路、カルガリーへ 到着後、専用車でバンフへ 〈バンフ宿泊/食事：朝・×・×〉	
4 6/26 (火)	バ ン フ	終日：カナディアンロッキー観光 ジャスパー国立公園(入場)、コロンビア大氷原では雪上車に乗車し、アサバスカ氷河の上に降り立ちます 〈バンフ宿泊/食事：朝・昼・夕〉	
5 6/27 (水)	バ ン フ カルガリー発 バンクーバー着	午前：専用車でカルガリーへ 空路、バンクーバーへ 午後：着後、専用車でバンクーバー市内観光/スタンレー公園(下車)、チャイナタウン(車窓)、ギャスタウン(車窓)、グランビルアイランド(自由行動) 〈バンクーバー宿泊/食事：朝・昼・夕〉	
6 6/28 (木)	バンクーバー発	早朝：専用車で空港へ 空路、バンクーバーから帰国の途 〈機内泊/食事：朝・機内・機内〉	
7 6/29 (金)	関 西 空 港 着	午後：関西空港到着後解散となります	

＜Bコース＞
 ■旅行期間：2018年6月23日(土)～6月29日(金) 7日間
 ■旅行代金：548,000円(2名1室ツイン利用/大人1名様)
 ※燃油サーチャージ(目安14,000円)、関西空港施設使用料(3,040円)、現地空港税(約9,850円)が別途必要となります(2017年11月11日現在)。ご出発の1ヵ月ほど前に確定しお知らせしますので、旅行代金と合わせてお支払いください。
 ■お1人様部屋追加代金：88,000円(5泊分)
 ■食事条件：朝5回・昼2回・夕2回(機内食除く)

●お申し込み・お問い合わせは

日通旅行株式会社 大阪支店 営業第1課

〒541-0041 大阪市中央区北浜 1-1-6 日通北浜ビル 3階

TEL:06-6231-0303 FAX:06-6201-1991

営業時間：平日9:00～18:00 土・日・祝日休業

総合旅行業務取扱管理者：西山 浩之 担当：山岸・桐原(きりはら)

E-mail: ma-yamagishi@nittsu.co.jp

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約書、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ねください。
 ※詳しい旅行条件を説明した書面(パンフレット)をお渡しいたしますので事前にご確認の上お申し込み下さい。

2018年 国際ロータリー年次大会 ROTARY INTERNATIONAL ANNUAL CONVENTION

トロント大会参加旅行のご案内 2018 Toronto

●大会開催地:カナダ/オンタリオ州・トロント ●大会期間:2018年6月23日(土)~6月27日(水)
●大会会場:エア・カナダ・センター、メトロ・トロント・コンベンション・センター【大会開会式は6月24日(日)となります】

- ◆旅慣れたお客様用に全くフリーのトロント3泊コースをAスペシャルとして設定いたしました。
- ◆Aスペシャルを除く全コースには6月24日(日)の日本人親善朝食会が含まれます。
- ◆大会地トロントでの送迎・観光等のバスは、弊社主催の他コースのお客様と混乗が基本となります。

充実の全12コース

☐:直行便、○内の数字:宿泊数、(機):機中泊

A 大会開会式出席の旅 5日間 (エア・カナダ直行便利用)
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/23(土)▶6/27(水) ●旅行代金 **398,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京☐▶トロント③☐☐▶東京

F 大会参加と カナディアンロッキーとナイアガラ 8日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/21(木)▶6/28(木) ●旅行代金 **618,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安7,750円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京☐▶カルガリー▶バンフ②▶トロント③▶ナイアガラフォールズ①▶トロント④☐▶東京

A スペシャル 大会地トロント フリー 5日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/23(土)▶6/27(水) ●旅行代金 **278,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安10,430円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(米国内都市)▶トロント/空港泊③▶(米国内都市)☐▶東京

G 大会参加と 東部カナダ (モントリオール、ケベック、オタワ) 8日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/20(水)▶6/27(水) ●旅行代金 **635,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京☐▶モントリオール②▶オタワ①▶トロント③▶(カナダ内都市)☐▶東京

B 大会地トロント滞在の旅 7日間 (エア・カナダ直行便利用)
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/23(土)▶6/29(金) ●旅行代金 **478,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京☐▶トロント⑤☐☐▶東京

H 大会参加と 赤毛の안의プリンスエドワード島と世界遺産ルネンバーグ 9日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/19(火)▶6/27(水) ●旅行代金 **698,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安7,400円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶ハリファックス②▶シャーロットタウン②▶トロント③▶(カナダ内都市)☐▶東京

C 大会開会式出席とナイアガラの旅 5日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/22(金)▶6/26(火) ●旅行代金 **420,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶トロント▶ナイアガラフォールズ①▶トロント/空港泊②☐▶東京

I 大会参加と 米国東海岸周遊(ワシントン、ニューヨーク、ボストン) 全日空利用 9日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/19(火)▶6/27(水) ●旅行代金 **798,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,200円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安11,820円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京☐▶ワシントンD.C.①▶ニューヨーク②▶ボストン①▶トロント③▶(米国内都市)☐▶東京

D 大会参加と カナダ満喫(ナイアガラ、ジャスパー、カナディアンロッキー、ビクトリア) 10日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/22(金)▶7/1(日) ●旅行代金 **785,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安9,650円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶トロント▶ナイアガラフォールズ①▶トロント③▶エドモントン▶ジャスパー①▶バンフ②▶ビクトリア①▶バンクーバー②☐▶東京

J 大会参加と キューバ 9日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/19(火)▶6/27(水) ●旅行代金 **598,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安8,140円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶ハバナ②▶トリニダー①▶ハバナ①▶トロント③▶(カナダ内都市)☐▶東京

E 大会参加と カナダハイライト(ナイアガラ、カナディアンロッキー、バンクーバー、ビクトリア) 10日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/21(木)▶6/30(土) ●旅行代金 **795,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安9,650円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京☐▶トロント▶ナイアガラフォールズ②▶トロント②▶バンフ②▶バンクーバー②☐▶東京

K 大会参加と 白夜の火の国アイスランド 10日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着・2名1室利用)
6/23(土)▶7/2(月) ●旅行代金 **990,000円**
●燃油サーチャージ(目安14,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安13,820円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶トロント②☐▶キルキュバイヤルクロイストウル①▶セルフオス①▶レイキャヴィーク③▶(カナダ内都市)☐▶東京

詳しい募集案内をご請求ください。ご請求は下記のフリーダイヤルお電話でお気軽に!

★ クラブ単位等で親睦を兼ねた特別コースの企画見積りも承っております、何なりとお申しつけください ★

お問合わせ・お申込みは
旅行企画・実施



ボンド保証会員



旅行業公正取引
協議会 会員



104551651041

担当: ロータリー室 大山、上藤、曾我、松浦
Eメール:rot@tonichi.co.jp



東日観光株式会社 (09:00~17:30)
観光庁長官登録旅行業第270号 G 一般社団法人日本旅行業協会正会員
総合旅行業務取扱管理者:大谷 俊之
〒104-0045 東京都中央区築地4-7-5築地KYビル4階
☎03-5148-1730 FAX. 03-5148-1827

0120-444-654

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があればご遠慮なく左記の取扱管理者にお尋ねください。

国際ロータリー年次大会参加旅行は最も経験豊かな当社にご用命ください。

声

11月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見を紹介します。

【対象記事】

特集・インターアクターと連携する
山形RC×山本学園高校AACの
「創りっぱなしではダメ!」(横P9)

【感想】わがクラブもインターアクトクラブ(AAC)を提唱していましたが、解散。その原因は「創りっぱなし」でした。山形RCと山本学園高校AACの活動に納得。文中で紹介された「Happy Rotary YAMAGATA」の動画も面白かった。

川崎大師RC 横山 俊夫

【対象記事】

難民にシエルターを、日本の教育現場に難民についての教材を(横P20)

【感想】長引く紛争のせいで大勢の人々の生活が苦しくなり、住む場所もなくなります。寄付金を出すだけでなく、教育現場に講師を派遣することは、とても役に立ちます。難民の生活を理解するだけでなく、自分に何ができるか、一緒に考えることになりました。

米山奨学生 チン ボイアン
(ベトナム/徳島RC)

【対象記事】

横組み表紙裏の写真(横P2)

【感想】何の目的で、子どもの指にマーキングしているのでしょうか。

宗像RC 高山 卓也

【編集部から】全ての子どもにポリオワクチンが行き渡るよう、ポリオ撲滅活動の全国予防接種日にワクチンを投与された子どもには、指に紫色の印が付けられます。

【対象記事】

特集・私たちの目標…ポリオのない世界(横P12~19)

【感想】今年度、クラブのロータリー財団委員長なので、P18~19のデータは参考になりました。あと、パズルを解いた後、何の数字が考えるのが楽しいですね。

東予RC 行元 彦

【対象記事】

京都南RC・高橋拓児会員の「京都迎賓館体験型参観「菊花彩る重陽のおもてなし」に協力」(横P22~23)

【感想】陰で支える皆さまのおもてなし、会員であるからこそ思いが伝わります。京都ほどではありませんが、静岡にも、おもてなしのできる場所が多くあると思います。

静岡東RC 細田 和広

【対象記事】

スピーチ・国立大学法人 宮崎大学
長・池ノ上克氏の「ロータリー財団
奨学生、その後」(縦P4~8)

【感想】周産期医療が、医療従事者のためめ努力によって発展してきたことを知りました。医療機器を駆使し、妊婦と胎児をしっかりと管理する粘り強い継続が命を守っているのだと痛感しました。ロータリー財団の奨学金がこのような形で医療の発展に寄与したことを考えると、効果は計り知れません。奨学金の貢献についての認識を新たにしました。

千葉幕張RC 岩館 正雄

【対象記事】

スピーチ・国立大学法人 宮崎大学
長・池ノ上克氏の「ロータリー財団
奨学生、その後」(縦P4~8)

【感想】財団奨学生から今に至る、職業奉仕にまつわる話は、新会員の私にとって大変興味深いものでした。

江別RC 新屋 光彦

【対象記事】

私の一冊・広島西南RC・佐藤二郎会員の「うえむらちかのカープごはん」(縦P21)

【感想】私も同じ本を購入しましたが、広島東洋カープのファンとして、とても楽しく読めました。

広島西南RC 杉本 清英

【対象記事】

スピーチ・国立大学法人 宮崎大学
長・池ノ上克氏の「ロータリー財団
奨学生、その後」(縦P4~8)

【感想】私の子は安産で生まれ、お産を軽く考えていましたが、孫の一人を流産で失いました。その時に周産期医療の言葉を知りました。「Stay in Academics」。私も第一線から退いて、もったいないのかなと思っていましたが、まだまだなんですね。

福島中央RC 佐藤 信雄

【対象記事】

友愛の広場・東京東大和RC・虎井
廣志会員の「浦川哲男一座公演 白
浪五人男」(縦P16~17)

【感想】「演奏会や講演会では代わり映えがしない」と、非日常の振る舞いに至った発想にうれしくなりました。五人の男はクラブを盛り上げるべく能動的に手を上げたと推察でき、また予期しない効果も生み出したでしょうし、英断を下した皆さんに喝采です。五人男役の会員の年齢に興味を持ちました。

名取RC 齋藤 弘行

【対象記事】

パズルdeロータリー(横P34)

【感想】今回の数独は難しかったです。どうしても合わないところがあり、解答できませんでした。

松本東RC 小林 正樹

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例・月号「友愛の広場」、○○さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先(Eメール、電話番号)を付記しお送りください。

エイドステーション ボランティアに参加して

弘前東ロータリークラブ

第二八三〇地区・青森県

クラブでは一〇月一日、「弘前・白神アップルマラソン」のエイドステーション（救護所）ボランティアとして、弘前南高校・ACのインターアク



プロの指導を受ける中学生選手

くの選手たち、応援する市民が参加し、ロータリーの公共イメージ向上にも大いに寄与したように思います。

折しも、海上ではウインドサーフィンのイベントが開催されており、色とりどりの美しいセイル（帆）がビーチバレー大会に花を添えてくれました。

（宝子山泰久・記）

ター、米山奨学生と一緒に参加し、お手伝いをしてきました。

アップルマラソンは、津軽の秋を彩る一大スポーツイベントとして、県内外のランナーに親しまれている大会です。当クラブでは地区補助金を使い、水やスポーツ飲料、果物を準備し、約二〇〇人のフルマラソンのランナーがやってくるのを待ちました。ランナーの皆さんが水分を求め続々とやってくると、紙コップにドリンクを入れるのが追いつかないほどの忙しさ！飲み物を差し出しながら「頑張ってください！」「と声を掛けると、「どうもありがとう」「ご苦労さま、ありがとう」と、逆にランナーから温かい言葉をもらいました。一生懸命頑張って走る姿は、本当に感動的でした。



ランナーに声援を送り、コップを手渡す会員たち

インターアクターからは「とても楽しかった！」との声が聞かれました。充実した時間を過ごせたようで、人思いやる心を育む機会になったと思います。また、地域の皆さんや県外からの参加者に、少しはロータリーをPRできたのではないのでしょうか。地域の団体や個人と協力しながら、地域に根差した活動ができたと思っています。

こども見守りカメラを寄贈

栃木南ロータリークラブ

第二五五〇地区・栃木県

当クラブでは地区補助金を活用し、栃木市第二公園に「こども見守りカメラ（防犯カメラ）」を二台設置し、市に寄贈しました。防犯カメラの存在は犯罪抑止に貢献しているとも言われており、過去に犯罪発生件数が多く、地域住民から設置の要望があった、市中心部にある同公園に設置しました。

一〇月二〇日、小雨の降る中、会員で同公園内を清掃した後、隣接する栃木幼稚園で寄贈式を行いました。

式には栃木市長、警察署関係者、同公園管轄の小中学校の校長、PTA会長、地元自治会の安全パトロール隊が出席し、式の最後には日頃、公園を利用する園児たちによる遊戯も披露され



寄贈式の前に、公園内を清掃する会員たち

ました。

この「見守りカメラ」が、学校や地域における犯罪防止活動の陰の力として、子どもたちだけでなく、公園を利用する多くの人たちの安全に寄与すること、役に立つことを願っています。

Annotation

地区補助金 (District Grants)

ロータリー財団の使命に当てはまる活動を支援するために、地区に一括で支払われる補助金です。地区は年に一度、補助金を受領し、奨学金や職業研修チームの派遣、奉仕活動の支援、災害救援、地元や海外での奉仕プロジェクトに使うことができます。ロータリアンがプロジェクトのために柔軟に活用できる補助金であり、その全額は地区財団活動資金(DF)の配分によって賄われます。

台湾から老人介護の VTTを受け入れ

第二七三〇地区

鹿児島県・宮崎県

当地区では昨年一〇月、鹿児島西RCが台湾（第三四九〇地区）の宜蘭RCと姉妹クラブを結んでいる縁で、台湾から宜蘭西RCの潘仁修医師をチームリーダーとする八人の職業研修チーム（VTT）を受け入れました。

台湾には日本の介護保険に相当する制度はありませんが、二〇二五年に六五歳以上の高齢者率が二〇％を超え、超高齢社会に入るとされています。そのため、視察・研修は介護事業の制度、現場の両面から行いました。

一行は九月二十九日～一〇月一日に宮



利用者とゲームを楽しむ潘氏（左前）

崎県で開催された地区大会に出席した後、延岡市で一週間の研修を実施。鹿児島市では一〇月一〇日から市役所の訪問などを挟んでの三日間、私が理事長を務める特別養護老人ホーム・泰山荘で視察と研修を行いました。

市役所では介護保険制度について、法律、費用の負担などの説明を受けることができました。また、泰山荘では食事などを含め日常生活の介護や医療について学んだほか、併設のデイサービスセンターで介護予防について、ゲームなどに参加しながら理解を深めました。

リーダーの潘氏は医師の立場から「介護や介護予防の質の高さは、支える人たちの情熱によって支えられていると分かりました。台湾における介護事業の普及に役立てたい」と話していました。

（鹿児島西RC 長柄英男・記）

青少年健全育成を願い 第三五回剣道大会

佐沼ロータリークラブ

第二五二〇地区・宮城県

一〇月一六日、雨の降る早朝、登米市内の体育館から少年少女の元気で、気合の入った掛け声が飛び交い、当クラブの青少年健全育成プログラム「第

三五回佐沼RC旗争奪 登米市少年少女剣道大会」が始まりました。

三五回を迎えるにあたり、同市出身の警視庁剣道指導室主席師範・佐藤勝信氏を招き、実技指導錬成会も行いました。

また、今大会のために宮城県警察本部から同市出身で機動隊剣道指導員を務める三人の先生も駆けつけ、素振りを取り入れた基本動作から、防具を装着しての稽古まで指導していただきました。その後、佐藤氏の講話と試合に進み、個人戦に四二人、団体戦に四五人が出場しました。

もともと当地区は、宮城県でも剣道界で有数の隆盛を誇る地ですが、県からは今後、誕生しないのではないかとこのいわれるほどの実力を持つ先生を迎えた剣道教室は、子どもたちに大きな夢を



佐藤氏らの指導を受ける子どもたち

与えると同時に、剣道を通じた人間形成の良き手本を示し、大変有意義な記念大会になりました。

（高橋利光・記）

元氣いっぱい！ ビーチバレー大会

逗子ロータリークラブ

第二七八〇地区・神奈川県

クラブ社会奉仕委員会の活動として毎年恒例の「逗子RCカップ 逗子海岸ビーチバレー大会」を、一〇月一日、秋晴れの下で開催しました。

クラブ主催、逗子バレーボール協会の共催で第一四回を迎えた今回は、地区補助金を活用してスケールアップ。一般二八チーム一二人、中学生二四チーム九六人の総勢二〇八人が六面のビーチコートを使い、トーナメント方式で熱戦を繰り広げました。

また、招待プロ選手三人による模範プレーや参加者への指導は大好評。大会後にはプロ選手のサイン入りグッズを賞品とした「ジャンケン大会」も行い、会場は大歓声の連続でした。

クラブは会場でおいしいカレー二五〇食分を提供して完売。売り上げはチャリティー募金としました。長年積み重ねてきた実績あるこのイベントは地域の認知度も高く、例年以上に多



米山奨学生のウィリアム君が小学校で授業

反応を示していたようです。

彼は小学生の頃からゲームが好きで、日本のゲームをきっかけに一四歳から日本語を学び始め、分からない単語を辞書で調べるなど、苦勞して日本語を習得したそうです。当日は児童に向けて、「彼がしたような」試行錯誤を繰り返すことによって知識が自然と向上し、英語を習得できるようになる。失敗は恐れず、笑顔と、アイ・アム・ソーリーと謝ることでクリアできる」と語りました。

出前授業の後、担任の先生からの丁寧な礼状とともに全児童からの感想文をもらいました。このうち九人の児童がウィリアム君のスピーチに触れていました。それぞれの文章から、そのスピーチが強い印象を与えたことが伝わってきました。

訪問コンサートを通して交流

岩出ロータリークラブ

第二六四〇地区・和歌山県

今年度は「きらりと輝くクラブづくり」を目指して社会奉仕事業を計画。地区補助金事業として、和歌山県立那賀高校吹奏楽部の協力を得、九月一日に（社福）和歌山つくし会、和歌山つくし医療・福祉センター、一〇月二日に（社福）丹生学園で訪問コンサートを実施しました。

開催に当たり、吹奏楽部の部員やクラブ社会奉仕委員で延べ三九回にわたって事前の打ち合わせなどを行いました。当日は会長、幹事はもちろん会員と吹奏楽部の部員たちが、機材搬入から会場設営までを一丸となって行いました。

吹奏楽部による演奏が始まると、観客は体を動かして音楽を感じてくれました。和歌山つくし医療・福祉センターには重度心身障害児（者）が入所しており、児童養護施設である丹生学園には、さまざまな事情で親と離れて生活している小学生から高校生までの青少年が暮らしています。同学園の子どもたちは生演奏を楽しんだようで、後日、多数の感謝の手紙がクラブと那賀高校



那賀高校吹奏楽部が福祉施設で演奏を披露

に届きました。両施設職員にとっても、つかの間のやすらぎとなったのでは、と感じています。これからも奉仕の精神を忘れることなく、地域の皆さんと共に頑張っていきたいと誓った二日間となりました。

がん予防教育と音楽公演

岩国西ロータリークラブ

第二七二〇地区・山口県

日本人の二人に一人が「がん」を患います。三人に一人が「がん」で死亡しています。青少年が将来、最も気をつけなければならぬ病気は「がん」と知ってもらうことは、喫緊の課題です。このことを踏まえ、当地区では前年度から三年間、「がん予防の普及推進」を方針としています。

クラブでは前年度に続き、一〇月四日の午前と午後の二回、岩国市内の二つの中学校で「がん予防教育と音楽公演」を実施しました。それぞれ第一部はがん予防教育の講話、第二部に音楽公演という構成で行いました。

がん予防教育では、兼田康史クラブ青少年奉仕委員長が、がん予防のための生活習慣チェック五項目を示して解説。数十年にわたる生活習慣のひずみが「がん」の原因となると訴えました。

音楽公演は、岩国を拠点に国内外で活躍しているバイオリニスト・石井啓一郎氏とピアニストの啓子氏の夫妻が生演奏を披露しました。演奏の合間には、作曲家のエピソードや楽曲の聴きどころを紹介。生徒たちは目の前で奏でられる優雅な響きに聴き入っていました。



生演奏に聴き入る中学生たち



春の開花を楽しみに、エゾヤマサクラを植樹

員を含む二〇人余りが二時間ほど作業し、心地よい汗を流した。私は作業中、額の汗を拭いつつ、この夏の猛暑、異常気象について考えていた。

(加藤慶昭・記)

世界中で樹木を

北海道2500ロータリーEクラブ

第二五〇〇地区

昨年四月二三日に網走の地で行われた地区研修・協議会で、当時の成瀬則之ガバナーエレクトから「イアン・ライズリーRー会長エレクトが地球の持続可能性のため、各会員につき少なくとも一本の植樹を」というメッセージを発信したという話がありました。そのことを受け、クラブでは早速五月に旭川市と打ち合わせを行い、植樹の場

所と調査、木の選定、日程の調整に入りました。

その結果、市内に造成中の「東光スポーツ公園」には桜の木がないことが判明し、一〇月一四日、エゾヤマサクラを植えることにしました。会員と地域の子どもたちで穴を掘り、軟らかい土を入れ、水をまき、空気を抜き、苗木を植え、土をかけ、支柱を立てる作業を行いました。数年後には、春は淡紅色の花が咲き誇り、秋には紅葉し、多くの市民や観光客の目を楽しませることができれば、うれしい限りです。

植樹後のランチ会で東堂賢功会長は「来年の春、雪が解けたら、植樹した場所に会員が集い、木の状況確認と周辺のごみ拾いをしよう。植えることが目的ではなく、継続して環境について考えましよう」と話しました。北海道では冬が長く続きますが、雪解けの春が待ち遠しくなりました。

(湯浅秀昭・記)

四校IACが共に活動して

沼津ロータリークラブ

第二六二〇地区・静岡県

沼津地域にはインターアクトクラブ(IAC)が四つあります。沼津RC提唱の桐陽高校IACと沼津商業高校IAC、沼津北RC提唱の沼津中央高

校IAC、沼津西RC提唱の加藤学園高校IACです。

インターアクターが顔を合わせる機会はIAC年次大会、指導者講習会の年二回でしたが、二〇一七年は六月一八日の「静岡県ほたるサミット二〇一七沼津市大会」(沼津市ほか主催)と、前述のIAC提唱三クラブおよび沼津柿田川RCが協同で実施した九月二三日の「ポリオ撲滅街頭募金」に参加を呼びかけました。

ほたるサミットは静岡県東部の市町が参加して年一回開催され、沼津市大会で五回目を迎えました。地域の人たちにホタルの生態を知ってもらい、ホタルの育つ自然環境を保護していくことを目的としています。多くの市民と共に参加したアクターたちは、子どもたちが持参したホタルの塗り絵の展示



ホタルの塗り絵を展示するインターアクター

を手伝うなどして、自然保護の大切さを実感していました。

ポリオ撲滅街頭募金では、各校から参加したインターアクター二六人が先頭に立って募金を呼びかけ、九万円余の寄付を集めることができました。

これらに共に参加することで、アクター同士が仲間の存在と活動を確認する機会となりました。今後も各IACが協同で参加できるよう、活動の場を提案していきたいと思います。

出前授業で

米山奨学生が活躍

大阪なにわロータリークラブ

第二六六〇地区・大阪府

一〇月の米山月間にちなんで一〇月五日、クラブ社会奉仕活動の一つとして、会員九人が米山奨学生とともに大阪市立高津小学校を訪れ、六年生二一人を対象に出前授業を行いました。

「世界がもし一〇〇人の村だったら」という文章を元にした動画を見てもらった後、各会員が従事する職業、米山奨学生は自分自身についての説明をしました。特に三番目に登場した当クラブの米山奨学生、関西大学大学院で外国語教育学を研究しているフロンク、ラッセル・ウィリアム君(アメリカ出身)のスピーチに児童たちは一番



深江一之会長(左)からパソコンなどを寄贈

長と幹事、第二七三〇地区の恵原龍三郎がバナー補佐も参加してくれました。奄美の両クラブとバナーを交換し、夜の懇親会で親睦を深めました。

なお、贈呈式の様子は地元紙にも掲載されました。ロータリー活動の一端を多くの人に紹介できたことをうれしく思います。

(高橋繁幸・記)

枝豆収穫体験を通じた地域交流

君津ロータリークラブ

第二七九〇地区・千葉県

クラブでは七年前から毎年秋、社会奉仕委員会が中心になって、地域の人を招き、君津市三舟山の麓で千葉ブランド枝豆「小糸在来」の収穫祭を行っ

ています。今年度も一〇月一四日に第八回を開き、会員とその家族五〇人と地域の一般家庭から五八人、さらに東日本大震災で東北から君津に避難している家族一七人を招待し、総勢一二五人で枝豆を収穫しつつ、親睦を図りました。

当日は朝から雨模様でしたが、収穫祭の間だけは奇跡的に雨もやみました。隈元雅博会長のあいさつ、小川哲也社会奉仕委員長の説明、そして大住昌弘国際奉仕委員長からはロータリーのポリオ撲滅活動の紹介があり、その後、湿った枝豆畑で泥んこになりながら、夢中になって株の刈り取り、さやの摘み取りを進めました。無邪気な笑顔があふれ、家族同士の楽しい会話が弾む中で、畑は瞬間に丸裸になりました。その後、子どもたちはカエル



夢になって、枝豆を摘む参加者たち

を追いつめるなど、自然を十分に満喫しました。

昼食時には、新鮮で芳醇な香りのする枝豆が入った豚汁とおにぎりを振る舞って、参加者全員で秋の味覚を堪能しました。資機材の準備やテント設置など、会員が一致団結して協力し、また、地域の絆を深める有意義な一日となりました。

なお、ポリオ撲滅についてはポスターを掲示し、国際ロータリーの活動を紹介した小冊子を配布し、募金への協力をお願いしました。

ホタルのすむ一の坂川をきれいに

山口南ロータリークラブ

第二七一〇地区・山口県

三方を山に囲まれた山口市は西の京ともいわれ、市中心部を北から南へ一の坂川が流れる。そこにはゲンジボタルが生息しており、この発生地は国の天然記念物に指定されている。初夏には数万匹のホタルが幻想的に飛び交う。豊かな自然に加え歴史的建造物も多く、文化の薫り高い街並みは市民の誇りである。

お彼岸の九月二四日、水辺には真っ赤なヒガンバナが咲き競い、その花を愛でながら、当クラブでは一の坂川周



刈り取った雑草やごみを袋に詰める会員たち

辺の清掃奉仕にいそしんだ。

ホタルの保護、飼育には、この川を中心とする大殿地区の学校、事業所、施設などが一体となって組織された「大殿ホタルを守る会」が当たっている。今夏のホタルは五月までは順調に育っていたのに、最盛期に飛び交う数が多いの外少なかった。猛暑の影響かと、同会では原因を探っているが、今のところ不明であるらしい。同会のメンバーをはじめ、各団体が川の環境保護のため、雑草やごみの除去などを行っている。私たちのクラブはバナーの図柄にホタルを配している通り、清掃などによるホタルのすめる環境の保護をメインに活動を進めている。

今回の私たちの任務は、刈り取った雑草やごみを袋に詰め、軽トラックで集荷場まで運ぶこと。新会員、女性会



寄贈した絵本を使って、子どもたちに読み聞かせ

大型絵本を寄贈

最上ロータリークラブ

第二八〇〇地区・山形県

一〇月六日、地区補助金を活用して、最上町すこやかプラザ内のひまわり図書室に大型絵本を寄贈しました。

贈呈式では二戸守会長が、子どもたちにいい本を読んでもらおうと絵本の贈呈を決めたことや、ロータリークラブが世界的な組織でポリオ撲滅に尽力していること、また、最上RCではバス停にベンチを寄贈したり、子どもたちのサッカー大会を主催したり、敬老会で賞状や湯飲みをプレゼントするなどの活動をしていると、子どもたちに話しました。子どもたちにもロータリークラブを覚えてもらえるよう、贈

呈した本には全て、ロータリーのロゴマークを貼り付けました。

贈呈式の後、すこやかクラブ（放課後児童クラブ）の菅晴美氏から、寄贈した大型絵本の読み聞かせをしてもらいました。ページをめくりながらの読み聞かせを久しぶりに見聞きし、「いいものだなあ」と感動しました。子どもたちもみんな夢中になっていました。とてもよいプレゼントができたと思います。最後に子どもたちと一緒に記念撮影を行い、事業を終えました。

（奥山茂智・記）

長崎北RC主催 年長者市民俳句大会

長崎北ロータリークラブ

第二七四〇地区・長崎県

九月二三日に長崎市で、当クラブ主催の第三二回年長者市民俳句大会を、約一〇〇人の参加を得て開催。あらかじめ応募された一八〇首の俳句の中から選者八人が天・地・人の各賞、長崎新聞社賞、長寿賞に佳作五首を選び表彰しました。

長崎市とその周辺で活動している俳句の会のメンバーや一般市民など、多くの人たちが楽しみにしている大会です。長寿化社会において、老後を楽しく、他の人たちと交わりながら暮らし



今回の講話は「長崎の食文化」について

ていく、そのような生活の一部にこの大会が位置付けられ、自然や他人に関心を持ち、五七五の句の中に自分の感情を表現することで脳の活性化を促すことになれば、われわれの活動も社会的に認知されるのではないかと考えています。

大会も回を重ねることに大きくなり、おかげさまで第三二回を迎えることができました。これからさらに多くの年長者が増えると予想されますので、社会に必要なイベントとして継続していかなければと考えております。

なお、当日は毎回、会員が一時間程度の講話をしており、これまでに「頭をよくする食べ物」「治らぬ呆けに治る呆け」「長崎と桜」といったさまざまな話題を提供してきましたが、今回は私が「長崎の食文化」について話し

ました。

（中嶋恒治・記）

奄美ゆずり葉の郷へ パソコンや書籍を寄贈

東京江戸川中央ロータリークラブ

第二五八〇地区・東京都

九月二三日、地区補助金と会員からの浄財を基に、NPO法人奄美青少年支援センター・ゆずり葉の郷に書籍と書棚、およびノートパソコンを寄贈しました。

同センターでは家庭内暴力（DV）や育児放棄（ネグレクト）、両親からの愛情不足により、非行や登校拒否といった問題を抱えている子どもたちを二〇人以上受け入れています。三浦一広所長をはじめスタッフは昼夜を問わず、子どもたちの周りで起こるさまざまな問題の解決に取り組んでいます。

当日、三浦所長からは「子どもの非行の背景には、いつも悲しい現実がつかまっています。子どもたちの声なき声に耳を傾け、彼らの存在を肯定的に認め、チャンスをいま一度与えてやってほしい」と、子どもへの熱い思いが伝わるあいさつがありました。

同センター副理事長である吉田昌重氏が奄美RC会員という縁もあり、贈呈式には奄美RCと奄美中央RCの会

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

「世界の記憶」の保護支援

高崎シンフォニーロータリークラブ

第二八四〇地区・群馬県

昨年一〇月三十一日、飛鳥時代から奈良時代にかけて建立された三つの古代碑「上野三碑」がユネスコ「世界の記憶」に登録されました。上野三碑は「山上碑」、「多胡碑」、「金井沢碑」の総称であり、いずれも高崎市の南部地域に所在しています。

登録に先立ち、高崎シンフォニーロータリークラブ（RC）では一〇月一日の朝に会員が金井沢碑近くの駐車場に集合。それぞれがほうきやタオルを持ち、石碑が納められている覆屋のガラスや看板、階段、木道などをきれいに清掃しました。続いて多胡碑周辺も同様に清掃した後、多胡碑記念館で展示品を見学しました。



地域の宝を大切に、清掃活動を実施

その後、同記念館の上野三碑レプリカの前で高崎市への寄贈品の贈呈式を開催しました。寄贈品は覆屋内部の温度と湿度を長期間にわたり計測・解析できる機器で、保存の意味では最も基本的なデータを集積できるため、市の文化財保護課には大変感謝されました。その他、同記念館で使用するスポットライト、テーブルライト、撮影用三脚などの備品計二八点を贈りました。

式典で、橋爪健会長からは「三碑は貴重な文化財。大切に保存していくため寄贈させてもらう」という趣旨のあいさつがありましたが、各品には当クラブ寄贈のシールを貼り、有効に活用してもらえようと思いました。

この事業の後、上野三碑はユネスコの「世界の記憶」に登録されました。クラブの取り組みとして大変良いタイ

ミングでの寄贈となりました。上野三碑の保護活動に少しでも役に立てたことを誇りにしたいと思います。

なお、贈呈式の様子は翌一五日の地元紙に掲載されました。

（白石隆夫・記）

次代の地域産業を担う 大学生と大学を支援

川之江ロータリークラブ

第二六七〇地区・愛媛県

九月二五・二六日、愛媛大学社会共創学部産業イノベーション学科の一年生二七人が、当クラブのある四国中央市に「産業技術調査」という授業の一環として訪れました。

四国中央市は紙製品の出荷額では、二年連続日本一という紙産業の町。お札と切手以外の紙製品なら何でもそろうとまで言われ、愛媛県でも紙産業は、主要産業に位置付けられています。そうした状況を踏まえ、愛媛大学は二〇一六年、地域創生の核となる文理融合学部として社会共創学部を新設。

学生の増加に伴い、今年から四国中央市に三、四年生を対象に、新たな校舎を設けることになりました。同市や地元産業団体が愛媛大学へ寄せる期待は大きく、私たちのクラブでは、学生の支援や地域産業の発展に貢献できない



地域の若者たちと夕食を取りながら交流

かと、例会などを通じて協議。クラブ長期戦略の一つとして、同学部の学生支援を掲げることにしました。

当日は地場産業である紙産業の次代を担う大学生に、紙づくりや四国中央市のことを少しでも知ってもらおうと、会員が経営する製紙企業の工場を見学してもらい、宿舎では会員と学生がテーブルを囲み、夕食を取りながら懇親会を開催。双方から多くの質疑が飛び出し、にぎやかな意見交換会となりました。

今回、クラブからは交通費、宿泊費、懇親会費を支援しました。今後も学生たちに、当クラブを身近な存在として感じてもらうよう、また未来の地域の担い手として地元企業に就職し育っていくことを願い、支援を続けていく予定です。

ROTARY AT WORK



ゴルフコンペでポリオ撲滅支援活動
 〈第2530地区〉
 「地区大会記念ゴルフコンペ」を福島県西白河郡西郷村の白河高原カントリークラブで開催。140人が参加した。1963年にオープンした名門コースで、参加者からは「このコースでプレーができて感激」と大好評。参加者からポリオ撲滅のための募金をお願いし、10万1394円の協力を得た。今後も協力を続けたいと地区では考えている。

(10月9日 福島県)

ROTARY AT WORK



総合防災訓練に参加し非常用力レーを寄贈

〈堺フェニックスRC〉

津波防災の日・世界津波の日である11月5日、国土交通省近畿地方整備局と堺市合同の総合防災訓練が開催され、会員約20人が防災ベストを着用して参加。非常用力レー500食を寄贈した。避難待機場所の小学校にカレーなど支援物資を搬入し、防災訓練会場に設けたブースで、防災パンフレットおよびカレーを参加住民に配布した。

(第2640地区 大阪府)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

建立した記念碑と参道周辺の清掃活動

〈東京八王子西RC〉

晴天の中、武蔵陵墓地へつながら参道の清掃活動を行い、30人が参加して汗を流した。昭和天皇の崩御に伴い、1989年12月に参道入り口にクラブも協力して武蔵陵墓地参道の碑を建立している。清掃は福山眞吾会長の呼び掛けの中、一致団結して和気あいあいと作業を進め、参加者はこの清掃活動を通じてボランティアの原点を体感することができた。

(11月11日 第2750地区 東京都)



ROTARY AT WORK

伝統行事「英語暗唱大会」への継続支援

〈山中RC〉

戦後、英語教育の必要性の高まりを受け、1948年に石川県立大聖寺高校では英語弁論大会が開催された。翌年から地域における英語教育振興を目的に、地域の中学生を対象として同校の同窓会が英語弁論大会（近年は暗唱大会に変更）を毎年実施。クラブもその趣旨に賛同し、後援の形で支援を続けて49回目を迎えた。大会は今回で69回目となり、改めて継続することの大切さを実感している。

(11月3日 第2610地区 石川県)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真（集合写真）は掲載できません。

ROTARY AT WORK



病院内のスペースで アート企画展開催

〈川崎幸RC〉

川崎市の第二川崎幸クリニックではホスピタルアートに力を入れており、病院内で企画展を開催している。通院している患者の癒やしを目的としており、クラブでは初めて「川崎幸ロータリークラブ展」を開催。会員、家族による絵画・写真・書画など計18点を1カ月間展示。またクラブ活動の写真・パネルも展示しロータリーを身近に感じてもらう機会になった。

(9月4日～10月5日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK



絵手紙で 遠いネパールと交流

〈平塚西RC〉

平塚市立神田中学校が英語の授業の一環で絵手紙を交換することになった。3月に、2003年にクラブが建てたネパールのヒマヤンアカデミー学校に121枚の絵手紙を送ったところ、今回、ネパールから111枚の返信があった。現在ヒマヤンアカデミー学校では約250人の生徒が学んでいる。クラブでは両国の子どもたちの交流を進めており、将来、何人かの卒業生を日本に迎えることを検討している。

(10月18日 第2780地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK



会員と知人らで楽しく献血 活動支援

〈岡山後楽園RC〉

MAK岡山クリニックモールの感謝祭会場、岡山赤十字血液センターと岡山クリニックモール、岡山後楽園RCの共催で献血活動を行った。クラブからは21人の会員と家族が感謝祭会場で旗を持ち歩き、献血の協力を呼び掛けた。会員が事前にお願いをしていた人と合わせ、献血者61人の協力を得た。

(10月9日 第2690地区 岡山県)

ROTARY AT WORK

この道一筋の職業人を表彰

〈水沢RC〉

「この道50年」表彰と題し、会員の事業所などに所属する優良従業員を毎年表彰している。今回は石材店で57年間働く男性と、新聞販売店に長年勤務する男女2人を表彰した。かつては仕事と勉学を両立しながら頑張る勤労学生も表彰。表彰は1975年から始まり42年目となった。例会席上での授与式では3人に賞状と記念品を贈呈。これまでの労をねぎらうとともに、今後のさらなる活躍を願った。

(10月26日 第2520地区 岩手県)

この道50年 優良従業員 水沢ロータリークラブ



ROTARY AT WORK



新庁舎前に景観保全の植樹を実施

〈秩父RC〉

秩父の山々が色づき始める中、東日本大震災で損傷した秩父市庁舎の建て替えに伴い、以前の景観を保全するため、久喜邦康市長のほか、多くの会員が参加して庁舎敷地内にハクモクレンの植樹を行った。周辺の清掃活動も行い、細井保雄ガバナー作詞・作曲の「ロータリーを他人（ひと）に告げる歌」が流れる中、十数人の市民も活動に加わり、ロータリーの奉仕活動をアピールできた。

（10月17日 第2570地区 埼玉県）

ROTARY AT WORK



一番人気 チャリティー抽選会

〈田沼RC〉

栃木県佐野市は日本列島の中心に位置していることになみ、毎年「どまんなかフェスタ佐野」を市内のスポーツセンターで開催している。クラブで毎年出展しているチャリティー福引抽選会のブースには、ハズレ無しの福引に毎回長蛇の列ができ、お祭りでは一番人気の催しとなっている。収益金は地元福祉施設に椅子を寄贈するなど有効活用している。

（11月5日 第2550地区 栃木県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

環境負荷も考える 子どもエコクッキング教室

〈新見RC〉

小学生対象の「エコクッキング教室」を地域の農協施設で開催した。地球規模で考え、地域で行動できる子どもの育成を目指した、クラブの「にいまエコキッズくらぶ」活動の一環。買い物から調理、会食、片付けまでを、フード・マイレージ（食料の総輸送量・距離）と省資源・省エネを意識し行った。地元肉や野菜を使った「地産地消混ぜご飯」もおおいしくできあがり、楽しい一日となった。

（10月29日 第2690地区 岡山県）



ROTARY AT WORK

柔道大会にロータリー杯を新設

〈厚木県央RC〉

厚木市内の荻野運動公園にて「第24回厚木市柔道選手権大会」（市柔道協会他主催）が開催され、幼児から一般有段者まで57団体826人がエントリーした。クラブでは創立20周年を記念して「厚木県央ロータリー杯」を新設し、柔道大会を継続事業として支援することにした。今後もスポーツを通して人材育成と地域の交流に力を入れる。

（10月15日 第2780地区 神奈川県）



ROTARY AT WORK



**そば打ちと書道で
国際親善** 〈水戸東RC〉

第31回「茨城大学留学生との心の交流会」を開催。国際奉仕事業の一環で、留学生と交流することによって国際理解と平和を推進しようというテーマを変えながら毎年開催している。今回は茨城県を代表する水府そばを使って、会員によるレクチャー後、実際にそばを打ち、試食するまでを体験した。また大学書道部の協力を得て書道にも挑戦。日本の文化を身を持って体験した、楽しい一日となった。

(10月15日 第2820地区 茨城県)

ROTARY AT WORK



保健福祉センターへ 血圧計を寄贈

〈館林ミレニアムRC〉

多くの館林市民が利用する館林保健福祉センターに、健康管理の一環として、ロータリー財団の地区補助金を利用して血圧計を寄贈。地域の向上につながる奉仕活動を積み重ねることで会員自身の意識も向上し、街づくりに対する新たな目標も見えてくるとクラブでは考えている。

(10月20日 第2840地区 群馬県)

ROTARY AT WORK



生徒園児らと 美化活動を実施

〈東京王子RC〉

JR赤羽駅南口高架沿いの花壇を中心に、周辺道路の美化活動を実施。以前インターアクトクラブがあった成成学園高校の生徒や幼稚園児と共に実施。花壇を秋の草花に植え替えた。シクラメンなど約1500鉢の花は、赤・黄・紫と色合いも良く、小鉢から土に整然と戻していく様子をPTAや通行人が興味深く観察していて、地域に密着するロータリーを印象付けた。

(10月28日 第2580地区 東京都)

ROTARY AT WORK

39年目の少年野球大会に 協賛

〈和歌山南RC〉

「青少年の健全育成は、大人たるものの使命」を理念とするクラブでは、「和歌山南ロータリークラブ旗争奪西支部野球大会」に協賛して39年目を迎えた。和歌山市軟式野球連盟学童部西支部の各チームから総勢約270人が出場。野球を通じて試練を乗り越える力を養い、夢を持って成長できる環境を作るのが目的。将来プロ野球選手が誕生することを願い、応援する大人たちも夢を膨らませている。

(9月18日 第2640地区 和歌山県)



ROTARY AT WORK



**走れ！
もうすぐ1年生**
〈横浜南RC〉
横浜市南区内の公・私立保育園の園児が参加する「みなち杯えぎでん」が清水ヶ丘公園で行われた。25の保育園の年長園児約400人がリレー形式で駆けっこを楽しんだ。園児同士の交流を深めることで、小学校入学前の園児の不安解消を図ろうと南区社会福祉協議会が主催し、クラブも2016年から支援している。
(11月2日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK



**土をかき分け
園児が芋掘り** 〈八幡浜RC〉
子どもとの触れ合いを目的に、クラブ設置のロータリーファームに5月に植えたサツマイモ800株を掘る「第3回Rotaryふれあい芋ほり大会」を行った。神山保育所の園児、保護者、先生、会員を含め総勢70人が参加。園児たちは土をかき分け、赤いサツマイモが出てくると「あった、あった」と大はしゃぎ。力いっぱい引き抜き満面の笑み。爽やかな秋空の下で収穫の喜びと交流を楽しんだ。
(10月25日 第2670地区 愛媛県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**特別支援教育のための
講演会開催** 〈鹿児島RC〉
毎年鹿児島大学教育学部と共催で行っている、特別支援教育講演会は好評で、リピーターも多い。13回目の今回は「発達障害児のソーシャルスキルを高める効果的な指導の視点」をテーマに、宮崎大学教育学部・半田健講師が講演。台風接近にもかかわらず約100人が受講。経験とデータに基づいた事例を交えた解説で、質疑応答も多く、受講者も大満足だった。
(10月29日 第2730地区 鹿児島県)



ROTARY AT WORK



**ロータリーデーで
公園清掃とポリオ撲滅募金**
〈浦和ダイヤモンドRC〉
今回で4回目となるロータリーデーを、さいたま市の別所沼公園で実施した。会員のほか、少女サッカーチーム「浦和ラッキーズ」のメンバーとその保護者、青少年交換学生のアレックス・フラナガンさんも加わり合計51人が参加した。ポリオ撲滅募金活動も行い、8810円をポリオプラス基金に寄付した。ひと汗かいた後の恒例バーベキューパーティーは格別なものとなった。
(10月1日 第2770地区 埼玉県)



ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編 AT WORK

養護施設の子どもに 移動動物園をプレゼント

岩槻東ロータリークラブ
第2770地区 埼玉県

12月2日、ロータリー財団の地区補助金事業として、児童養護施設いわつきで移動動物園を開催しました。このプロジェクトは、4月にがんで急逝した故・青山いづみ会員が立案し、その死の直前まで準備を進めてきた彼女の遺業となりました。ペットを飼えない同施設の子どもたちに「動物と触れ合い、愛でる心を持ち、心を癒やす。それをたった一日でも届けてあげたい……」との思いからプロジェクトは始まりました。

当日は曇一つない晴天に恵まれ、この冬一番といえる暖かい日でした。開会式が終わると、子どもたちは一斉に広場いっばいに駆け巡りました。エア遊具で無邪気に飛び跳ねる子、中型のヘビを首に巻いて得意気な子、ポニーに乗りカメラにポーズを決める子、ウサギやニトリ、ヤギやヒツジなどを追い掛け回して抱きかかえる子、動物に餌をあげている子……。子どもたちは、みな生き生きと満足した表情で動物と触れ合い、わずか4時間余りの短いひとときでしたが、思い思いに楽しんでいました。

会員は疲れを知らない子どもたちのパワーに圧倒されながらも、けがや事故が起きないよう寄り添い、順番待ちを管理し、交流も深めました。終了後、子どもたちが率先してマイクを取り合い、会員への感謝の気持ちを伝えてくれました。ロータリーアン、施設職員、子どもたち、その場にいた誰もがほのぼのとした気分を味わった一日となりました。

青山さん大成功でしたよ、見守ってくれてありがとう。今後われわれは、この施設の子どもたちが少しでも幸せと思える事業を続けていきたい、と考えております。(丹野寿明・記)

身に入むや無人の駅にひとり立つ

山梨・甲府西 太田 道夫

秋晴れの竹島詣で登百段

愛知・蒲郡 本多 幸子

猫じゃらしすぐに言葉を感じる子

岐阜西 眞鍋倭文子

家康の薨ばかりの菊袴

愛知・瀬戸 沢田 充子

一湾を一舟よぎる良夜かな

富山南 升田 義次

鴨ばかり見てみてコーヒー冷めるまま

石川・加賀 折橋紀与美

鵜外の住みし館や小鳥来る

奈良 田伏 薫

富士なくも仙石原の花芒

奈良 寺田 康宏

冬帽子妣と揃ひの赤い色

大阪北 三宅 侃

落葉踏む音心地良く散歩道

大阪うつぽ 齊藤 隆二

惜しみなく闇にさしこむ今日の月

兵庫・神戸西 後藤 睦子

佇みて夕べの庭に秋惜む

兵庫・神戸西 京極美栄子

落葉はや三代句碑の上に落つ

兵庫・芦屋川 廣瀬ゆきを

流し湯の音の静かや秋深む

埼玉・日高 犬竹 碗白

いく度も二階へ上り月を待つ

埼玉・日高 高木 祥子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名 電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

六八幡宮手水舎上棟うち晴れて
あなほちまんでみづしやしょうとう

東京ワセタ 福地桂之助

葉を落としつると実のみの烏瓜
黄色く赤く秋の日に映ゆ

神奈川・川崎西 吉田 恵一

雨上り夜明けの杜に流れくる
秋の粒子は葉裏にとまる

愛知・豊橋 長屋 孝美

俯いて泣いてるごとし向日葵の
倒れて終る冬は来にけり

千葉・富里 寒郡 政雄

杖をつく夫の歩みに合はせゆく
刻のめぐりもゆるゆるとして

岡山・倉敷東 吉岡 洋子

空ロジススキの中に向日葵が
一輪咲いて誰かを待つてる

長崎出島 伊東 浩子

鋭角に折れし枯蓮満つる池
宗達の蓮咲かせてみたし

香川・高松 平峯 千春

エメラルドグリーンを食べたく今年
また袋いっぱいぎんなん拾う

埼玉・所沢西 大原 律子

もう一度見つめ合へたら…背の高き
芒が原は月光を掃く

福島・須賀川 柿沼 良訓

老い妻につき添はれたる夫らを
病院に見つ男は弱し

東京荒川 井上 久子

鳴子峡紅葉織り成すグラデーション
切り立つ断崖秋深みゆく

宮城・古川東 高橋 義宣

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名 電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

替えボタン出番がないと勘ねてみる

高知西 山岡 陸宏

相続はお金でなくて智慧である

千葉・市川 照井 親資

日本の夜明けを醸す沖の島

福岡イブニング 甲斐総治郎

それぞれの参加国旗にある平和

群馬・伊勢崎 秋山 春海

屋久杉は粗食に耐えて三千年

新潟・吉田 佐藤 良一

和尚さん毎回決まってウエルダン

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

鼻歌は要注意ですばれますよ

東京日本橋東 井口 弘子

アスリート芸人なる人なれぬ人

長野・辰野 河手 欣哉

父母の歳はるかに越えて山登る

福島・本宮 高田 宗彦

痩せすぎのモデル禁止で妻喝采

群馬・高崎北 樋口 哲雄

七五三祖父母がなぜか目立ってる

山梨・甲府北 土橋 幹夫

座りたい時は地味目の服で乗り

京都・宇治鳳凰 清水美栄子

デザートの後に葉をそっと出し

岡山・倉敷 遠藤 堯之

まだ米寿明日に向かって夢語る

高知西 小野山敬一

例会の帰りはいつもショッピング

埼玉・入間南 荻野 静次

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名 電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



稲畑 汀子 選

運動会どんなに亀が早くとも

栃木・宇都宮西 矢吹 告朱

とても解釈が難しい一句である。でも、何となく見逃せない一句として解釈したいと思う。子供の運動会であろう。もともとゆつくり型の子供が駆けっこに挑むのである。一生懸命走っても所詮（しょせん）一番にはなれない、と思っているのであらうか。いや、亀でも一番になるお話があるではないか。面白い発想の一句である。

旅情とも思ふ旅寝の時雨聞く

福岡城南 吉武 草徑

旅先で雨に降られるのは難儀である。しかし、すでに宿に着いた後に聞こえてくる時雨の音は、案外旅情に誘われるように聞いている作者である。旅という特別な状態にあると、心持ちも違ってくるのかもしれない。そのような心の推移を、作者は面白いと思つてできた一句であらう。時雨の情緒が描けた秀句。

ウインドに我が身映せる聖夜かな

北海道・登別 寺島きしを

友来たる今宵の月を引き連れて

埼玉・川口中央 細井善次郎

虫の音を押し黙らせて雨三日

埼玉・川口中央 納口 俊通



佐佐木幸綱 選

野馬追の神旗勝ち得し誉顔
坂駆け上るは女武者なり

東京 新 欣樹

福島県相馬市の伝統行事・相馬野馬追に取材した作です。ドキュメント・タッチというか、名詞を多くして歯切れのよいリズムで一首にまとめあげています。

相馬野馬追のクライマックスが神旗争奪戦です。何百騎もが打ち上げられた花火から舞い降りる神旗を奪い合います。神旗をとった騎馬武者は本陣山を一気に駆け上がります。観衆のさわめき、騎馬武者たちの歓声が聞こえるようです。

虫も戸を閉さず頃なり秋時雨
日暮は早く身に沁む心地

富山・魚津西 加納 綾子

冒頭部「虫も戸を閉さず頃」は、七十二候のうちの「虫かくれて戸をふさぐ」に拠（よ）つています。俳句では仲秋の季語です。夏が終わり、そろそろ秋の気配が濃くなつてきて、日暮れの時間も早くなつてきたからです。

若いときには気づかなかつた微妙な季節の移行が、初老のころから分かるようになります。雨の降りぐあいや夕方の日ざしの強弱が分かるようになるんですね。人生の深みというか、そんな感覚をていねいに表現しています。

新ソバで酒を味わう呑仲間
通を自慢に宴ははずむ

群馬・館林 新井 進



てじま晩秋 選

昭和枯れすすきを唄うお金持ち

新潟 小林 悟

「小貧しさに負けたゝいいえ世間に負けた戸」。その昔、流行（はや）りましたね。同窓会などでデュエットされましたか。ですが歌詞的にお金持ちには似合わないですか。でもいい歌でした。

知事失墜江戸の空にも薄日さす

神奈川東 石川 正三

あの頃は「飛ぶ鳥を落とす勢い」の小池東京都知事殿も自ら発した「排除します」の一言が災いしてか、党代表の座を失墜。「知事に専念する」旨宣言。都民のために頑張ってください。

故郷の味をコンビニ二追いかける

埼玉・入間南 大野 快三

最近コンビニが一入（ひとしお）手軽になりました。おにぎりやおでんなどの販売も好評で、中にはそば、うどん類を扱うお店も。こそつて故郷の味を求めております。いい時代なのかも。

いとこ会無病一人で恥ずかしい

神奈川・横浜旭 吉原 則光

いとこ会を定期的に開催されているのでしょうか。年齢的にもだんだんと医療機関のお世話になる親戚の中で、一人だけお元気。うらやましいことです。なんか「ほのぼの」とする一章です。

尼寺の裏門小菊寒そうに

大阪西 鴨谷瑠美子

桃の節句について

(有)フラワーショップ花弘
代表取締役 成田 弘明

桃の節句(上巳の節句)は、一般的には三月三日ですが、地域によっては旧暦に合わせ、四月三日に行うところもあります。

ひな祭りの由来は複数あります。平安時代に自分の体を草木やわらで表した人形を作り、その人形をなでて穢れを移し川に流すという流しびなという行事や、厄よけを祈願する上巳の節会という宴会。それらとともに宮中の子女が紙の人形を使ったひな遊びという遊びがあり、これらが発展して現在のひな祭りになったという各説です。

日本では古くから「左」(向かって右)が上手とされ、ひな壇の一番上に飾るお内裏さまは男性が向かって右、女性が向かって左でした。しかし、明治の文明開化で日本も西洋化し、大正天皇の即位の儀で、西洋の上手と下手に倣って天皇が「右」(向かって左)、皇后さまが「左」(向かって右)に並んだため、東京の人形業界がお内裏さまの配置を逆にしたひな人形を関東びなとして作り始めました。しかし、京都を中心として従来通りに配置しており、関東びなと京びなの飾り方は反対がほとんどです。

旧暦の上巳の節句のころ、桃の花が咲く季節でもあり、また桃の葉には皮膚病に効く成分があるとされていたため、お風呂に葉を浮かべて浸かっていた。そのため桃の節句と呼ばれ、ひな祭りに桃の花が飾られるようになりました。しかし桃の花は今の三月三日の気温では咲かないため、花農家は事前に収穫し、節句に合わせて開花調整を行い、花屋の店頭に並べます。

ひな祭りといえば、色鮮やかな行事食。ちらしずしは使う食材それぞれに意味があります。エビは見た目から腰が曲がるまで長生きするように、レンコンは穴が空いていることから将来の見通しが良くように、豆にはまめに働き、まめに生きるようにといった願いが込められています。ハマグリのお吸い物は、ハマグリ貝殻が対になっていないとピッタリ合わないことから、仲の良い夫婦を表し、今後一生一人の人と添い遂げるという願いが込められています。

ひし餅は緑、白、ピンクの三色の餅をひし形に切った和菓子。緑が増血作用のあるヨモギ、白は血圧を下げるヒシの実、ピンクは解毒作用のあるクちなシで色付けます。一般的に、緑は健やかな成長、白は子孫繁栄、ピンクは魔よけを意味します。

(第二五〇〇地区・北海道・遠軽RCにて・同RC会員)

なぜ世界は日本化するのか

古河東RC 大高 滋

日本の新幹線は山手線のラッシュ時並みの運行間隔にもかかわらず、職員が手際良く座席を進行方向に向け、ヘッドカバーを据え付け、ごみ一つなく定刻に出発する。さらに、お辞儀をする職員の姿には感動がある。

これは単なるメカニズムの問題だけでなく「降りる人が先、乗る人が後」という日本人という社会資本のたまものであると著者は説く。さらに世界語になった「カイゼン」の前提として、日本人の「仕事」には、楽しい・面白い・感謝されたい・自らの成長に充実感を覚える、という無言の定義があるとする。

その根底にある日本特有の歴史、教育、リーダーの在り方を世界は学ぼうとしている。日本人はただひたすら「日本らしさ」を追求すればよいのだ。

(第二八二〇地区 茨城県)

なぜ世界は日本化するのか



佐藤芳直

佐藤芳直 著
育鵬社
2017年3月刊

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近感動した本を紹介。320字以内。詳細は投稿規定か「友」ウェブサイトです！

卓

話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

フィンテックとは

SMBC日興証券(株)
アセットマネジメント
マーケティング部

今川倫太郎

フィンテック (Fin Tech) とは、金融 (Finance) と技術 (Technology) を組み合わせた造語で、インターネットやAI (人工知能) など情報技術を活用した新たな金融サービスのこと。スマートフォン (スマホ) のアプリなどを通じた金融サービスを中心に急成長しており、その利便性の高さから私たちの生活を一変させるイノベーションとして注目されています。

リーマンショック以降、大手金融機関は厳しい市場環境下で健全性の確保に追われ、顧客のニーズに応える新しいサービス

を十分に開発できない状況が続いていました。こうした中、スマホの急速な普及や技術の進歩により、既存の金融機関のサービスに加え、従来にはない金融サービス、フィンテックが拡大しました。

サービスの内容としては、スマホのアプリなどを利用した決済・送金やネット上でお金を借りたい企業 (人) と貸したい企業 (人) をつなぐクラウド・ファンディングがあります。また、ビットコインなどの仮想通貨 (暗号) 通貨は、ネット上で流通し、為替や送金、決済など幅広く使用することができます。ガラパゴスと揶揄されてきた日本のICチップ内蔵携帯電話 (おサイフケータイ) も先駆けと言われています。

成長著しいフィンテックの多くは、インターネット上でつながった複数の参加者でモノや資産の全ての取引記録を共有し、データの改ざんを困難にするブロックチェーンという新技術が活用されています。

金融インフラの整備が遅れている中国やインドでは、スマホなどを使った決済や送金が先進諸国よりも浸透しており、これはアフリカなどにもみられ、新興国でもフィンテックの事業拡大が期待されます。

(第二五八〇地区・東京都・東京武蔵野中央RCにて)

私の一冊

震災歌集 震災句集

熊本RC 小野 友道

著者は本誌「俳壇」の選者である。これは二〇一一年のあの地震、津波、原発事故を詠んだ慟哭と怒りの一冊である。そこにある「死の日常性」「政治の貧困」そして「恐ろしくも美しい日本の自然」が、一昨年の熊本地震で慄いた私の胸に染み込んだ。

東日本大震災の一年前、当時私が学長を務めていた熊本保健科学大学で、長谷川氏に桜についての講演をお願いした。その折、「花びらの空に遊びて降りて来ず」の一句を大学に贈ってくださった。

震災後の本書には「天地変いのちのかぎり咲く桜」「人々の嘆きみちみつるみちのくを心してゆけ桜前線」がある。また、熊本で育った長谷川氏は、熊本地震後、「森の国叩き壊して行く春ぞ」と心を震わせた。

(第二七二〇地区 熊本県)



長谷川 權 著
青磁社
2017年3月刊

学校も生徒たちも、以前よりすっかり大きく成長している姿に、触れることができました。

「日本のお互いの信頼の深さはどうやって形成されたのですか?」「日本でなぜ過労死など起こるのですか?」など、生徒とは日本語も交えた真摯なやりとりを。馬頭琴とホーミー（同国の歌唱法）の歓迎も素晴らしかったです。校内では、あの測量機器を使っている様子も見学できました。

二〇一九年には、高専初の卒業生も生まれます。学校は、卒業生がどのような進路に進むかで判断されます。引き続き、彼ら卒業生の進路も視野に入れた支援、奉仕プロジェクトを考え、行動していきます。

（第二七九〇地区 千葉県 総合建設）

YOU ARE ROTARY

明石西 多胡 健吾

「あなたはロータリーです」

原文「YOU ARE ROTARY」は一九六〇―六一年度のRI会長、J・エド・マックロウリン氏のRIテーマです。愚老が当クラブに入会する四年前で、ロータリーの本質をこれほど簡潔明解に表したテーマを知りません。

RI定款第四条、標準RC定款第五条「ロータリーの目的（The Object of Rotary）」を見れば、その意味が分かります。

そこには、RI、ロータリークラブ、慈善事業などの記載は一切なく、全て、ロータリアン

個人を対象として書かれています。本文に「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と記載されている通り「ロータリアン個人は職業人としていかに生きるかという目的」が示されているのです。原文では、Rotarianはすべて単数、かつ頭文字は大文字です。

その第二項では高度の職業倫理、職業観の平等、そして社会に奉仕する機会としてロータリー各自の職業、ひいては職業人の品位、高潔性（dignifying）を強調。「ロータリーは人をつくる」と言われるゆえんです。例会において、異業種の選ばれた職業人が切磋琢磨し、より良き人間形成を目指すのです。人間形成にはこれによしという到達点はありません。だからロータリーは魅力的であり、奥が深いのです。

偉大な先達方の英知の結晶と言うべき「ロータリーの目的」は、五一年のアトランティック・シティー国際大会で決議されて以来、ほぼ変わることなく、われわれロータリアンの心の支えであり続けましたが、残念ながら、ロータリーの現状は「ロータリーの目的」と乖離（かいり）してしまっただと思われまふ。二〇〇〇年代に入ったの相次ぐRI定款の変更により、ロータリアンが職業人として限定されなくなっただけからです。

それを受け、一六年の規定審議会では、ロータリーの目的を改訂する制定案が七件提出されましたが、三件が否決されることなく、RI理事会に付託されています。特にその中の一つ、一六―一七は、ロータリーの現況をよく表現したものと思われまふが、この案文では「The Object of Rotary」の本文および高潔

性（dignifying）の文言が欠落しています。この二つはロータリー運動の核心をなすものであり、これなくしては、その魂を抜かれた思いがします。

規定審議会では、標準RC定款が投票の過半数、RI定款は三分の二によって変更されます。ロータリーの目的が改変される日はそう遠くない、とみるのは杞憂（きゆう）でしょうか。

一六年の定款変更により、各クラブの多様性はますます加速されますが、一人でも多くの方が、現在の「ロータリーの目的」を信奉されるよう願っている老人が、ここに一人います。先達方の熱い思いを忘れてはいけないと思います。YOU ARE ROTARY!

（第六八〇地区 兵庫県 外科医）



わがまちの味

函館

ボルシチ

函館開港 160 周年は 2019 年。1879（明治 12）年創業五島軒のボルシチは、ペリー来航前、実はロシアの黒船が多数入港していた幕末の歴史を伝える献立。牛肉やビーツなどの野菜を煮込み、サワークリームを混ぜて。栄養価に富み身体が温まるスープです。

若山 直（北海道・函館RC）

楽しい男の料理

名取 齋藤 弘行

例年、クラブ内の活性化を図るには？と会員は思索するもの。例えば釣り・ゴルフなど同好の士による活動は、長く続いて親睦にも大いに役立つでしょうが、今年度当クラブでは「男の料理」を考えました。料理ができる人？意外な人が手を上げ、知られざる一面にはほう、という思いです。折よく、会員が所有する調理室があり、調理台・食卓・食器付きで申し分なく、これも活動の決め手になりました。

第一回の四月は、名取名産のセリを生かしてそばを楽しみ、第二回の一〇月は、いも煮とカレー。女性会員と会員夫人には、手出し口出しは無用、上げ膳としました。でも、「味の感想



チャレンジしてみると、世界が広がりますよ

は遠慮なくご自由に」と。

ネギの切り方、ゴボウのゆで加減、カレーはチリペッパーの濃淡、サラダの彩りは良し、など感想が飛び交い、賑やかで楽しい時を過ごしました。親睦の場が新たに一つ増えました。

料理をすれば関連する言葉に触れ、素材が持つ本来の旨味を知り、自分の感性が高められます。究極は己が自立する手段。待つて食するだけでなく、一度チャレンジしてみる価値がある、大変面白い世界でもあるのです。

(第二五二地区 宮城県 稲作栽培)

日本で時かれた種 モンゴルで花開く

成田 平山 秀樹

「これ！これなんですよ、日本のロータリー、米山奨学会がしてくれたのは！」

モンゴル・ウランバートル市で行われた米山学友会に参加した際、第三国立病院の副院長で、市内セレベRCのオイドブ・バトゲレル会員は大きく笑いました。彼は『友』二〇一七年一〇月号横組み七頁に載る、米山記念奨学会という「木」に、これまでの奨学生の母国の国旗が満開の花を咲かせているイラストを指差しながら「人づくり」です。私たちは、ロータリーアンの皆さんの『人づくり』によって日本の繊細さ、思いやりに洗脳されてしまいました」

一方、米山学友会会長を務めるシルネン・ブヤンジャルガルさん（新モンゴル学園・新モンゴル高専校長）は、「米山学友のみなさんと一緒



2017年10月号を指差し破顔一笑

にいる時が一番楽しいんです。仕事はそれぞれ違いますが、米山奨学生だった背景が同じで話が合います。また、この仲間だといろいろなプロジェクトがスムーズに進んでいくんです。市内の貧困家庭が多い地域に、大阪東RCの支援により、図書館を作るプロジェクトも学友会主導で進んでいるそうです。日本の医学書のモンゴル語翻訳、点字翻訳などの奉仕プロジェクトも同時進行中とか。米山記念奨学会、日本のロータリーが蒔いた種は、モンゴルで「花」を開かせていています。

二年前、世話クラブとして預かった米山奨学生のブヤンジャルガルさん（二〇一〇—二〇一二年）が、モンゴルで高専の校長になったと聞きました。私の父（故・平山金吾PG）は亡くなる二カ月前まで、地元で彼と一緒に食事をするほど深いご縁があったので、当時の成田RCの佐瀬和年会長、地区米山委員長でもあった堀口路加会員と共に、私はモンゴルを訪ねました。

その時、千葉RCの中村正見会員の協力も得て、高専に必要な測量機器を八台、寄贈する奉仕プロジェクトのお手伝いもできたのですが、今回、佐瀬会員と新モンゴル高専を再び訪問。



お色直しの青いドレスの花嫁の向こうに、幼い娘が重なる

「手に手つないで」の指揮をすることになっていました。「愛ちゃん、一緒に指揮する？」と壇上で一緒に指揮棒を振りました。
その姿を思い出した時、あの子がこんなに大きくなって、結婚するまでになったのか。式当日のお色直しの青いドレスに包まれた姿を、指揮をする幼い娘の姿に重ねた時のことです。
突然、こみ上げてくるものがあり、あふれ出しました。
「尽大地、是れ箇の解脱門」
これは、私がお世話になっているお寺のご住職から、ご教示いただいたものです。住職も、高崎北RC会員、ロータリアンであります。この言葉は中国の仏教書『碧巖録』にあるそうで、意味は「この世のあらゆるところに、私たちのすぐそこに、真実の世界がある」というものです。けれども、私たちはその真実の世界が見えないのだ、と住職は言います。

へそ曲がり

江南 倉知 正憲

式当日、先方のお義父さんに起こり私にも起こったこと。こみ上げてくるものを押しとどめることができない。この時に、そうした世界を垣間見たのかなあ、という気もしないではありません。(第二八四〇地区 群馬県 不動産賃貸管理)

三五歳から六七歳の現在に至るまで、左ハンドル車に乗り続けています。司法書士事務所を開業して八年目。ようやく仕事も軌道に乗り、将来の見通しもぼんやりながら見えてきた頃、「これからの人生、一つくらい他人とは違ったこともしてみたい」と考えるようになりました。

今から思えば、他愛もないというか笑われるような理由からでしたが、それでも、自分では清水の舞台から、といった心境で、一步、異次元の世界へ足を踏み入れました。青年会議所の先輩や義父が左ハンドルの愛好者だったので、その影響も否定できません。

そこで、先輩がなじみの名古屋市内の販売店を通し、BMW 528iを購入しました。新車納入日の夕方、初めてハンドルを握り一キロほど離れたガソリンスタンドまで走りましたが、文字通り汗びっしりでした。それでも三日もすれば、運動神経の鈍い自分でも、何とか運転できるものです。以来、車種は変わりましたが五台乗り継いで、今に至っています。

国内のドライバー〇〇人のうち、九八人ま



左ハンドルに固執する自分が愛しい

では右ハンドルといわれています。しかも外車と言っても、日本向けの右ハンドル使用が幅を利かせている昨今、正直なところ交差点で右折の際は余分に神経も使いますが、それでもあえて左ハンドルに固執する自分を、われながら愛おしく思っています。
元来のへそ曲がりか頭をもたげ、人間皆が同じ目線でものを観るのもどうかと思うことも手伝い、今さら右ハンドルに宗旨替えするのは、かえってこれまでの人生を否定するようで、その気になれません。
ロータリーも多様性を求められる時代になりました。「不易流行」を念頭に置きながら、これらのロータリーライフを楽しもうと思っています。一人くらいはこういう人間がいても邪魔にはならないだろう、とぼやきながら、今日もハンドルを握っています。

(第二七六〇地区 愛知県 司法書士)

オーケストラでは 何の曲をどのように？

茅ヶ崎湘南 松宮 剛

『友』誌の表紙が今年度からイラストに変わりました。八月号の表紙を見た瞬間、五年前のアメリカ・シカゴでの規定審議会を思い出しました。クリフォード・ダクターマン元RI会長が地区内クラブをオーケストラのメンバーになぞらえた上で、地区ガバナーは指揮者である、とアナロジーとしての話をしたのですが、強い違和感を覚えました。

ロータリーにおける地区の存在意義に、明らかな誤認があると思ったからです。その思いは今も変わりません。私は「二つ一つのクラブこそが、そのまま二つ一つのオーケストラであり、クラブ会長はその年度におけるオーケストラの指揮者である」と、思い続けてきたからです。それはともあれ、八月号表紙のイラストはロータリークラブを端的に示すものとして、「わが意を得たり！」と内心小躍りしました。なぜそうなのか？ をお話ししたいと思います。

イラストにご注目。全員の衣装が違います。これは明らかにこのオーケストラ（以下オケと省略）を構成している一人一人の職業の異なることを表現しています。全員、その持つ楽器も異なっています。楽器は委員会あるいは小委員会を表現しているとお考えを。このオケにあっては、年度が替わるとそれぞれの会員の持つ楽器が変わります。当然、それぞれの演奏者の個性、技術、表現方法の違いにより音質も演奏も



2017年8月の表紙。想像が広がる

異なってきました。ご想像ください。

また、イラストは会員全てではありません。同じ楽器を持つ会員は複数いるのが原則。曲目によっても人数は変化します。裏方もいます。

クラブ会長は、年度におけるオケの指揮者。力量が問われます。そのロータリークラブは不協和音ばかりかもしれません。妙なるハーモニーに聴衆が陶醉状態にあるかもしれません。何を演奏するのかについては、オケの特徴を生かすことが望ましい、とお答えするのが適当でしょう。少人数で、マラーの交響曲を演奏するのは無理でしょう。ベートーベンやブラームスなどの曲を、となれば、手掛けるために必要な学びや技術、体験も必要でしょう。

他の組織団体とともに、例えばバレエ団との共演となれば、そのための協力体制も必要となるでしょう。これからの方向性の中で示されているパートナーシップです。ロータリークラブの特徴を生かすための議論やコンセンサスを得ることを経て、演奏する対象の傾向が定まります。聴衆は、いわば受益者でしょう。

こうして想像は無限に広がっていきます。RIの戦略計画をアナロジーとしてのオケを仲介

させることによって、より多くのアイデアが生まれるような気がします。
今後の『友』の表紙を飾るイラストに大いなる期待を込めて！

(第二七八〇地区 神奈川県 口腔外科)

こみ上げてくるもの

前橋東 馬場 誠

昨年一〇月一四日、東京で長女が結婚式を挙げました。相手は一宮RC（愛知県）の会員、山口元彦さんの息子の修平さん。良縁に感謝、このご縁を末永く、育んでいきたいと考えています。

娘の一世一代の晴れ姿に、妻は「今日は愛ちゃんが主役なんだから」。中学生の長男にも出番があり、姉のお色直しの時の先導役を務めました。司会が「何か一言を」と差し出すマイクには「きれいだね」とまさに一言。中学生らしくていいものだなあ、と思いました。

新郎新婦から親への感謝の言葉の時も、私自身は感極まって……といった状態ではなかったのですが、隣にいた先方のお義父さんに目を向けると、こみ上げてくるものがキラリ、と光っているように見えました。

この文章は、式から二日後、自宅のこたつで書いています。いろいろな場面、特にロータリーでのことを思い出します。娘がまだ幼かった頃、二〇年ほど前の、当クラブのクリスマス例会での場面です。私はソングリーダーでしたので、

伝統の曳山を引いて すしを握る！

新湊 丸池 満

昨年一〇月の「新湊曳山まつり」に、今回も第二六一〇地区の青少年交換学生一〇人と、米山奨学生一人がやってきました。この招待事業も、二六回目を迎えます。

新湊曳山行事は延宝四（一六七六）年に始まったといわれ、三四〇年余りの歴史があります。一昨年全国公開された映画「人生の約束」では、新湊が主なロケ地となり、曳山まつりも重要なシーン。今回も一万人の見物客が来訪した、富山県無形民俗文化財の祭りです。

みんなにはまず、歓迎例会に出てもらって、お祭り法被をプレゼント。それをまとった交換学生たちは迫力ある曳山を「イヤサー、イヤ



こんな曳山、新湊でしか体験できない

サー」の掛け声とともに引かせてもらい、大興奮。夜は幻想的な提灯山を見物した後、露店で射的や輪投げを楽しみました。宿泊は地域のコミュニティセンターにて。深夜まで皆でおしゃべり、話が尽きません。

翌日は観光船に乗り富山の海を遊覧。餌に群がる海鳥に歓声が上がると、五〇分の船旅を楽しみました。その後、第二のメインイベント・すし握り体験へ。会員が始めた「すしアカデミー」に入校（？）し、職人の先生の教えを受け、握りました。全員が「すし大好き」とのことです。自分で握ったすしを食べる初めての体験に、とても楽しそうでした。

日本伝統の「祭り」と「すし」。十分に楽しんでもらえたかな。

（第二六一〇地区 富山県 生命保険）

口も滑らか、気持ちも 軽く、中身は重厚食談

八日市南 寺井富美雄

いわゆるロータリアンの三大義務の一つに、国際ロータリー（RI）の機関雑誌、日本語なら『ロータリーの友』の購読義務（RI細則 21.020.2 / 21.030.1）があります。

私たちの例会でも、『友』誌の紹介を行ってききましたが、話し手と聞き手に分かれる状態となり、皆で中身について、話し合うまでには至りませんでした。

そこで、雑誌委員会の取り組みとして、『友』誌の記事をテーマに、語り合う会としてはどう

だろう？ ということになり、お酒一合、ビール一本とお弁当をいただきながら、口も滑らか、気持ちも軽い、そんな雰囲気の中でやろう、と相まりました。人数も、クラブ全員というより、参加者全員が話に加わることを前提に、一四人先着で集まることになりました。

昨年八月の第一回開催に続き、一〇月には第二回を開催。一〇〇周年を迎える日本のロータリーをテーマに、諸先輩からはわがクラブの創立の経緯や、現在も続く継続事業の意味合いが紹介されたり、かくして参加者の思いを語るなどしていると、あつという間の二時間となりました。

計画では年三回としていましたが、この機会を増やし、輪を広げようという意見が出るほどの盛り上がりとなりました。今後継続行決定。『友』を交えた食談、皆さまにもお勧めします。

（第二六五〇地区 滋賀県 産業機器製造）



大成功の食談。雑誌委員会の取り組み、お勧めします

ロータリー： 変化をもたらす



半世紀を超え、木下君のロータリー人生が続いています

木下君が歩んできたロータリー人生と共に、クラブが歩んできた歴史をわれわれが知る、良い機会となったことは間違いない。

特筆したいことがある。入会して間もない会員に対し、木下君は「ロータリー哲学は、その原理原則を理解しなければ、例会出席や親睦だけではロータリーの功徳を享受することはできないと思います。その上で、他者への思いやりの心を大切に、ロータリーを学んでほしい」と声を掛ける。ロータリー哲学に触れながら、愛情を込めて語りかける姿は、真の優しさに違いないと確信できる。

第二五代クラブ会長、一九九一―九二年度の地区情報広報委員長、二〇〇四―〇五年度のガバナ―補佐を歴任した木下君には、生涯ロータリアンとして、これからも素晴らしい人生を送っていただきたいと切に願っている。

(第二七四〇地区 長崎県 保険代理業)

姉妹クラブ合同例会で 米山梅吉記念館へ

松阪山桜 太田 正隆

賢明な会員諸氏は勉強熱心な方が多いので、遠い、近いかかわらず、静岡県三島市近郊、長泉町の米山梅吉記念館を訪問された方も多いかと思う。

私たちは地区内の岐阜淡墨RCと姉妹クラブを締結しており、年一回、お互いのクラブを訪問したり観光をしたりと親交を深めているが、今年度の合同例会は、米山梅吉記念館に行くこととなった。残念ながら、日本のロータリーの原点とも言うべき同記念館を訪問した人は一人もおらず、機会もなく今に至っていたのだ。

クラブ米山委員長の西村伸久会員、橋本悟幹事の肝いりで九月三日、バス一台で向かった。行きのバスの中では、西村会員から梅吉翁の生まれから没するまでの詳細についてレクチャーを受け、予備知識を蓄えた。記念館に到着すると、ボランティアとして長泉RC会員から「遠路はるばる、ようこそ」との歓迎のあいさつを受け、記念館の運営の難しさについても伺い、同感するところであった。

また、記念館の職員から、梅吉翁はボール・ハリスと同年生まれで、夏目漱石ともほぼ同年代であること。若いころは漱石も投稿していた『えいせいしん 天才新誌』の常連投稿者であり、文才もあつたこと。苦学をして就職後アメリカに渡り、七年間大学で勉学に励み、帰国後は当時の三井銀行に入行、わずか一五年足らずで役員に



米山梅吉の業績には目からうろこが落ちる思い

まで上り詰めたこと。日本人として第一号のロータリアンである福島喜三次氏（一八八一―一九四六）とアメリカで巡り会い、後に彼と共に東京RCを創設して、初代会長になったこと。母校・青山学院で若人の育成に貢献したり、全国結核やハンセン病の療養所を見舞ったり、多方面でロータリーの精神を遺憾なく発揮していたことを知り、まさに目からうろこが落ちる思いであった。

記念館を後にして、三島市内で合同例会を催し帰路についた。折しも途中通りかかった花火大会に旅の疲れを癒やされ、移動距離六八〇キロに上る日帰り旅行も、ロータリアンとして生涯忘れられない、満足のいく一日となった。個人ではなかなか行き難い場所であるが、ぜひ皆さんも、クラブで機会を作って訪問されてはいかがだろうか。

(第二六三〇地区 三重県 外科医)

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

未来予想図を描かせる ハッピーな出来事

西宮惠美寿 貴田 賢次

西宮惠美寿ロータリークラブ(RC)に最近ハッピーな出来事がありました。五月二日、当クラブで一番年齢の若い北島(辰巳)千恵会員が、女の子を出産。平均年齢六五歳の会員たちにとっては、孫のようなものです。

北島さんは結婚前、実家のある大阪の河内長野RCに所属、主に国際奉仕の分野で、日本文化の素晴らしさを海外に発信する活動をしていました。結婚に伴い兵庫県西宮市に移住、西宮惠美寿RCに入会したのです。北島さんにとって、ロータリーライフは青春の一ページと言えるでしょう。

産前産後の数カ月を除き、北島さんは毎週例会に出席しています。これからも、家族の理解

と協力によって、子育てが忙しい時期にもかかわらず例会に出席される予定です。

さて、私たちのクラブは、今年創立二〇周年を迎えます。その節目の年に、会員が新しい命を授かったことは、二〇年の歴史の中で初めての出来事でありました。

今——子育て奮闘中の北島さんをはじめ、それぞれ忙しい日々を送っている会員を、毎週の例会に向かわせる西宮惠美寿RCの魅力とは？「何が私を例会に向かわせるのか？」

未来——由花ちゃん、元気に大きく育ってください！由花ちゃんが二〇歳を迎えるころ、西宮惠美寿RCは四〇周年！そのころはどんなメンバーが、どんな奉仕活動をしているのでしょうか？

そんな私たちの夢、未来予想図を描かせてくれたハッピーな出来事でした。

(第二六八〇地区 兵庫県 仏教)



由花ちゃんの周りは自然と笑顔が咲きます

在籍五〇周年 木下一功君から学ぶ

大村 伊達 秀喜

クラブ創立から五八周年を迎えた大村RCは新たな歴史を刻んだ。一九六七年、二八歳という若さで入会以来、在籍五〇周年を迎えた、御年七九歳の木下一功君を紹介したい。先日例会で「ロータリー生活五〇周年の学び」と題し、卓話してもらった。

入会四年後に幹事となり、同年、地区インターアクト年次大会のホストクラブ幹事として奔走する傍ら、アメリカ・ニューヨークから青少年交換学生ジョディー・マクドナルドさんをホストファミリーとして受け入れ、親身になって世話をしたという。

その出会いから半世紀近く、現在もその温かい交流が続いているとのこと。出会いの大切さを痛感させられる。また幕末、戊辰戦争では、奥羽越列藩同盟軍による秋田藩の角館攻略の戦いで、遠く大村藩が援軍を送った。その縁から、秋田の角館RCと私たちは姉妹クラブ締結に至ったが、その調印式での思い出など、誠に興味深いものがあった。

また、クラブ創立五〇周年時の記念講演で、エベレスト登頂に八〇歳で成功した三浦雄一郎氏が語った「元氣だから登るんじゃない。登るから元氣になるんだ」「人生は、いつも今から！」を引用、挑戦することの大切さを教えてくれた。まさに、人生とロータリーを重ね合わせ、人間味にあふれる見事な卓話だった。この卓話が、



パワー浜松ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
POWER HAMAMATSU



ラジオ体操の時は全員背広を脱いで手足を伸ばしていた

いい寺だ。しかし、この日は後から後から観光客が来て、押し出されるように出口まで来てしまった。

ラジオ体操でスタートする例会が パワーの源

浜松市にはヤマハ、河合楽器、ホンダ、スズキと国際的に名の通った四大企業があつて昔から栄えていた。しかし、最近は自動車部品などの下請け会社などが海外に流出、空洞化現象も始まつて

いるそう。近藤さんは言う。

「われわれの仲間、クラブの創立会員だった今の浜松市長（現在は名誉会員）も雇用を増やそうと考えているようですが、有効な手立てはまだ出てこない。直虎フィバーは今年限りでしょう

から心配です」

浜松は、全国でも一番日照時間が長い土地だと聞いた。そのためか廃業した養鰻池や各家庭の屋根にもソーラーパネルを設置、太陽光発電していると

ころが目立つ。近藤さんの会社でも二

カ所で太陽の恵みを電力に変えている

そう。だが、今は買取価格が低くなっ

てこれ以上増えることはあるまいとい

う。

浜松の名物といえば鰻である。市内にも鰻屋の看板が目立つ。鰻の漁獲量は鹿児島などに及ばないが、ブランド力は浜松が日本一かもしれない。うなぎパイなどお土産店に



中野雄介さん



金山土洲さん



はうなぎの冠がついたものがズラリと並ぶ。翌朝、朝例会を取材した。七時からホテルでビュッフェ形式の朝食を食べてから長谷川会長の点鐘で例会が始まった。

まずはラジオ体操。前に出て模範演技をする体操のお兄さん役は初代の高木一浩会員が毎回指名する決まり

になっている。朝に体を動かすと気持ちがいい。

朝例会では、一五人の会員の若きころの写真がプロジェクターで大写ししての思い出話。楽しかった。現在会員の平均年齢は五五歳。創立当時より高くなったが、二〇代や三〇代の若者の入会もある。三三歳の中野雄介さんが最年少。中野さんは二六歳の時に、五代目会長の原田道子さんに誘われて入会。クラブで三歳上の女性会員と親しくなり結婚した。

「勉強になるからと父に勧められて入会しました。朝例会は営業の私にとって都合がよかったです。自慢話というわけではありませんが、妻とも知り合えた。クラブには感謝しています」

パワー浜松RCの会員同士の家族的な温もりが伝わってきた。

山本朋史（やまもと・ともふみ）
元週刊朝日記者

工藤隆太郎（くどう・りゅうたろう）
フリーの写真家





観光客が押し寄せる浜松城（右）と
城内にある家康像



館山寺

藤勝人さんも六年前にパル会員だった後に藤さんと顔を合わせ、奇遇に驚いたという。




直虎の文字の入った幟(のぼり)が立っていた。浜松城に観光バスがズラリと並び、井伊家の家紋の旗を持ったバスガイドさんが観光客を案内している。

「大河効果で観光客が一気に増えました。明日、井伊谷(いゐのや)にある直虎ドラマ館に行かれたら驚きますよ。来館者は六〇万人を超えたそうです」(長谷川さん)

館山寺温泉の小高い展望台から浜名湖を見渡している時のこと。後藤さんが船の操縦免許を持っていることを知った。自分のクルーザーでカジキを釣るのが趣味。浜名湖から遠州灘沖合に出ると、カツオやマグロも釣れるという。後藤さんはカジキ釣り大会に出て一七〇キログラムの大物を仕留めたことがあるそうだ。



その伊藤さんの車で翌日は直虎が城主だった井伊谷に向かった。浜松市は周辺の市や町を合併し

なったそうだ。井伊谷も以前は引佐郡細江町だった。その細江町でコンクリート会社を経営している近藤雅彦さんに、案内をお願いした。近藤さんはパワー浜松RCの前会長である。読書家で歴史に詳しい。

「私は近くにあるのに女城主直虎ドラマ館にはまだ行つたことがなかった。やはりテレビの力は大きいですよ」

ドラマ館には出演俳優が何人も足を運んでいて、サインがあちこちに書かれていた。近くにあるハンバーグのチェーン店は、NHKの「鶴瓶の家族に乾杯」という番組で、直虎役の女優、柴咲コウ



（後藤さんの船名）、ポセイドン（伊藤さんの船名）と呼び合っていました。クラブに入会した時に名字が分からず、お名前は何でしたっけと聞いて……。何だか恥ずかしかった（笑）」と、伊藤さん。

さんが順番待ちをして食事をした場所で、混雑時は二時間待ちも当たり前だそうだ。続いて直虎が次郎という名で修行した龍潭寺りゅうたんじへ。石庭が有名な禅寺だ。静寂とは裏腹に、ここにも観光バスが何台も横付けされていた。

「私が数年前に來た時は大きな駐車場はなかつた。急ぎよ造つたのでしよう。この寺にうちのクラブの三代目会長で、書家の金山土洲さんの『直虎』という書が飾つてあります。土洲さんは毎年この寺で個展をやるのですが、今年は大混雑で別場所にしたと聞きました」



(写真上) 龍潭寺に飾つてある書「直虎は会員の金山土洲さんの作品。(写真下右) 近藤雅彦さん(右)と伊藤勝人さん。(写真下左) 浜松の銘菓うなぎパイの工場

例会が行われるホテルの展望会から見た浜松市内。
眺めは最高だ

浜松駅で九時三〇分に待ち合わせて、遠州灘の植樹現場に。

静岡県は地震に敏感な土地柄である。東海地震が将来起きる切迫性が気象庁から指摘されていることもあって、静岡県と浜松市では遠州灘に高さ一三メートル、長さ一七・五キロメートルの防潮堤を建設中だ。民間企業からの三〇〇億円の寄付金を受けてコンクリート防波堤ではなく、中心部にセメントを混ぜた固い土台を作り、土盛りをして海岸防災林をかさ上げする。その傾斜面にクロマツを植樹する事業を、パワー浜松RCは二〇一六年から浜松土木事務所に協力して行っていた。

この日は盛り土された舞阪工区の傾斜面に、高さ四〇センチほどの二四〇本のクロマツの苗木を植

える作業が行われた。幸い穏やかな好天に恵まれた。防潮堤の上に立つと遠州灘の海岸線が遠くまで見える。ときどき遠州の海風にあおられた。ツルハシやシャベルで二〇センチほどの穴を掘って苗木を植える。及ばずながら私も、と手伝ったが傾斜がきつい。土に石などが混じっていて穴を掘るのも一苦労だ。長谷川会長は慣れた様子で要領よく作業を進める。その横で四苦八苦する私。植樹の専門家から、

「丁寧に植えていかなければ乾燥地に強いクロマツでも枯れてしま

う。注意しながらやってください」と言われて緊張する。借りた軍手を真っ黒にしてなんと二本のクロマツを植え終えた。

クラブ名は パワーブレックファストから

パワー浜松RCは親クラブの浜松中RCに指導を受けながら一五年前の二〇〇二年一〇月に創立例会をした。長谷川さんは創立会員だ。当初は七三人で発足、平均年齢は四〇代半ばだった。ところでなんで朝例会なのか、全国でも朝例会をしているクラブは数えるほどしかない。理由を聞くと、

「現役の人ばかりだった。早朝に例会をすれば仕事にも支障がないからですね。名前もパワーブレックファスト

から取りました」

意外や意外、「早起きは苦手だ」と言う人が多

いという。長谷川さんも、「自分は浜北に住んでいて車で例会場まで四〇分、早朝だと三〇分で到着するが、冬はまだ暗いうちに家を出る。もともと朝は弱い方。最初は自信もなく逃げていました。今は慣れました。仕事の前に例会が済む。合理的ですよ」

初代会長はIT起業家だった。他クラブがやってないことを、と発案。まずは朝例会なのでラジオ体操をやることに。実現はしなかったがインターネット例会なども試みたそう。現在の会員数は七九人で、浜松地域では三番目に大きなクラブだ。今でも創立会員二十数人が残っている。クラブ事務局は、例会場のホテルの四三階にあり「日本一高い所にある事務局」という。

午後は長谷川会長と後藤さんが車で浜松市内を案内してくださった。ちょうど二〇一七年はNHK大河ドラマ「女城主 直虎」が放映中で、どこ



後藤達朗幹事



長谷川博久会長

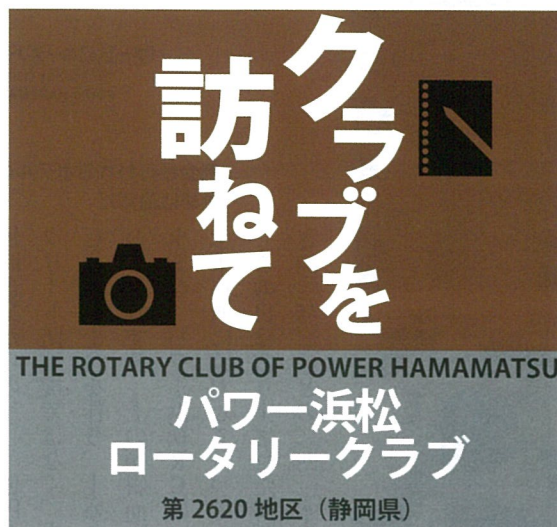


早朝例会でラジオ体操 創立一五年の元気なクラブ

文・山本朋史 写真・工藤隆太郎

遠州の海風を受けながら
防災林にクロマツを植樹

パワー浜松ロータリークラブ（RC）の例会は
毎週火曜日午前七時三〇分（朝食は七時）から始
まる、と編集部から聞かされた。ナント早起き！



「朝型人間」の集
まりであることか
と身構えた。この
季節、辺りがまだ
暗いうちに自宅を
出て例会場のホテ
ルに行かなければ
ならない。それど
ころか東京からだ
と、新幹線の始発
に乗っても間に合
わない。取材日程
を相談するため、
会長の長谷川博久

さんに電話した。

「例会の二日前の十一月二十六日に遠州灘の防潮
堤でクロマツの植樹をするので、よかつたらその
日から取材に来られませんか」

植樹例会は午前一〇時開始。これなら東京から
でも当日の出発で十分だ。幹事の後藤達朗さんと

今回の例会では、パワー浜松RCのオリジナルソングを合唱した



すると毎月二〇人が一回、顔を合わせるの、お互いの情報交換ができるようになりました。

しまいに、奨学生たちが卒業し、親睦団体の学友会なるものをつくりました。二〇年間続けてきましたが、私も八〇歳を超え明日が分からないので、今泉が死んで奨学会がなくなつては困る、となりまして、その学友会と奨学会を一本化しました。現在では、学友が理事長、私が会長を務め、日本にいるミャンマーの学生たちに奨学金ではなく、ミャンマーにいる学生たちに奨学金を送ったり、現地に図書館を建設するなどの支援をしています。

日本に感謝 ミャンマーに感謝

今から七、八年前のことです。もう十数年音信がなかった元奨学生から、ある日突然、電話がかかってきました。「会長さん、私は今、日本にきているんですけど、会いに行つていいですか?」「どうぞいらつしやい」

彼女は一二歳の子どもを連れてきました。ということは、奨学金をもらつて一三年はたつています。彼女が言うことには「会長さん、私は月々の奨学金もありがたかつたけれど、会長さんの話が聞けたことがとてもためになりました。私は今、アメリカの企業のグループリーダーをしていて、一八人の部下がいます。いろいろと教えていただきましたが、その中で『たらいの水』の話が忘れられません」

「たらいの水」というのは、こつちに来い、こつちに来いとたらいの水を手でかくと、周りの水は

反対側に行つてしまいますが、逆に、あつちに行くと手でおおると周りの水は、こつちに寄つてきます。このように、自然の摂理も人間の摂理もたらいの水と変わらない、という例え話です。

彼女はこれを実行し、グループの中で良いことがあると、これはあなたがやつたから、と手柄はみんな部下に与えるのだそうです。そうすると部下たちは翌日からハッスルして仕事を進めるとのこと。隣のグループでは、良いことがあると全てリーダーの手柄にしてしまうそうで、部下はやりたいことをやればいいと考え、仕事に大変な違いが出てきますと、報告してきました。

このようなことは度々あり、私の喜びであります。現在は一年間に三回、新年会、総会、謝恩会と開いていますが、そのたびにロータリーの国際奉仕関係の人や鶴ヶ島の関係者にも呼び掛けますし、ミャンマーの大使も必ず毎回、出席してくれます。最近では、参加者同士の交流も多く見受けられ、多種多様な交流が増えました。大使も大変喜んでいきます。

鶴ヶ島市も二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて政府が推進する「ホストタウン」に正式登録され、ミャンマーの選手を受け入れることになりました。地元城西大学の協力も得ています。私たちの奨学会が親善協会のように働き、ミャンマーと日本が親密な関係となつていくことに寄与しているようです。

二〇一五年七月、第七回日本・メコン地域諸国首脳会議のため、ミャンマーのテイン・セイン大統領が来日されました。会議の前々日の午後二時ごろ電話があり、「今泉さん、今日、東京のホテルに来てくれませんか」とのことでした。

私は、その日はロータリーの会合があるため行けないと言いました。すると、ミャンマー政府の人は「ロータリーの会合は年に何回かはあるのでしょうけれども、ミャンマー大統領と会えるのは一度だけでも、ぜひとも来てほしいのです」と言われました。でも、会うといつても、大統領が通る門のところで整列して、お辞儀して終わるのだらうと思っていました。

ホテルに行つて、びっくりしました。会議室がきちんとあり、ミャンマー大統領の他、大臣が五、六人と政府高官が二〇人ほど整列し、大統領の隣に私の席が用意されていました。

大統領からは、「ミャンマーの若者たちのため、長年にわたり親身になつてお世話してくださり、ありがとうございます」と感謝されました。私も「戦時中からミャンマーには大変お世話になっていきます。ミャンマーは世界一の親日国であり、感謝しております」とお礼を述べました。この様子は、ミャンマーで生放送され、翌日の新聞でも一面で大きく取り上げられました。最近では、このように政府の方でも、日本を理解していただいていることに感謝しています。

奨学会については、以上に尽きます。ただ、私の考え方として改めて申し上げたいのは、ミャンマーのために動いたことで見返りを得ることは、毛頭考えていません。恩返しのもりです。

また、いつも思うのですが、天国にいる戦友たちが、どう思っているだろうか、と。私があの世に行つた時に戦友たちに顔向けができないようなことはできないと、常に思いながら対応しています。これもひとえに、ロータリーでいろいろと教育していただいた賜物たまものと思つております。

しかし考えても、個人の力ではどうにもならず、年月が過ぎていきました。

ものは考えよう

たまたま生かされて今日がある

一九八五年ごろ、私も六〇歳を過ぎ、このまま何もできずに終わってしまうのではないかと思いました。このままではしょうがない、ということ、何しろ自分は開拓者で、土地が五〇〇〇坪ありましたので、三〇〇〇坪を寄付し、金融機関から二億円を借りて財団を創ろうと考えました。

在京の戦友たちに相談したところ、皆大変喜んでくれました。「皆同じ気持ちだ、実際におまえがやってくれるのなら、われわれは全面的に協力する」と、大勢の戦友が集まりました。財団設立に向け、戦友たちは大蔵省（当時）折衝担当、外務省交渉担当などになって政府と掛け合いました。大蔵省からはすぐ認可が下りましたが、外務省からは三年たっても認可が下りませんでした。

戦友たちが私の家に集まり、協議しました。認可が下りないからといって、政治家の力を借りるなど考えたありませんでしたが、今までの皆の努力を考えると今さらやめるとは言えず、苦慮しました。

私は決意しました。「それじゃあ、私がポケットマネーでやる」。皆笑いだしました。「おい、そのポケットマネーはいくら出せるのだ？」。やつと生活が楽にできるようになった農家の今泉が奨学金を出せるわけがない、と思つたのです。そこで私は「一年間で一〇〇〇万円を出す」と。

「ええっ！」と皆驚きました。「そんなにおまえ、

出せるのか？」「出す！」と私は言いました。

一〇〇〇万円とは、実は私の当時の総収入でした。今考えても無謀でした。家族からは「お父さん、気が狂ったのではないか」と反対されました。でも、私は当時ミャンマーで何の補給もない時、生きるためには草の根や木の葉を食ってでも生きるということを経験していましたし「生きる」という信念も持っていました。家族には言いました。「ものは考えようだ、一九四四年四月一八日に私が死んでいれば、あんたたちは、たぶんいない」それが、たまたま生かされて今日がある。しかし、まだ二〇〇〇坪があるじゃないか、二〇〇〇坪あつて何が不足か。ということで家族も了承し、奨学金事業を進めることになりました。

具体的には、どういう形で行うのか。一年間一〇〇〇万円だから、人数を少なくして優秀な人を選った方がいいか、あるいは金額を少なくして大勢採った方がいいか。いろいろな意見が戦友たちから出ましたが、私はやはり人数を多くした方がよいということで、ひと月四万円として二〇〇人に支給する、という計画を立てました。

当時私は、川越ロータリークラブに入会していたのですが、このようにして戦友やロータリークラブの協力を得て、ミャンマー発展への人材育成のため、日本に留学するミャンマー人学生を支援するため、八九年に、今泉記念ビルマ奨学会を設立することができました。

ロータリーで学んだおかげですが、私は奨学金を振り込む形にしませんでした。決まった日、決まった時間に必ず取りに来させることにしたので、関東の大学に在学している学生を募集したところ、神奈川や群馬からの応募がありました。最初のころ、学生たちは四万円の奨学金のためにアルバイトを休んで交通費をかけて鶴ヶ島まで取りに行くのは、あまりありがたくないの思いがあつたようです。

しかし毎月会うたびに、私が彼らに一時間ぐらいい、いろいろな話を聞かせていると、学生たちは今まで親からも聞いたことのない話を聞くことができる、これはためになるな、と考えるようになってのだと思います。また、今までミャンマー人同士で会う機会がなかったわけですが、このように



■ 今泉記念ビルマ奨学会会長
今泉 清詞

一九三三年 新潟県生まれ。
四一〜四五年 徴兵により中国、マレーシア、タイ、ビルマ（現在のミャンマー）を転戦。四五年 終戦後帰国、埼玉県鶴ヶ島にて、国策の、いわゆる「戦後開拓」に入る。八九年 今泉記念ビルマ奨学会を設立。現在（株）今泉取締役会長、今泉記念ビルマ奨学会会長。
川越ロータリークラブ会員。一九九三〜一九九四年度第二五七〇地区ガバナー。

ました。

でも、その時の私に金は一銭もありませんでした。そんな土地柄なのか、どうしよう……でも、草や木が生えているんだから何とかなるだろう、ということ、私は開墾を始めました。

四七年、妻と二人で、四反歩（二二〇〇坪）ほど開墾しました。翌年にはサツマイモ二反、陸稲^{おかぼ}二反の作付けをしました。関東名物の空つ風で表土が飛んでしまい、サツマイモの畝^{うね}がでず、そのツルも短く、陸稲も八月に続いた二〇日間の日照りで、その年の作付けはイモ一本、コメ一粒も取れませんでした。やむを得ず、近所の農家に手伝いに行き、日当をもらってコメを買い、さらに開墾を三年続けました。

こんな感じでしばらくの間は、近所の農家の手伝いをしながら開墾を続けました。当時は風呂もありませんでしたので、近所の農家の風呂を借りて入っていたものです。

ちょうど開墾四年目ドラム缶を買い、ドラム缶の風呂をつくりました。今でも記憶に残っていますが、あんなにうれしいことはなかったです。もっとも、野外風呂ですから、雨が降ると入れませんでした。

そんな状態でしたが、努力をしながらも、何とか生活ができるようになりました。昔から「世話になった人に足を向けて寝るな」と言われていますが、その時のことを考えたら、世話になった人が東西南北にたくさんいるので、私は立って寝なければならぬようです。

本当に周りの人にお世話になりました。いまだに肩身の狭い思いをしております。皆さまへは、何とか恩返しをしたいと思っています。

戦友の慰霊祭を行うために 再びミャンマーへ

そうこうしているうちに、六九年ごろから海外旅行も一般化し、東南アジアに行かれるようになってきました。七四年に私が所属していた師団の有志から、戦友たちが九万人も戦死しているのだけれど、遺体を片付けずに結局、そのままにして現地の人たちに任せている。このままでは申し訳ない、慰霊祭を行おうという話を持ち上がりました。私は真つ先に応募し、六五人でミャンマーに出かけました。

六カ所で慰霊祭を行うことになったのですが、ミャンマーの国土は日本の約二倍、日本で言うところ福岡、広島、大阪、名古屋、というくらい離れているところで執り行うのは大変なことでした。

しかも慰霊祭といっても、ミャンマーの人たちが果たして日本人を受け入れてくれるかが非常に心配でした。戦場になった現地では食料は全部無理やり取り上げる、家畜も取り上げる、丈夫な人は人夫に使う、田畑を踏み荒らす、もう大変な迷惑をかけたのですから。

しかし現地へ行つて、私たちはびっくりしました。慰霊祭の場所には黒山の人だかりができ、現地の皆さんが手を合わせて拝んでいるのです。これはどういうことだろう？ 日本の国内でさえも「あんなばかな戦争をして。何ということか」という風潮があり、生きて帰ったわれわれも肩身の狭い思いをしていたという時代だったのです。

慰霊祭が終わると、現地の人たちがテーブルを出してきて、ミルクやコーヒを沸かしたり、焼

き鳥やバナナを出したり、飲め、食べろと、もう大変な接待を受けました。私はとにかく驚いて、何人かの人に聞きました。「どうしてあなた方は、このように私たちを温かく迎えてくれるのですか？」

「当然のことです。われわれは子どもの頃から、幸せの神は東から来ると親から教えられてきました。その幸せの神は日本です。兵隊さんは知らないかもしれないが、日本が来る前の植民地時代はひどいものだったのですよ！ 自分の国でありながら、良い場所は皆イギリス人が使つて、私たちは決められたエリア以外に入ることすらできませんでした。ここでたくさん取れたコメをマレーシアへ輸出するにもイギリス人が税金をかけ、マレーシアの人は高いコメを買い得なかったし、マレーシアからの輸入品も高い税金が掛けられていました。それが、日本が来てなくなったのだから感謝せずにいられませんか」と言うのです。

いろいろな意見、見方があるでしょうが、われわれが従軍している間、欧米からの植民地解放を私は信念でやってきましたので、とても感動しました。そして、こんな歓迎の状況は六カ所で開いた慰霊祭で、ほとんど同じ状態だったのです。

私は思いました。ミャンマーの人たちは世界一の親日国であると。

皆「戦友たちよ、安らかに眠ってくれ」と言うけれど、残念ながら反日のムードがあるところでは、戦死した友は安らかに眠れないだろう。それに比すれば、何としてもミャンマーの人たちには平和で幸せになってほしい、そうでないと亡くなった戦友に申し訳ない、と帰ってきてから毎日考えました。



写真提供：今泉記念ビルマ奨学会 現在、子どもたちの教育支援も展開中。ヤンゴン管区タイジー地区シンガンドウー村寺小屋小学校にて

たものかということになりました。特に、故郷は新潟の田舎で何もなかったたので、開墾を考え、私は埼玉に移ることに決めました。肥沃な土地を受け継いでも、農家というのは楽ではありませんが、農地として適さない荒地を、肥料の配給もなく、農業の経験もない者が携わっても、成功するはずがありません。

しかし、当時は日本の国全体が食糧不足で、東南アジアから食糧を援助してもらったような状態でしたから、国家としても、一粒のコメでも、一本の稲でも増産しなければならぬということので、いわゆる「戦後開拓」、国策として開拓事業が行われていました。国は復員者や戦災者など、仕事のない人たちに土地を開墾させたのです。

結局、埼玉県鶴ヶ島に入植することになったのですが、ちょうどその頃、私は盲腸炎になり入院で出発が遅れ、鶴ヶ島へ行った時には、めばしいところは他の人が陣取っておりました。早い者勝ちの割り当てで、私は最後に行ったものですから、残っている土地になったわけです。私が現在も住んでいるところです。

そこに小屋を建てていましたら、昔からいる農村の人と懇意になりました。

「あんたはどこから来たんだ」とか、私の身の上話を聞いて「ビルマから帰ってきたんじや、知らなくてここにいらんだらう、ここは、江戸時代から小さい農家が畑を増やそうとして、何回開墾しても作物が取れない土地で、諦めて荒地になっているところだよ。今は肥料の配給もない。農業の経験のない人はここに入っても成り立つはずがないから、ご苦労なことだけれども、今のうちに諦めた方がいいよ」と親切に忠告をしてください

戦線からの 生還・開拓・奨学金

ミャンマーのために動いたことで見返りを得ることは、毛頭考えていません。恩返し
のつもりです。また、いつも思うのですが、天国にいる戦友たちが、どう思っている
だろうか、と。私があの世に行った時に戦友たちに顔向けができないようなことはで
きないと常に思いながら対応しています。

今泉記念ビルマ奨学会会長 今泉 清詞
Seiji Imaizumi

生きてるのが申し訳ない 帰国後、ゼロからのスタート

私は一九四一（昭和一六）年から四年八カ月、
軍務に服しておりました。まず、中国へ約六カ月、
それからマレーシア、タイに駐在し、四三年六月
にビルマ、今のミャンマーに入りました。そこで、
いわゆるインパール作戦の準備をしたわけです。
ミャンマーの人たちは非常に親日的で、非常に親
切にしていたことが、今でも頭から離れま
せん。

インパール作戦が始まったのは四四年三月。
蒋介石（一八八七～一九七五）は中国の重慶に
いました。日本軍がなかなか重慶まで進めないとい
ころ、蒋介石へは「援蒋ルート」として、インド
の連合軍の方から物資がどんどん補充されるの
で、いつまでたっても重慶が陥落しない、だから
援蒋ルートを封鎖しなくてはだめだ、という当時
の日本軍部の考え方により、インパール作戦が計
画されたわけです。

作戦が始まる前に、私は中隊におりました。連
隊の本部からは、「書記を一人出せ」との命令が
ありました。人事係が「それじゃあ今泉がいいだ
ろう」と中隊長に話したところ、中隊長は「今泉
は私のそばに置くから、彼を出してはいかん」と
のことで許可が出ず、他の兵隊が行くことになり
ました。

その一週間後、インパール作戦の直前で、中隊
長が部下を連れ、インドとミャンマーの国境付近
を流れるチンドウイン川という、非常に大きな川
の偵察で一週間不在だった時に、連隊本部に送ら
れた兵隊が返されてきたのです。

人事係は中隊長代理に「隊長はどうしても今泉
を出してはいけない、と言っていたが、今は今泉
以外に適任者はいない」と言う、中隊長代理は
「今泉を連隊本部に出せ」と指示、私は連隊本部
に行くことになりました。

それから間もない四月一八～一九日の二日間
で、私のいた軍の中隊長、人事係、戻された兵隊
は全員、戦死してしまいました。私は本当にその
時は、生きてるのが申し訳なくて、一緒に死ね
ばよかったと思いました。しかし、任務を与えら
れているわけですから、その任務をおろそかにす
るわけにはいきません。しかし、明けても暮れて
も「生きていて済まない」という気持ちを持ち続
けておりました。

それから二カ月ほどたってインパール作戦が失
敗に終わり、日本軍は撤退することになりました。
しかし、自分としてはひたすら「中隊長に申し訳
ない」という気持ちを引きずっていました。

戦争が終わって帰国したものの、当時のことで
すから仕事もない、金もない、何もない、どうし

2 月は平和と紛争予防／紛争解決月間です
 2 月 23 日はロータリー創立記念日です

THE ROTARY-NO-TOMO

戦線からの生還・開拓・奨学金

◆今泉記念ビルマ奨学会会長 今泉 清詞

シリーズ クラブを訪ねて

早朝例会でラジオ体操 創立一五年の元気なクラブ

パワー浜松 RC・第 2620 地区

文・山本朋史 写真・工藤隆太郎

9 68

友愛の広場

未来予想図を描かせるハッピーな出来事

在籍五〇周年 木下一功君から学ぶ

姉妹クラブ合同例会で米山梅吉記念館へ

伝統の曳山を引いて すしを握る！

口も滑らか、気持ちも軽く、中身は重厚食談

オーケストラでは何の曲をどのように？

こみ上げてくるもの

へそ曲がり

楽しい男の料理

日本で蒔かれた種 モンゴルで花開く

YOU ARE ROTARY

◆わがまちの味

西宮恵美寿 貴田賢次 大村 伊達秀喜 松阪山桜 太田正隆 新湊 丸池 満 八日市南 寺井富美雄 茅ヶ崎湖南 松宮 剛 前橋東 馬場 誠 江南 倉知正憲 名取 齋藤弘行 成田 平山秀樹 明石西 多胡健吾

13 64

卓話の泉

フィンテックとは

桃の節句について

今川倫太郎

遠軽 成田弘明

20 57

私の一冊

熊本 小野友道 古河東 大高 滋

20 57

ロータリー 俳壇

◆稲畑 汀子 選

ロータリー 歌壇

◆佐佐木幸綱 選

ロータリー 柳壇

◆てじま晩秋 選

22 55

22 55

22 55

ロータリー・アット・ワーク

養護施設の子どもに 移動動物園をプレゼント

岩槻東ロータリークラブ

〈写真〉八幡浜／横浜南／鹿児島／浦和ダイヤモンド／館林ミレニアム／水戸東／和歌山南／東京王子／田沼／秩父／新見／厚木県央／平塚西／川崎幸／水沢／岡山後楽園／堺フェニックス／第 2530 地区／東京八王子西／山中



24 53

「世界の記憶」の保護支援

次代の地域産業を担う大学生と大学を支援

大型絵本を寄贈

長崎北 RC 主催 年長者市民俳句大会

奄美ゆずり葉の郷へパソコンや書籍を寄贈

枝豆収穫体験を通じた地域交流

ホタルのすむ一の坂川をきれいに

世界中で樹木を

四校 AAC が共に活動して

出前授業で米山奨学生が活躍

訪問コンサートを通して交流

がん予防教育と音楽公演

台湾から老人介護の VTT を受け入れ

青少年健全育成を願い第三五回剣道大会

元気いっぱい！ビーチバレー大会

エイドステーションボランティアに参加して

こども見守りカメラを寄贈

高崎シンフォニー

川之江

最上

長崎北

東京江戸川中央

君津

山口南

沼津

大阪なにわ

岩出

岩国西

第 2730 地区

佐沼

返子

弘前東

栃木南

37 40

声

11月号の感想

表紙 横組み 「平和への結束」

縦組み 野中正規 (日本イラストレーター協会)

表紙題字 「オニハント フクハウチ」 高桑幸次

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆本誌中の RC はロータリークラブ、R は国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 45 ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
 Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



インスピレーション

いたるところに

「ひと」のつながりが そこにある

ロータリアンにとって、奉仕はごく自然に湧きでるもの。ロータリーでは、この奉仕が希望を生みだし、協力に発展します。2016年にカナダのバーマニアご夫妻が韓国でのロータリー国際大会に出席し、稀な血液型のご主人が急な病で倒れてしまったとき、友人を通じて地元ロータリアンのインソック・キムさんに電話をすると、キムさんが即座に献血活動を開始。このおかげで、バーマニアさんは一命を取り留めました。

これがロータリーの奉仕。その一大イベントが国際大会です。

2018年トロント国際大会にぜひご登録ください! www.riconvention.org/ja



Rotary



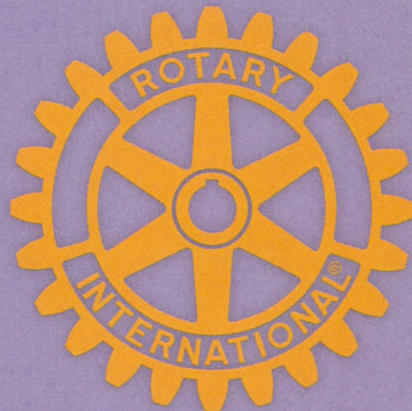
ロータリー国際大会
2018年6月23～27日
カナダ・トロント

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

2

2018
FEBRUARY
VOL.66 NO.2



SPEECH

戦線からの生還・開拓・奨学金

今泉 清詞

クラブを訪ねて
パワー浜松ロータリークラブ

Rotary 